

ムトス飯田まちづくり 活動報告集



第34回ムトス飯田賞
「橋北面白倶楽部」



ムトス飯田

平成30年度
ムトス飯田推進委員会

「ムトス」とは、広辞苑などにも載っている言葉「むとす」を引用したもので、「…しようとする」という意味が込められており、行動への意志や意欲を表す言葉です。

飯田市は、昭和57年3月に市が作成した「10万都市構想」において、理想とする都市像の実現に向けての行動理念・合言葉として「ムトス」を使用しました。

飯田市自治基本条例（平成19年4月1日施行）にも、まちづくりに進んで参加するムトスの精神について謳われております。「ムトス」を地域づくりの合言葉にして、私たち一人ひとりの心の中にある「地域を愛する想い、自分ができることからやってみよう」とする自発的な意志や意欲、具体的な行動をあらわし、住みよいまちづくりをめざしています。

ムトス飯田表彰事業は、「ムトス飯田の精神を広めるために役立ててください」という一市民の寄付が契機となり、昭和60年度に創設されました。以来、「ムトスの精神」が際立ち、飯田の将来に向けて示唆的で主張ある活動をしている団体・個人を表彰してきました。この賞には、受賞者のムトスの活動をたたえ励ます気持ちと、受賞者の生き生きとした活動の姿が、私たち一人ひとりの秘めているムトスと呼び起こし、市民活動が発展していくことへの「期待」が込められています。ムトス飯田賞は、創設から今回の第34回までに、71団体と2個人に授与され表彰されております。

ムトス助成事業は、平成3年度からふるさと創生の1億円を基金として、公益的な地域づくり活動を支援するために、独創的で波及効果のある地域づくりの活動に対して助成事業を開始しました。毎年、団体・個人からの助成金申請に対して、会長（飯田市長）と各分野で活動する市民でつくる「ムトス飯田推進委員会」が審査し、ムトスの精神にふさわしい団体等に助成をしています。平成29年度までに512の団体・個人の活動を支援してきました。

飯田市のまちづくりは、多様な主体の協働により、団体や個人、NPO・NGO、各地区のまちづくり委員会などに支えられています。右肩上がりの時代が終わり社会経済が停滞し先が見えにくい状況の中、飯田市の総合計画のキャッチフレーズに掲げられた「合言葉はムトス 誰もが主役」という言葉が表すように、市民協働の広がりはずいぶん重要になってきています。

ムトス飯田推進委員会では、市民の皆様の活動状況を広く情報提供して、今後のまちづくりや協働の参考にしていただくよう、ムトス飯田に関係する団体等を中心にした「活動報告集」を毎年発行しています。新たな繋がりや構築や連携、地域づくり活動の一助としていただければ幸いです。

この活動報告集を作成するにあたり、情報提供をいただきましたムトス飯田助成団体、歴代ムトス飯田賞受賞団体、まちづくり委員会等及びNPO法人の皆様をはじめ、ご協力いただきました方々に、深く感謝とお礼を申し上げます。

皆様のご活躍と、今後の更なるご発展を心よりご祈念申し上げます。

平成31年2月

ムトス飯田推進委員会

— 目 次 —

I 第34回 ムトス飯田賞受賞団体のご紹介	ページ
・ 橋北面白倶楽部	1

II 平成30年度 ムトス飯田助成事業 助成団体活動報告

まちづくり・地域づくり応援事業	ページ
・ NPO法人信州自然エネルギー研究会	2
・ NPO法人緑のそよ風	4
・ 一般社団法人日本禁煙友愛会龍峽支部	6
・ 橋南まちづくり委員会 (将来構想策定事業)	8
・ 天龍峽篠笛愛好会	10
・ ラン伴飯田2018実行委員会	12
・ 虎岩の文化財を守る会	14
・ 長姫町自治会 (防犯カメラ設置事業)	16
・ ひさかた風土舎	18
・ NPO法人南信州クラブ	20
・ 華齢なる音楽祭実行委員会	22
・ 遠山郷やらまい会	24
・ 橋北まちづくり委員会 (基本構想策定事業)	26
・ 松尾郷土芸能まつり実行委員会	28
・ 上久堅地区まちづくり委員会 (基本構想・基本計画の策定)	30
・ 川路七区	32
・ 丸山まちづくり委員会 (丸山の歌)	34
・ 森集人プロジェクト	36
・ 農愉快	38
・ 信州森組	40
・ 天龍峽マルシェ実行委員会	42
・ 第10回市民・地域共同発電所全国フォーラムin飯田 実行委員会	44
・ まるやま石窯部	46
・ 米川桃源郷プロジェクト委員会	48
・ 千代地区まちづくり委員会 (野池親水公園活性化事業)	50
・ おいでなんしょ立ちあげ準備会	52
・ 夢かなえ隊	54
・ 川路まちづくり委員会 (ようこそ川路へ)	56

Ⅲ 市民活動団体のご紹介（情報提供いただいた団体）

1 ムトス飯田賞 受賞団体（受賞年度順）			ページ
・伊那史学会	平成元年度	第5回受賞	58
・鼎壮年団	平成4年度	第8回受賞	59
・飯田市民吹奏楽団	平成8年度	第12回受賞	60
・風越山を愛する会	平成8年度	第12回受賞	61
・上飯田夕市グループ	平成12年度	第16回受賞	62
・飯田観光ガイドの会	平成12年度	第16回受賞	63
・朗読奉仕の会「声の輪」	平成13年度	第17回受賞	64
・飯田子ども劇場	平成13年度	第17回受賞	65
・黒田人形保存会	平成14年度	第18回受賞	66
・子ども科学工作教室推進協議会	平成16年度	第20回受賞	67
・木沢地区活性化推進協議会	平成17年度	第21回受賞	68
・秋葉街道を愛する会	平成20年度	第24回受賞	69
・杵原学校応援団	平成20年度	第24回受賞	70
・南信州飯田 おもしろ科学工房	平成21年度	第25回受賞	71
・遠山山の会	平成22年度	第26回受賞	72
・社会医療法人栗山会 飯田病院	平成22年度	第26回受賞	73
・NPO法人飯田ボランティア協会	平成23年度	第27回受賞	74
・NPO法人いいだ自然エネルギーネット山	平成25年度	第29回受賞	75
・地域ぐるみ環境ISO研究会	平成26年度	第30回受賞	76
・NPO法人南信州おひさま進歩	平成26年度	第30回受賞	77
・夢くらぶ	平成28年度	第32回受賞	78
・下黒田東有志の会「繋(つなぎ)」	平成29年度	第33回受賞	79
2 ムトス飯田助成事業 平成28, 29年度の助成団体等			ページ
・キッズ山本大作戦推進委員会			80
・おはなしのいす			81
・わけあり市場			82
・しなの大和			83
・ふれあいボランティアもみじの会			84
・龍江四区地域づくり委員会			85
・遠山郷観光協会			86
・千代河鹿がえるまつり実行委員会			87
・飯田下伊那アマチュア無線クラブ			88

3 まちづくり委員会等	ページ
・ 橋北まちづくり委員会	89
・ 橋南まちづくり委員会	90
・ 羽場まちづくり委員会	91
・ 丸山まちづくり委員会	92
・ 東野まちづくり会議	93
・ 座光寺地域自治会	94
・ 松尾地区まちづくり委員会	95
・ 下久堅地区まちづくり委員会	96
・ 上久堅地区まちづくり委員会	97
・ 千代地区まちづくり委員会	98
・ 龍江地域づくり委員会	99
・ 竜丘地域自治会	100
・ 川路まちづくり委員会	101
・ 三穂まちづくり委員会	102
・ 山本地域づくり委員会	103
・ 伊賀良まちづくり協議会	104
・ 鼎地区まちづくり委員会	105
・ 上郷地域まちづくり委員会	106
・ 上村まちづくり委員会	107
・ 南信濃まちづくり委員会	108

4 特定非営利活動法人（NPO法人）	ページ
・ 福祉ネットワーク花の木	109
・ くらりnet	110
・ 中国帰国者等のための介護・福祉の会ニイハオ	111
・ 飯伊学生防犯対策支援協会	112
・ 七和の会	113
・ 南信州バイコロジー協会	114
・ 飯田ブルーベリー振興会	115
・ おしゃべりサラダ	116
・ 南信州山都共同社中	117
・ もりの学校	118

橋北面白倶楽部

～ 面白いことをしながら地域を盛りあげる ～

「さくら・橋北祭」「橋北夏まつり」「橋北音頭の復活」「イルミネーションフェスタ」など、様々な活動に取り組んできた。イルミネーションは、今でこそ様々な場所で見かけるようになったが、この辺りのはしりでもある。一見バラバラに見える活動も、終始一貫しているのは「地域を盛り上げたい」というムトスの心。メンバーはそれぞれ得意な分野を持っているため、色々なことに挑戦できる。

橋北連合自治会内で平成16年から



旧飯田測候所のイルミネーション

活動していた「橋北まちづくり市民会議プロジェクト委員会」が前身。平成19年にこれを再編し、自治会とは別組織として青年層や女性の参加を得て再出発した。「橋北面白倶楽部」は、かつて二本松にあった社交場の名前から。

地域にある資源や歴史的価値の掘り起こしを行い、これに「面白いこと」を加えて発信しながら、地域内外の人たちとの交流を促進することで、住民の地域への愛着を高め、地域活性化につなげていこうと、10年間取り組んできた。大規模なイベントなどを10年間続けるのは簡単ではない。しかも毎年前年を踏襲せず、新しい工夫を取り入れている。

高齢化率の高い橋北地区において、多世代が参加できる場をつくり、交流により地域にお



橋北夏まつり

ける新たな活動をつくり出している。メンバーの年齢が上がってきているとも聞くが、そんなことを吹き飛ばすべく、エールを送りたい。

- ◆代表者 相津 博人
- ◆発 足 平成19年度
- ◆会 員 40名



さくら・橋北祭の正永寺桜のライトアップ

取組名称	営農型太陽光発電の推進
団体名	特定非営利活動法人信州自然エネルギー研究会
代表者氏名	林 宗吉
地区名	飯田市 龍江

取組みの目的	<p>①営農型太陽光発電が日本での食料自給と再生可能エネルギーへの転換を可能とする一手段と考えるが、これに市民レベルで取り組みコスト的に割に合うか否かを実証する。</p> <p>②昨年度において飯田市での営農型太陽光発電大一号を達成したが、今回2年目の事業にてさらに安定した営農をPRする。</p> <p>③環境都市飯田を発信する。</p>
具体的内容	<p>①飯田市龍江4481番地2(面積 約933㎡)に出力22kWの営農型太陽光発電設備を設置する。</p> <p>②昨年植付けたブルーベリーは2年目を迎えたが、講習会を開催して本格的な管理をする。</p> <p>③非常時に余剰電力を活用すべく龍江地域づくり委員会と協定を締結したが、非常時の取扱い訓練をする。</p> <p>④下伊那農業高校と締結し無償提供したソーラーパネル下の畑作地の耕作支援。</p>



説明 下伊那農業高校の新たなメンバー



説明 ひまわり開花



説明 ブルーベリー結実



説明 研修旅行

取組の経過	平成30年2月 ムトス飯田助成事業助成金申請 平成30年4月 ワサビ植付け、 平成30年5月 ブルーベリー講習会 平成30年5月～7月 耕作 ブルーベリー・サツマイモ・里芋を育成 平成30年6月 下伊那農業高校 事業キックオフ 平成30年7月 ブルーベリー講習会、草取り、ブルーベリー収穫 平成30年9月 ブルーベリー講習会、草取り 平成30年10月 研修旅行実施 平成30年11月 サツマイモ、里芋収穫
取組の効果	①当営農型太陽光発電所の発電容量は22kWであるが、直近1年間(平成29年12月10日～平成30年12月10日までの総発電量は30500kWhに達成した。これにより当該施設がコスト的に見合うものであることが実証できた。売電収入は1年間で823500円(27円×30500kW)に対して製造コストは約6500000円。よって営農型太陽光発電に関心を持っている人に対して導入を勧めることができることになった。 ②営農型太陽光発電は環境モデル都市「飯田」に相応しい事業であり信州自然エネルギー研究所のホームページ(abuso.biz)で十分PRができた。 ③龍江地域づくり委員会との非常時協定により地域との連携を深めることができた。
今後の取組	営農型太陽光発電が普及しないのはコストパフォーマンスが悪いからとされている(密集した発電パネル方式を採用しないために発電効率が悪く、また地上の作業空間を確保するために設置工事費が高つく等)。 さらに発電パネル下では野菜等の生育が悪いのではないかと考えられている。 上記の考え方を払拭し、当NPO法人の取り組みに引き続き、参加したい団体に対して手助けをしたい。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		115,000
うち助成金(見込み)		80,000
主な経費内訳 (上位3項目)	事業費	50,000
	謝礼	20,000
	広報・印刷	20,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	ふれあいマリンバ演奏
団体名	特定非営利活動法人緑のそよ風
代表者氏名	林 宗吉
地区名	飯田市 龍江

取組みの目的	従来の施設訪問演奏活動は一過性であり、活動に深まりがなかった。サポートホームのように入居者が長期間にわたり変わらない条件の施設での演奏活動に軸足を移し、交流を深めながら繰り返し音楽演奏(療法)を実施して、ボランティア活動で有りながら質の高いマリンバによる演奏活動を確立したい。
具体的内容	講師として日本木琴協会賛助会員・昭和音楽大学キャリアマネジメント評議員武井明美氏(富士見町在住)等を依頼する。 また講義を受けつつ都度、施設・保育園・地区敬老会で演奏し技能を確認していく。活動参加者は前年度3人で会ったが、今年度は5人として全員参加に近づきたい。 指導は1回/月受ける予定。 施設等訪問演奏は6回/月程度実施予定。



説明 | 平成30年5月 高森アピタ フロアコンサート



説明 | 平成30年8月 松川町ななすぎ



説明 | 平成30年7月 龍江みつばさ定期訪問



説明 | 平成30年12月 X'mas児童クラブ訪問

取組の経過	<p>平成30年2月 ムトス飯田助成事業助成金申請</p> <p>平成30年3月 緑のそよ風 年間計画策定</p> <p>平成30年4月 マリンバ演奏者 武井明美氏(富士見町在住)に指導依頼</p> <p>平成30年4月 武井明美師事演奏者の会「すわんの会」(茅野市会場)継続参加申請、以降毎月</p> <p>平成30年4月 龍江身障協、松川町ななすぎ、知久平Dサービス、橋上病院 等で演奏</p> <p>平成30年5月 アピタ高森店、龍江児童クラブ、下條光の園、竜東Dサービス 等で演奏</p> <p>平成30年6月 上郷児童クラブ、みつばさ龍江、泰阜あさぎり館、ウェルネスタウン等</p> <p>平成30年7月 龍江2区ふれあい広場、明星学園 等で演奏</p> <p>平成30年8月 上郷商工会館、勤労者福祉センター、西沢病院 等で演奏</p> <p>平成30年9月 川路Dサービス、千代下村公民館、三穂おまめだに 等で演奏</p> <p>平成30年10月 民児協研修会(Dブロック)、千代Dサービスしゃくなげ 等で演奏</p> <p>平成30年11月 市立病院5F・3F、サポートホーム羽場、みつばさ鼎 等で演奏</p> <p>平成30年12月 松尾水城公民館、羽場赤坂Dサービス、松川町児童クラブ 等で演奏</p> <p><平成30年12月20日現在></p>
取組の効果	<p>武井明美氏から施設での演奏に相応しい選曲と演奏のスキルアップを達成することができた。</p> <p>マリンバ演奏者の会「すわんの会」にて引き続き演奏に際してのアドバイスを数多く得ることができた。</p> <p>4月以来現在までに50回以上 施設の訪問演奏ができた(昨年より10回増し)。このうち5割程度の訪問はリピートであり、繰り返し訪問を重ねることによって信頼をさらに深められたと考える。</p>
今後の取組	<p>成果をPRして他所にも働きかける。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		220,000
うち助成金(見込み)		140,000
主な経費内訳 (上位3項目)	事務費	100,000
	材料費	60,000
	謝礼	30,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

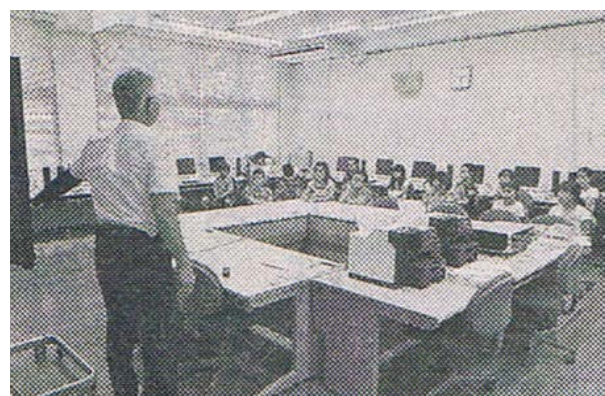
取組名称	小学校での禁煙出前教育
団体名	一般社団法人日本禁煙友愛会龍峽支部
代表者氏名	林 宗吉
地区名	飯田市 龍江

取組みの目的	<p>肺がん死亡率は長野県が全国最低である。これは禁煙運動の成果であり、WHOから日本禁煙友愛会はその活動を認められて表彰された。半世紀前と比較すると喫煙率は大幅に低下したが、このところの喫煙率は横ばい状態である。</p> <p>さらなる喫煙率低下には成人に対してよりも未成年者に働きかけることが重要であると考え、地域の小学校において禁煙出前教育を実施する。</p>
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・龍江小学校、川路小学校、千代小学校、千栄小学校、及び三穂小学校等の4年生を対象に授業の中で1時限程度の禁煙教育を実施する。(従来4年生には夏休み課題として禁煙ポスターを制作して貰っているため禁煙出前教育の成果を禁煙ポスターの制作に反映させて貰う。) ・禁煙出前教育受講者に簡単な記念品を与える。 ・出前教育におけるDVD上映には確実かつ効率性を期すため学校の機材でなく自前の機材にて実施する。 ・小中学校に図書カードの贈呈、禁煙旅行を介して地域と交流する。



於 竜峽中学校 図書カード贈呈

説明 H30.6.16南信州



於 龍江小学校 プロジェクターにて禁煙出前

説明 H30.7.28南信州



説明 H30.10.20健康いいだフェスティバル



於 竜丘小学校 プロジェクターにて禁煙出前

説明 H30.8.9南信州

取組の経過	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年2月 ムトス飯田助成事業助成金申請 平成30年4月 総会にて当該事業の取組み方策検討 平成30年6月 龍江小学校、千代小学校、千栄小学校、川路小学校、三穂小学校訪問禁煙教育参加を呼びかける。 平成30年7月 龍江小学校及び竜丘小学校で禁煙出前教育実施 平成30年9月 龍江小学校、千栄小学校、川路小学校、千栄小学校、竜東中学校、竜峡中学校で禁煙ポスター募集 平成30年10月 「健康いいだ21フェスティバル2018」(会場 鼎文化センター)に参加 来訪者 150名。 平成30年12月 禁煙ポスター入選作表彰 平成30年12月 禁煙役員研修会実施(受動喫煙その他について学ぶ。)
取組の効果	ムトス飯田を介することによって大きな禁煙PR効果が得られた。小学校に対する禁煙教育を機に児童に禁煙の大切さを理解して貰えた。さらに、学校を発信源として家庭・地域に禁煙思想を波及できた。
今後の取組	飯田下伊那地区の小学校にも禁煙教育を実施する。成果をPRして他の禁煙友愛会支部にも小学校への禁煙出前教育に取り組むよう働きかけた。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		165,000
うち助成金(見込み)		103,000
主な経費内訳 (上位3項目)	備品費(見込み)	100,000
	事業費(見込み)	25,000
	材料費(見込み)	10,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	橋南地区将来構想策定事業
団体名	橋南まちづくり委員会・橋南地区将来構想策定委員会
代表者氏名	会長 原 勉
地区名	橋南地区

取組みの目的	<p>① これまで市が策定した中心市街地活性化基本計画を地区の基本計画としていたが、次期中心市街地活性化基本計画は、地区での行動計画を基礎に策定される。</p> <p>② そこで、まちの魅力再生や人々が集まり笑顔があふれるまちとなるよう、長い将来を見据え、行政施策とともに住民が主体となって効率的で効果的な地域活動を繰り広げる橋南地区の行動計画として策定する。</p>
--------	--

具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・策定委員会の設置…各自治会長、各種団体長、組織代表者、学識経験者等57人で構成 ・4つの分科会(総務、建設、社会教育、福祉)に分かれの分野別協議 ・有識者によるまちづくりセミナーへの参加 ・策定日より「橋南のゆめ」を定期発行して地区民へ進捗状況を公表 ・住民アンケートの実施…結果に即した将来構想の策定を協議 ・市政懇談会において中間発表を実施。策定中の内容を報告 ・地区内意見公募(パブリックコメント)を実施して意見聴取 ・策定委員会、地域協議会で承認後、印刷・製本し、地区内全戸へ配布
-------	--



説明 全体会で強み弱みの洗い出し



説明 市政懇談会での中間発表



説明 買い物支援便の先行実施



説明 策定委員会での協議

取組の経過	<p>平成29年</p> <p>10月:次期中心市街地活性化基本計画の策定日程が示され、地区計画の必要性を確認</p> <p>11月:自治運営委員会へ将来構想の策定を提案し承認</p> <p>12月:黒澤策定委員長と総務、建設、社会教育、福祉の各策定委員を選任</p> <p>平成30年</p> <p>1月:委嘱状を交付し、第1回策定委員会を開催</p> <p>2月:全体会と第1回各部会を開催</p> <p>地区の現状を把握し、部会ごとワークショップで「強み」「弱み」の洗い出しを行う以降、各部会を毎月開催し、部会に付託された項目について、行動計画を協議</p> <p>総務部会:6回、建設部会:5回、社会教育部会:15回、福祉部会:7回</p> <p>7月:市政懇談会において中間報告を実施(出席者126名)</p> <p>10月:策定全体会、策定委員会を開催し、原案の承認</p> <p>12月:橋南地区全体に対して将来構想原案の意見聴取(パブリックコメント)を実施</p> <p>平成31年</p> <p>1月:策定委員会を開催し、最終的な構想を決定</p> <p>2月:地域協議会へ意見聴取⇒意見なし</p> <p>3月:橋南地区将来構想(基本計画)を公表</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> 多くの住民が関わることで地域の現状を再認識するとともに、当事者として将来の地区のあり方に対する関心を高めることができた。 将来構想を策定することで、まちづくり委員会の役員が変わっても、方向性を保ったまちづくり活動を展開していくことが可能となった。 将来構想を地区内全戸へ配布することで、地域住民が地区の将来の姿を共有し、地域活動への積極的な参加等、地区内の活発化が期待できる。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 将来構想に掲載された目標に沿った実行事業を計画、展開し、地域活動の方向性を確認しながら、住民が自ら参加する事業の展開を図る。 次期中心市街地活性化基本計画に本事業で策定した地区基本計画が取り込まれ、行政計画とともに目標に向けた着実な事業展開を実施する。

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	1,000,000
	うち助成金(見込み)	300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	印刷製本費…冊子、付随資料等 各2,000部	850,000
	消耗品費…コピー用紙、付箋、模造紙、インク等	70,000
	コピー代…策定日より「橋南のゆめ」発行 計6回	50,000
	その他	30,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	祇園囃子等の伝統芸能継承
団体名	天龍峽篠笛愛好会
代表者氏名	清水 實
地区名	川路

取組みの目的	<p>川路には伝統芸能になっている祇園祭があります。しかし、少子高齢化の時代となっており、担い手不足が課題となっています。一方、祇園祭には篠笛が必ず入っており、その技術も難しく担い手が不足している状況となっています。</p> <p>よって、篠笛の演奏技術を習得することを目的として活動し、祇園囃子等の伝統芸能継承に繋がることを考えていきます。</p>
具体的内容	<p>先ず初めに、篠笛演奏技術の習得から始めます。ある程度の基礎技術を習得した後、プロの篠笛奏者から講習を受け、指導を受けます。</p> <p>祭り囃子等で使用されている笛と、唱歌等を演奏する笛には多少の違いがあります。前者は囃子用笛であり、後者は唄用笛ですが、演奏の基礎技術は共通です。よって最初に基礎技術の習得から始めます。祭り囃子は各地区で伝統的に受け継がれているものであり、この伝統は大切にしなければなりませんから、基礎習得後は祇園囃子については各地区の指導者をお願いする事が望ましいと考えます。</p> <p>演奏技術の基礎習得を重点に取り組み、篠笛、教材、音響機器の購入も行い、篠笛だけで演奏会、芸能祭等に参加して演奏技術を磨いていきます。今回は、その結果が祇園囃子等の伝統芸能継承に繋がれば良いとします。</p>



川路地区敬老会での発表



篠笛愛好会部内での発表会



篠笛教室発表会への参加



天龍峽での練習

取組の経過	<p>川路には伝統芸能となっている祇園祭があり、そこでは必ず篠笛が入っており、囃子の重要な部分を担っています。祇園以外の祭りでも笛は活躍していますから、川路には昔から篠笛文化と呼べるものが、目立たない状態で存在していました。その篠笛を天龍峡の文化に育てたい。この峡谷に笛の音色を響かせたい。そして天龍峡を舞台にした伝統芸能祭を行いたい。そんな夢のような事も実現できるようにと取り組んでいます。</p> <p>1. 練習日は毎月第3月曜日19:00から約1.5時間 毎月第4日曜日10:00から約1.5時間 場所は川路公民館又は天龍峡です。</p> <p>2. 指導を森田梅泉先生から受けています。月1回篠笛ワークショップで受けます。</p> <p>3. 川路祇園囃子を、6月～7月に各区で指導して練習を行いました。</p> <p>4. 発表会への参加 ○平成30年7月14日 「川路祇園まつり」で各自各区の祇園囃子に参加して発表 ○平成30年9月9日 川路地区敬老会で発表 ○平成30年11月18日 森田梅泉篠笛教室の発表会に参加 ○平成30年11月25日 当愛好会での部内発表会を実施</p>
取組の効果	<p>川路祇園囃子では、各区とも小学生に笛を教えて、一緒に笛を吹いています。20年以上も前から続いていることですから、中学、高校生、社会人になっている若者達も、祭り当日は自然に笛グループに参加している光景が見られます。大変すばらしい世代間交流が生まれています。</p> <p>今回の活動を行なう事で、この伝統芸能川路祇園囃子の継承に役立ち、さらに、篠笛文化を皆で大切に育てていく事で、天龍峡観光に役立つことにもなります。</p>
今後の取組	<p>将来は天龍峡を舞台にして、(伝統)芸能祭を開催したい。南信州には伝統芸能と呼ばれる物が多くあり、川路の祇園を含めたその祭りを、三遠南信自動車道の要となってくるこの地で開催し、三遠南信地域に良い結果となるようにしたいと考えます。</p> <p>天龍峡の景観を舞台にすることは出来ると思いますが、舞台施設が現状ではありません。屋内施設が望ましいと思われませんが、屋根が付いていれば屋外施設でも良いですから作って頂けるよう要望していきたいと思えます。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		363,000
うち助成金(見込み)		254,000
主な経費内訳 (上位3項目)	備品(音響機材、篠笛等)	100,000
	受講料	100,000
	事業費(練習活動、演奏会参加等)	50,000
	事務費(印刷費、インク代等)	50,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	ラン伴2018飯田地区大会
団体名	ラン伴飯田2018実行委員会
代表者氏名	小宮山徳太郎
地区名	飯田市

取組みの目的	<p>○高齢化が進み、長寿命と認知症の方はセットで増加している。認知症になっても住みなれた地域で安心して生活ができ、社会の一員として活動できる地域づくりを行うため、イベントを通じて認知症に対する理解を広げる。</p> <p>○活動の一環として、認知症の人とそうでない人が認知症のシンボルカラーであるオレンジ色のTシャツを着て、一緒にタスキリレーをして市内を走るイベントを行い、認知症の理解を深める。</p> <p>○認知症の方が社会参加をする一歩になる、一般の人も認知症の人と行動を共にすることで、認知症に対する理解が進むことをめざす。</p>
--------	--

具体的内容	<p>○長野県は4ブロックでタスキリレーを行った。飯田下伊那では松川町と高森町及び飯田市に加え、新たに阿智村が加わり3地区でタスキリレーを行った。</p> <p>○飯田地区は、コースを延長して、飯田女子短大から市街地9キロを8区間に別けて、1区間約10名から30名で走り、タスキリレーをおこなう。参加者は、3地区合わせて40チーム200名の方が参加。また安全確保のための誘導員、救急用スタッフ60名が大会を支えた。</p> <p>○応援用の旗やボンボリは、デイサービスセンター利用者の皆さんの協力をいただき作成するなど色々な形で参加してくれた。また旧市5地区と県地区まちづくり委員会にも沿道での応援をお願いし、大会を盛り上げていただいた。</p> <p>○ゴール地点では、参加者が楽しめる南原苑太鼓、バルーンアートなどのアトラクションを行い、参加者、応援者が一つになれる工夫を行った。</p>
-------	--



説明 | 子どもも大人も元気にスタート



説明 | 沿道応援の皆さんとの交流



説明 | 飯田駅にて駒ヶ根地区のランナー出迎え



説明 | 閉会后参加者全員記念写真

取組の経過	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会の開催 30年4月4日に第1回以降9月20日までに、7回開催する。 ・県の実行委員会及びエリア会議出席 3月～9月 13回 諏訪市他 ・広報用チラシ・ポスターの作成 ポスター200枚 チラシ2000枚 当日用パンフ 300枚 ・協力支援金の募集 7月～8月 32事業所訪問協力要請及び集金(協力は31事業所) ・ラン伴参加チームの募集 7月～8月 各チーム直接本部へTシャツ注文 ・参加チーム40チーム200名登録 ・参加チームの打合せ会の実施 走る区間の調整と決定、当日の日程と注意事項の徹底 ・丘の上5地区と鼎地区まちづくり委員会に応援参加のお願い 9月 ・応援用オレンジ旗、ボンボリの作成 9月にデイサービスセンター等の利用者に作成依頼 ・オレンジの旗 500本 オレンジぼんぼり 50個 ・アルツハイマー月間行事の一つとして大型店でラン伴チラシの配布を行う(9月22日) ・道路使用許可申請が本年度から必要となり、申請書の提出を行う ・大会 9月24日(月・振替休日) 松川町午前9時スタート、阿智村午前10時スタート、飯田市 午後0時飯田女子短期大学スタート8区間9km 午後3時45分飯田病院ゴール
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もがなりうる認知症について、多くの人に関心を持ってもらうことができました。 ・認知症の方が昨年より多くの方が参加してくれた。 ・飯田女子短大の生徒が参加し、若い人が認知症について関心を高めると共に、スタート会場を始め大会を盛り上げてくれた。 ・認知症当事者の方は社会参加やイベントの参加のきっかけとなった。 ・認知症の方と身近に接し、交流することで認知症の理解を深めた。 ・実行委員会に参加することで、施設や事業所間の連携ができた。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ムトス助成事業2年目となり、実行委員会組織も充実しながら、長く継続していける体制を整える必要がある。 ○組織(実行委員会)作りに苦労がある。行政をはじめ関係する団体で、事務局体制も含め、あり方を検討する。 ○開催内容の検討 (コースの拡大は出来たが、Tシャツの購入費用の負担感が大きいとの意見もあり、参加者が増えない状況。気楽に参加できる方法を検討する。) ○飯田市全体を1箇所で行っているが、ブロック毎に数箇所でも事業の取り組みができるように拡大していきたい。 ○参加者で短大生や小中学生は参加してきているがまだ少なく、特に高校生の参加も少ないので、拡大をしていく。 ○飯田市を核として松川町、高森町、阿智村がそれぞれ開催したが、近隣町村でもこの運動に取り組んでいただき、南信州全体の事業に拡大して、認知症の早期発見・早期診断につなげ、認知症になっても、安心して地域で生活できる地域づくりが出来るようにしたい。

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額	536,000
	うち助成金	296,000
主な経費内訳 (上位3項目)	参加記念カード、熱中症対策等事業費	296,208
	ポスター、チラシ、横断幕等広報費用	160,124
	事務費(県実行委員会参加高速使用料、郵送料等)	63,187

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	虎岩の文化財活用事業		
団体名	虎岩の文化財を守る会		
代表者氏名	池田健一		
地区名	下久堅虎岩		
取組みの目的	<p>虎岩区には飯田市指定の文化財が2ヶ所あり、天然記念物の嵯峨坂ざぜん草自生地および有形文化財の旧瀧澤医院の擬洋風門構え時計塔である。この病棟は明治28年建築の全国的にも貴重な遺構で、市内松尾町に4年前まであった滝沢医院の前身である。瑞穂院長亡き後、旧瀧澤医院も管理者不在となり、平成27年春に地元虎岩区で「守る会」を立ち上げ、維持に努めることになった。昨年まで駐車場など設置し、両地で見学会を行ってきたが、一番の課題はアクセスであって地区外からは非常に分かりにくい。今年は国道・県道からの案内看板を設置する。</p>		
具体的内容	<p>旧瀧澤医院の診察室は守る会の拠点として整備し、母屋玄関・座敷や待合室を復元してきた。昨年は初の一般見学会を開催し、古民家を活用した絵画展や詩画展を併催。やまびこマーチの30回記念として企画した旧瀧澤医院を巡る竜東コース(16Km)が好評だったゆえ、昨年のおっくウオークを経て、今年から定着した。地元のまちづくり委員会や公民館はもとより高森や豊丘など各地区からの研修先としても活用されている。</p> <p>並行して 嵯峨坂ざぜん草自生地でも駐車場・遊歩道・観察木道を整備。2回目のざぜん草見学会を開催できた。昨年度のムトス助成により両文化財のリーフレットを作成し活用出来た。</p> <p>こうした取り組みが外部からも評価され、広報いいだ新年号にムトス助成団体として掲載、飯田高校同窓会からは「高松賞」が贈られ、南信州文化財の会と飯伊ブロック文化財担当者会議による第8回文化財の保護保全を考える会では活動の事例報告を行っている。</p>		
	説明	虎岩の文化財を守る会新年総会	
	説明	歴史の小径と初代周硯医師顕彰碑	
	説明	虎岩区合成案内看板(R256)	
	説明	旧瀧澤医院手術室床復元へ	

取組の経過	<p>4月、課題だった母屋の雨漏り補修に着手。広域農道からの旧道(赤線)を「歴史の小径」とし年間数回の草刈などで整備を進め、入り口に道路案内標識も設置した。途中の崖上にある先代の周硯医師の顕彰碑(明治44年建立)周辺を整備し拓本の解説文を作成した。天然母岩の花崗岩を切削して階段を作って昇りやすくした。</p> <p>例年の草刈りや掃除などに加えて、今年は腐朽した手術室の床復元に取り組んだ。腐敗の要因となった裏山からの浸水などの抜本的排水工事を行った。中庭はU字溝を20m程敷設して西側池に排水、並行して給水管を埋めてトイレおよび待合室土間までの簡易水道を施工。前庭から駐車場については下が岩盤ゆえ削岩掘削した排水溝に碎石を埋め全体に砂利を敷いた。雨が降れば水たまりばかりで中庭など海と化し歩くにも難渋していた事態が改善された。手術室床下には防湿のため土間コンクリートを施工して最後に床板を張ることになっている。</p>
取組の効果	<p>昨年、嵯峨坂ざぜん草自生地とともに一般向け見学会を開催することができ、今年は各方面から文化財の価値や瀧澤清顕医師の業績を訪ねての個々の多くの見学会ができた。平成30年第32回となる飯田市やまびこマーチでは、飯田市街地を遠望する16kmの「竜東コース」として定着させ参加希望者も多い。ツアーオブジャパンとともに虎岩をアピールできる機会となり県内外の参加者の好評を得ており今後の成果に期待したい。昨年度ムトス飯田の助成金によるリーフレット(旧瀧澤医院・嵯峨坂ざぜん草自生地・虎岩樹木園)の作成および市役所などへの配備によって、四季を通じて樹木園とセットで訪れてくれた方も多い。</p>
今後の取組	<p>現在、恒久的なトイレが無いのが致命的であり、トイレの建築が課題となっている。また旧瀧澤医院母屋待合室に続く薬局・事務室と思しき部屋は放置されてきた。ここには分娩台や診察用ベッドの他馬の鑑札等雑多な品も多くあるので、手術室床復元の折にはこれらを整理しつつ見学者が土足のまま入室できる展示室として一般公開したい。</p> <p>また大石垣上も今年秋に竹垣を施工して、広大な庭園の散策やここからの眺望を楽しむ事が可能になっているので、庭木の整枝剪定など庭園としての整備を進めていく。</p> <p>手術室の床復元・展示閲覧室移行を待って第3回一般公開を計画したい。併催企画としては古民家の母屋座敷を活用しての「あんり窯陶工展」を5月のゴールデンウィーク中に企画したい。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		450,360
うち助成金(見込み)		300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	虎岩区合成道路案内看板	450,360

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

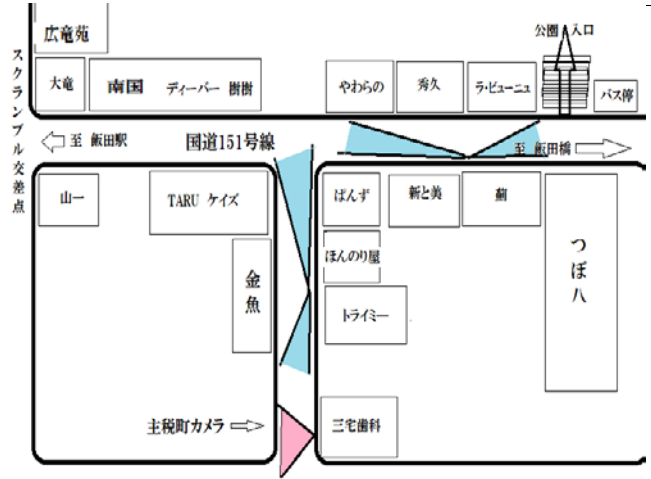
*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	防犯カメラ設置事業
団体名	長姫町自治会
代表者氏名	会長： 土屋 公久
地区名	橋南

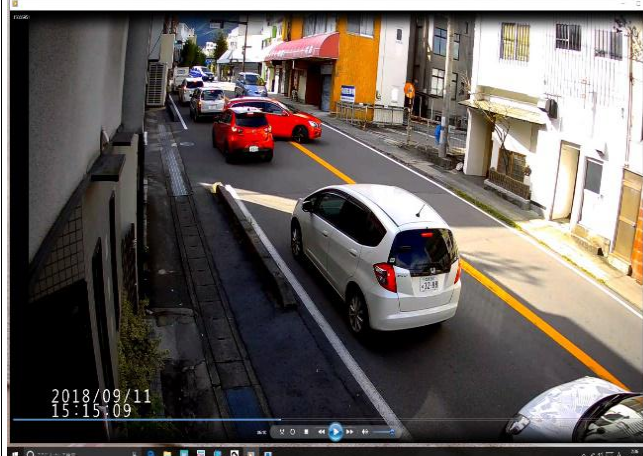
取組みの目的	<p>橋南地区は飯田市のほぼ中心にあり繁華街が多く、犯罪の発生率も高いと思われます。</p> <p>犯罪のうち、放火と疑われる事案などが起こっており不安を感じておりました。</p> <p>そこで橋南まちづくり委員会から、防犯カメラが隣接町内に設置されつつあると聞き、事業を計画いたしました。</p> <p>これにより防犯カメラの連携により犯罪の抑止または、被害の拡大を少なくできると考えています。</p>
具体的内容	<p>特に長姫町は、自治会員の6割が飲食店に賃貸するか営業している特殊な地区なので、夜間は連携して見回り、監視カメラの点検を行う。ただしプライバシー保護に留意し、店舗の入り口や個人宅を避けて設置。隣接地区との防犯カメラの連携と効率を考え、設置場所を決めました。</p> <p>公園内の喧嘩・バス停の不審者・ごみ捨て場無分別など起きない様注意監視する。</p>



説明 | 151号線上下用(S1, 2) 主税町方面(S3・4)



説明 | 周辺地図



説明 | 151号(谷川線)昇り 昼 スクランブル方面



説明 | 151号(谷川線)降り 夜 公園入口・バス停

取組の経過	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年 3月 設置事業 町内決定 平成30年 4月 ムトス飯田助成事業申請 平成30年 6月 補助金交付決定 平成30年 8月 県警の補助金を申請したが、今年度補助終了とのこと 平成30年 8月 設置事業 工事依頼 平成30年 9月 設置場所・目的を報告。有事の際の連絡網を確認。 平成30年 9月 設置事業 工事完了 平成30年10月 設置確認(役員)町内報告
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> 今のところトラブルや犯罪等が起きていないので効果なく、カメラを見ながら町内の皆さんは安心していています。 町内清掃のたびにカメラの話題が出て防犯意識が高まりました。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 防犯カメラを設置しているので何かあったら早めに通報する。 連絡網を利用して自治会員全員に連絡する。

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	291,168
	うち助成金(見込み)	100,000
主な経費内訳 (上位3項目)	防犯カメラ設置費	291,168

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	風土舎通信保存版(第5集)の刊行
団体名	ひさかた風土舎
代表者氏名	長谷部三弘
地区名	上久堅

取組みの目的	風土舎通信保存版 『第5集の刊行』 A版 268ページ 300部 発行
--------	--

具体的内容	風土舎通信発行 No250~No313までまとめて 保存版の冊子にまとめて刊行する
-------	--

風土舎通信保存版の編集会議

5月例会 風土舎通信保存版の編集会議 13・5・30



風土舎通信保存版 第4集





説明

第4集刊行の時のもの

説明

通信のバックナンバー

取組の経過	<p>風土舎通信は、毎月1回 400部発行しており、内容は、30,000さな出来事を記録に残したいとして、1991年5月から継続して発行してきた。</p>
取組の効果	<p>地区(上久堅)の出来事を保存版として記録してあるので、1991年からの“来し方”を振り返ることができ地域づくりの参考資料として役立っている。 (冊子、上久堅住民自治の歩み、上久堅の民俗、第3次基本構など)</p>
今後の取組	<p>保存版第5集刊行後も、発行 No314 から継続して発行している。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	447,641円
	うち助成金(見込み)	300,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	保存版 印刷代	380,000円
	保存版 送料	28,200円
	謝金(表紙画)	30,000円

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	健康体操教室・サロン付買物弱者支援無料バス運行
団体名	NPO法人 南信州クラブ
代表者氏名	小澤 健
地区名	

取組みの目的	買物弱者対策用の買物バスを無料で運行する。 居住地の近くにスーパーがなく、運転免許・自家用車がなく一人ではなかなか買物に出掛けられない高齢者をサポートする。 また、ロコモ対策を含めた健康教室を開催するとともに、茶話会を開催し健康寿命の延伸に寄与する。
具体的内容	当クラブでは平成30年度中にマイクロバスを購入予定。週末は中学生や女子の活動に利用するが、平日は日中であっても自由に利用できる。 そこで、総合型地域スポーツクラブである当南信州クラブは、本年度まで子供の運動遊び教室は実施してきたが、来年度より高齢者対象の体操教室を週1回開講する。 それにあわせ、一人では簡単に買い物に出掛けられない高齢者を体操教室後にスーパーに寄って買物をしてもらおうことを計画。 講師は基本的に当クラブの担当者が務めるが、月に1回はより指導力のある隣村の総合型地域スポーツクラブから講師を招聘する。 マイクロバス納車が2月であるため、それまではワゴン車にて送迎。



説明 午前の健康体操教室①(1回目)



説明 午前の健康体操教室②(1回目)



説明 午後の健康体操教室①(1回目)



説明 午後の健康体操教室②(1回目)

取組の経過	※11月上旬 チラシ配布 ※11月末 第一次応募締切 ※12月19日 第1回実施 ※12月26日 第2回実施 ※1月16日・23日・30日実施 ※2月6日・13日実施 ※以後2月20日・3月6日・13日実施予定
取組の効果	○今回、飯田駅前のスーパーがなくなったこともあり、旧市街地(丘の上)のなかで最もその影響を受けたと思われる地区を中心に実施したが、初回応募で11名の参加があり実施している。認知症予防もできサロン(茶話会)で多くの話しもでき、帰路買い物ができること好評である。
今後の取組	○マイクロバスの納車時期が決定した段階で、募集地区を拡大したい。(ワゴン車からマイクロバスになると現在より多くの方を乗せることができるため) ○来年度は通年で実施できるように取り組みたい。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		126,400
うち助成金(見込み)		88,000
主な経費内訳 (上位3項目)	印刷代	86,400
	会場使用料	25,000
	講師謝礼	15,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	「華齢なる音楽祭」
団体名	華齢なる音楽祭実行委員会
代表者氏名	福 島 茂 喜
地区名	飯田市鼎(実施場所)

取組みの目的	<p>1. 高齢社会において高齢者が光り輝ける場所づくり。普通の音楽祭では高齢者は若い人にもどうしても遅れをとってしまうという。しかし、「華齢なる音楽祭」ではその高齢者がスターである。→高齢者にやりがい満喫してもらう。今年出演者に孫の世代も参加させ世代の広がりも目的とした。</p> <p>2. 出演者は60歳以上、それを支えるスタッフは高校生とシニア大学生及びそのOBとし世代間交流を行いながら『高齢者と若者の協働による文化事業の推進』を目的とした。</p> <p>3. 高齢者に安全安心なコンサート体制のモデル作り。</p>																																			
具体的内容	<p>「華齢なる音楽祭」の開催を主な活動とし、その概要は下記の通りである。</p> <p>会場は鼎文化センター大ホールを中心に全館使用</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>開催日</th> <th>出演範囲</th> <th>出演団体数</th> <th>観客</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>H25・9・22</td> <td>飯伊</td> <td>12</td> <td>約600人</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>H26・9・21</td> <td>中南信</td> <td>17</td> <td>約650人</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>H27・9・20</td> <td>県内外</td> <td>16</td> <td>約700人</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>H28・9・18</td> <td>県内外</td> <td>15</td> <td>700人超</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>H29・9・17</td> <td>県内外</td> <td>15</td> <td>650人超</td> </tr> <tr> <td>第6回</td> <td>H29・9・17</td> <td>県内外</td> <td>15</td> <td>約700人</td> </tr> </tbody> </table>	回数	開催日	出演範囲	出演団体数	観客	第1回	H25・9・22	飯伊	12	約600人	第2回	H26・9・21	中南信	17	約650人	第3回	H27・9・20	県内外	16	約700人	第4回	H28・9・18	県内外	15	700人超	第5回	H29・9・17	県内外	15	650人超	第6回	H29・9・17	県内外	15	約700人
回数	開催日	出演範囲	出演団体数	観客																																
第1回	H25・9・22	飯伊	12	約600人																																
第2回	H26・9・21	中南信	17	約650人																																
第3回	H27・9・20	県内外	16	約700人																																
第4回	H28・9・18	県内外	15	700人超																																
第5回	H29・9・17	県内外	15	650人超																																
第6回	H29・9・17	県内外	15	約700人																																



説明



説明



説明



説明

取組の経過	<p>4月16日 華齢なる音楽祭実行委員会 5月14日 華齢なる音楽祭実行委員会、記者会見(音楽祭計画発表) 6月18日 華齢なる音楽祭実行委員会 7月2日 華齢なる音楽祭実行委員会 出演者打ち合わせ会 8月20日 華齢なる音楽祭実行委員会 出演者打ち合わせ会 9月10日 華齢なる音楽祭実行委員会 出演者打ち合わせ会 9月15日 裏方ワークショップ 9月15日 裏方ワークショップ、華齢なる音楽祭前日仕込み&リハーサル 9月16日 裏方ワークショップ、華齢なる音楽祭開催 10月13日 華齢なる音楽祭役員&実行委員会 打ち上げ反省会 1月22日 シニア大学にて音楽祭の成果発表 2月15日 プロモーション用DVD完成(予定)</p>
取組の効果	<p>過去5回も高校生の協力を頂いているが、思いも寄らぬ効果を感じている。高齢者の集まりの中に参集した高校生は、はじめは戸惑いがちであったが、高齢者パワーをもらったと毎回の打ち上げ慰労会において感想を述べ、自分も60歳を過ぎた時は、是非あのステージに立ってみたいという複数のコメントがある。</p> <p>高齢者だけでも、若者だけでも生きて行けない世の中、老若男女が力を合わせることで、いい学びをされている様子を実感している。</p> <p>更にこの輪を広げて年寄りも若者も仲良く暮らせる飯田の実現に少しでも寄与したい。</p> <p>また、医師や保健士を配置したことによって健康上のトラブルにもできる限りの対処をすることができた。</p>
今後の取組	<p>この事業が9年後に迫ったリニア開通後には「小さな世界都市」飯田において、「華齢なる音楽祭世界大会」ができればという夢に向かって小さな努力を積み重ねていこうと考えている。</p> <p>昨年『華齢なる音楽祭inよこはま』の実現によりこの大きな夢への一歩を踏み出せたと思う。</p> <p>告知用DVDを利用して多くの方に知ってもらいこのコンサートが高齢者の安心安全なコンサートのモデルとなるように努力していきたい。</p> <p>またシニア大学やOIDE長姫高等学校の地域人教育、高校音楽系クラブとの連携をますます強め、それぞれの立場ならではの意見やアイデアを出し合い、より良いコンサートとして育てていこうと思っている。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	1,093,097
	うち助成金(見込み)	300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	会場使用料(2日間)	191,900
	音響照明費(2日間)	352,000
	印刷費(ポスター、チラシ、当日パンフレット、チケット等)	253,800

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	青崩峠古道歩こう会(第3回)
団体名	遠山郷やらまい会
代表者氏名	山崎 語
地区名	南信濃
取組みの目的	秋葉街道は塩の道(物流)、信仰の道として栄えた。また静岡県水窪町と南信濃とはかつて林業など同一経済圏であった。したがって街道の往来は頻繁であり、現在よりも交流が深かった。 三遠南信道の青崩れトンネル工事が始まり、完成すれば南信濃と水窪間は7分で通行できるということらしい。便利になるが、旧秋葉街道は忘れ去られてしまう。 この歴史ある秋葉街道の難所であった青崩峠道をレクリエーションの場として後世へ残していきたい。安全確保のため、登山道整備を行い、多くのウォーキング参加者を募る。 人が通れば、道は残り、後世にも続いていく。ということで2016年に始めた事業は、おかげさまで多くの方々の参加を得て、成果を上げつつある。
具体的内容	①登山道の整備。踏み板・手すりの補修。 ②急傾斜地の手すり・ロープ増設・補強。 ③ウォーキング大会のチラシ・ポスターを制作。 ④2度にわたる台風の影響で、土砂および倒木の撤去など今回は重労働が伴った。 ⑤ウォーキング参加者72名、スタッフ・サポート隊35名、合計107名。参加者は減ったが、水窪との交流は深まり、峠道保存の気概は高まった。



説明 川の流れが変わり、コース変更した



説明 コースへ土砂が押し出した



説明 出発式会場を後にウォーキング開始



説明 青崩れ峠に到着

取組の経過	<p>4月22日 全コース下見(水窪と合同)</p> <p>5月15日 田楽の里管理組合(水窪町)との合同会議(田楽の里)</p> <p>6月3日 コース看板補修</p> <p>8月28日 実行委員会(水窪と合同)。チラシ制作打ち合わせ。コースとエイド設置個所の確認</p> <p>10月9日 台風後のコース状況を確認のためコース下見</p> <p>10月21日 コース整備、看板増設(水窪と合同)</p> <p>10月31日 協力団体との打ち合わせ、役割分担等確認</p> <p>11月5日 実行委員会最終打ち合わせ(水窪と合同:南信濃振興センター)</p> <p>11月9日 コース途上トイレ設置</p> <p>11月11日 第3回青崩峠古道歩こう会 実施(青天)</p> <p>11月29日 実行委員会反省会</p> <p>1月25日 次回(第4回)へ向けての第1回企画会議</p>
取組の効果	<p>① 今回も200名近くの参加者を得て、この行事が定着する期待が高まった。</p> <p>② アンケート調査の結果、90%の満足度であり自信が持てた。不備な点も浮き彫りになり、今後改良することができる。</p> <p>③ 浜松市(水窪町)との親交をさらに深めることができた。今後は周辺地域にも働き掛けていく。</p>
今後の取組	<p>秋葉街道・青崩峠道にはそこに住んでいた人々の歴史遺産もあり、中央構造線が並行していることから露頭や気の間もある。今年はガイド養成に力を入れ、ウォーキングだけでなく地元の歴史・文化や自然を紹介することによって参加者の好奇心を満たして、さらなる盛況を期待したい。そのことにより活動の幅を広げ、流入人口の大幅な拡大につながるよう頑張っていきたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	450,000
	うち助成金(見込み)	280,000
主な経費内訳 (上位3項目)	ポスター・チラシ・ワッペンなど印刷物	100,900
	看板制作費(設置も含む)	220,000
	マイクロバス使用料(燃料費含む)	124,800
	参加記念品(ふじ姫饅頭)	11,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	橋北地区基本構想策定事業
団体名	橋北まちづくり委員会
代表者氏名	会長 藤本 勝
地区名	橋北

取組みの目的	橋北地区はこれまで、地域づくりの道しるべとなるべく「基本構想」が策定されていなかった。今回、まちづくり委員会役員のみならず、様々な団体や公募者と併せた多くの住民により地域住民の総意としての「基本構想」を策定し、今後10年間の橋北地区の目指すべき姿を明確にしたうえで、持続可能な地域づくりを実施していく。
--------	---

具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ○基本構想策定委員として、まちづくり委員会からだけでなく、各分科会で取り上げる分野に関わる地区内の団体や個人及び公募委員の参画を図り、3月下旬の発足式で85名の委員を委嘱。 ○4月リーダー研修を経て、5月から7つの分科会に分かれて「橋北地区のめざす姿」について検討を行った。(～10月) ○6月の市政懇談会に於て、策定経過報告及び3つの分科会より発表。 ○6月～7月 住民アンケートを実施(全戸配布 有効回答数788) アンケート結果を各分科会での検討内容に反映させた。 ○11月基本構想・基本計画(素案)について、パブリックコメントを実施。
-------	---



説明	第4分科会での検討	説明	各分科会での検討
写真		写真	
説明		説明	

取組の経過	<p>4月13日 策定委員会リーダー研修会 4月以降 各分科会開催(第1:7回、第2:7回、第3:8回、第4:8回、第5:8回、第6:5回、第7:7回) 5月2日 第1回リーダー会議(平成31年12月まで計7回開催) 6月8日 市政懇談会にて基本構想策定と第1・4・5分科会の途中経過発表 6月21日 策定委員会拡大推進部会開催(アンケート実施について) 6月～7月 橋北地区住民アンケート実施 8月以降 策定委員会推進部会適宜開催 10月30日 推進部会で橋北地区基本構想・基本計画(素案原案)検討 11月5日 第2回橋北地区基本構想策定委員会全体会にて素案承認 11月13日～30日 橋北地区内パブリックコメント(意見公募) 12月19日 推進部会・リーダー会議にて基本構想・基本計画(案)確定 1月25日 橋北地域協議会で、基本構想・基本計画(案)を承認 3月 橋北地区基本構想・基本計画を橋北地区内へ各戸配布(予定)</p>
取組の効果	<p>○まちづくり委員会役員だけでなく、各種団体から策定に参画することにより、地域が現在抱える問題点の共有化を図るとともに、橋北地区のこれからのありかたについて、多面的に検討し共有することができた。 ○幅広い年齢層が策定に参画することにより、地域への関わりや意識を高めることができた。 ○基本構想を策定することで、まちづくり委員会の役員が変わっても一定の方向性をもってまちづくりの運営を行うことができる。 ○基本構想を全戸配布することで、地域住民が地区の将来の姿を共有でき、それに向かい地域活動が活発化することが期待できる。</p>
今後の取組	<p>今後10年間のまちづくり活動の取り組みにおいて、基本構想・基本計画をして定めた内容を具体化していく。 ○まちづくり委員会の組織として、複数の委員会で協働して課題解決のために取り組む。必要に応じ特別委員会等を設置する。 ○まちづくり委員会の組織としてこれまで取り組んできたことの中から、基本構想・基本計画に示した取り組みへにつながるもの・発展させていくものについて、意識的に取り組むとともに、地域の中での新たな担い手組織を検討し立ち上げるために、分科会での検討の中から生まれた意欲とつながりを活かしていく。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	525,880円(見込み)
	うち助成金(見込み)	300,000円(見込み)
主な経費内訳 (上位3項目)	基本構想冊子 印刷製本費	505,440円
	画像使用料(永青文庫)	19,440円

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	第3回「松尾郷土芸能まつり」
団体名	松尾郷土芸能まつり実行委員会
代表者氏名	実行委員長 宮澤 直人
地区名	松尾地区

取組みの目的	<p>松尾地区内の各区に残る芸能には、獅子舞やお囃子、太鼓などの様々なものがあるが、他区の住民が観覧する機会が少ない実態にある。</p> <p>こうしたことから、地区内の伝統芸能が一堂に会し共演する祭りを開催することにより、それぞれの郷土芸能の保存伝承、後継者の育成につなげるとともに、住民の郷土意識の高揚や地区の一体感の醸成のために開催した。</p> <p>またこの催しを通じて、鳩ヶ嶺八幡宮を中心とした賑わいの創出にもつなげる。</p>
具体的内容	<p>○開催日時 平成30年6月2日(土)11:55～16:35</p> <p>○会場 鳩ヶ嶺八幡宮境内</p> <p>○郷土芸能の演舞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土芸能8団体（獅子舞、お囃子、太鼓など） <p>○交流イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑ヶ丘中学校吹奏楽部等の演奏 ・商工会議所松尾支部、JAみなみ信州松尾支所などによる五平餅等の販売・提供



説明

寺所獅子舞保存会



説明

久盛芸能保存会



説明

交流イベント(緑ヶ丘中学校吹奏楽部)



説明

交流イベント(屋台販売)

取組の経過	平成30年4月19日 第1回実行委員会 平成30年5月10日 第2回実行委員会 平成30年5月28日 第3回実行委員会 平成30年6月2日 松尾郷土芸能まつり開催 平成30年7月12日 反省会
取組の効果	祭り当日は天候にも恵まれて、多くの来場者があり、地区内に残る郷土芸能等を再認識することができた。 また、まちづくり委員会や郷土芸能団体、商工会議所松尾支部、JAみなみ信州など、イベントを創り上げる過程から、多くの皆さんに関わっていただき催しを実施できたことが大きな成果である。 緑ヶ丘中学校の生徒の皆さんの参加は、郷土意識の醸成につながり、人づくりの観点からも成果があったと考える。
今後の取組	伝統芸能の保存継承のため、祭りの継続実施を検討するとともに、様々な機会を捉えて郷土芸能団体等の活性化を図りたい。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		1,463,850
うち助成金(見込み)		200,000
主な経費内訳 (上位3項目)	出演団体交付金	790,000
	音響機器設置費	130,000
	広告宣伝費	74,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	上久堅地区基本構想・基本計画の策定
団体名	上久堅地区まちづくり委員会
代表者氏名	会長 北沢 保美
地区名	上久堅地区

取組みの目的	○上久堅地区では、平成2年に基本構想「鎮守の杜構想」を策定し、その後平成21年度～30年度までの期間について基本構想を策定し、地域の方針としている。本年度次期基本構想を策定し、平成31年度から10年間の目指すべき姿を明確にし、地区内で共有化を図るなかでまちづくりに取り組みたい。
具体的内容	○策定委員を地区内から募集し、策定委員会として検討を行う。 ○策定委員会にて策定した(案)を地区、地域協議会等に意見聴取するなかで作成する。 ○冊子にまとめ全戸配布を行い、基本構想・基本計画の共有化を図る。



説明

第1回全体会



説明

部会



説明

基本構想表紙写真

写真

説明

取組の経過	基本構想・基本計画の策定(計画期間2019年度～2028年度) 4月～5月 策定委員公募 6月6日 第1回全体会議 9月12日 第2回全体会議 11月14日 第3回全体会議 6月～11月 各部会(6部会) 3回～5回実施 12月下旬 地域意見聴取完了 1月末 地域協議会等諮問予定
取組の効果	○基本構想・基本計画を策定し、方針を明確にすることにより、まちづくり委員会活動に根拠をもって臨むことができる。 ○基本構想・基本計画を全戸配布することにより、地域の現状と将来の姿を共通認識し、地域活動の活発化に期待することができる。 ○基本構想・基本計画を策定することにより、まちづくり委員会役員が交代した場合でも、一定の方向性を保ち推進することができる。
今後の取組	○基本構想・基本計画に基づき事業を実施することとなる。まちづくり委員会は、毎年の通常総会のなかで、事業報告を行い審議後承認を得ている。さらに、5年後を目途に、基本構想・基本計画の中間評価を行うことにより、実効性を担保する。

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	641,700
	うち助成金(見込み)	300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	広報・印刷費	453,600
	材料費 (パイプ式ファイル)	188,100

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	天龍峡相生「花いっぱい」運動
団体名	川路七区
代表者氏名	関谷藤吉
地区名	川路七区

取組みの目的	<p>天龍峡の活性化に関しては、飯田市観光課が主体となって、公園を中心に整備が進んでおりますが、天龍峡駅から派出所に至る旧商店街の空き家、空き地化が進み、だいぶ寂れた印象となって来ております。この寂れた印象の天龍峡旧商店街を中心とした川路七区を花でいっぱいにして、少しでもさわやかな、明るい印象の街に変えて行き、住む人の気持ちを明るくし、子供が故郷に愛着を持てるようにして行きたいと考えております。</p> <p>更に、天龍峡を訪れる観光客の皆さんにも、良い印象を持ってお帰り頂けるようにして参りたいと考えております。</p>
具体的内容	<p>昨年のドーム菊の区内展示をメインとして、更に2つの活動を追加して活動を進めて参りました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「天龍峡秋の彩展」に連動した、ドーム菊の七区区内展示 2. 春、夏の「花いっぱい」運動として、プランターに花苗を植えたセットを希望家庭に配布し、地区を花で飾る。 3. 天龍峡は空き地が目立つが、その中の幾つかの空き地をお借りして、花壇を中心としたミニ公園を造る。



説明

ミニ公園造成



説明

完成後のミニ公園



説明

有志の会による菊苗生産



説明

天龍峡駅前通りへのドーム菊展示

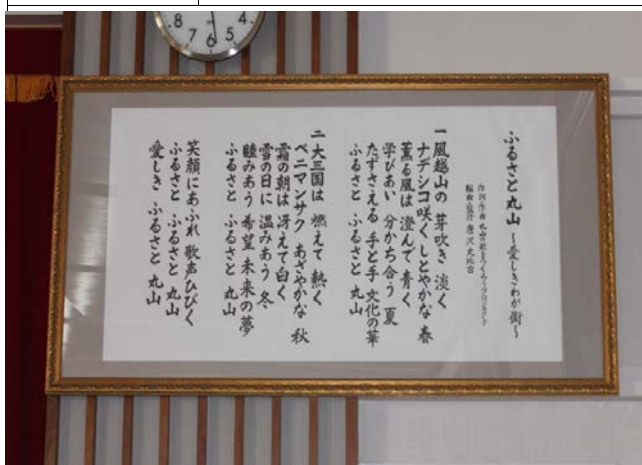
取組の経過	<p>上記活動を支援する為に、天龍峡相生「花いっぱい」運動有志の会を結成したところ、多くの区民の皆さんに参加頂き、区民の皆さんの「花いっぱい」運動に対する理解も得られたと考えております。この有志の会を中心として、区の役員の支援も頂き、以下の活動を展開して参りました。</p> <p>①5月 ドーム菊の挿し木講習会の開催と有志の会会員による挿し木苗の育成 ②6月 地元農家からお借りした畑をドーム菊用畑にする準備作業の実施 ③6月 無償でお借りした空き地をミニ公園にする造成作業と有志で育てた花苗の植栽 ④6月 区民に花苗を配布し、「花いっぱい」運動を展開 ⑤7月 挿し木で育成したドーム菊苗を畑に植栽 ⑥10月 畑で育てたドーム菊364鉢を菊用鉢に移植 ⑦10月 7区区民にドーム菊を配布し、更に公園、メイン道路脇に配置 ⑧11月 ドーム菊の回収と来年の為の親株の定植を実施 ⑨11月 ミニ公園に冬用花苗を植栽し、来年春に向けて花の球根を植付実施</p>
取組の効果	<p>天龍峡相生「花いっぱい」運動を区民主体で推進することにより、区民の連帯感も深まり、又「天龍峡秋の彩展」への区民の方々の参加意識が芽生え、天龍峡全体の活動に高めることができました。又ミニ公園は当初の期待以上に区民の皆さんの評価を頂き、お年寄りの方がベンチで花を見ながら休んで頂いたり、中学生、小学生がベンチの周りでおしゃべりをする姿が見られ、区民の憩いの場として定着することができました。ドーム菊の配置に関して、今年は八十二銀行の駐車場付近の道路脇、天竜峡郵便局の道路脇等公共の施設の道路脇に多くのドーム菊を配置したところ、集団の美により街が美しく飾りたてられ、他地区から来られた方からも活動の取り組みを高く評価して頂きました。</p> <p>又、天龍峡公園一帯の整備が進む中、観光客も徐々に増えつつあり、秋の紅葉を楽しむ観光客は特に目をみはるものがありました。ドーム菊の展示に対する評価は高く、多くの観光客の方が、ドーム菊の前で記念撮影をして楽しんでお帰り頂きました。</p>
今後の取組	<p>天龍峡観光整備推進協議会主催の「天龍峡秋の彩展」も来年で7年目を迎えます。そのメイン事業が天竜峡駅前、姑射橋など、公共施設周辺への100鉢余のドーム菊の展示です。しかし、「秋の彩展」は公園部分が主体であり、川路七区全体を明るくしたいと昨年天龍峡相生「花いっぱい」運動を立ち上げ、29・30年度のムトス支援事業として認可頂き、七区希望者にドーム菊を配布し、約1か月展示して頂きました。寂れかかった街が1か月間華やいた雰囲気になり、多くの区民の皆様に喜んで頂きました。天龍峡相生「花いっぱい」運動は、多くの区民に喜んで頂きましたが、約1ヶ月の短い期間であるという課題があります。この活動を更に発展させて、春、夏にも七区を花で飾り、寂れた印象の街を少しでも明るくして参りたいと考え、ミニ公園を造成しました。31年度はムトス認可は3年目となり、仕上げの年になります。天龍峡相生「花いっぱい」運動有志の会を中心に、仕上げの年にふさわしい活動を今後しっかり検討して、実施に移して参りたいと考えております。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	464, 111円
	うち助成金(見込み)	300, 000円
主な経費内訳 (上位3項目)	ミニ公園造成代	156, 122円
	花苗、培養土、肥料代	198, 000円
	ドーム菊用鉢代	58, 030円
	その他	51, 959円

取組名称	丸山の歌『ふるさと丸山～愛しきわが街～』の歌詞を公民館・集会所へ展示
団体名	丸山まちづくり委員会
代表者氏名	小澤 伸好
地区名	丸山地区

取組みの目的	丸山まちづくり委員会は、丸山地区内の各自治会を総括し、地域づくりに取り組んでいる任意団体である。丸山地区の自然・歴史・文化を守りながら、地域住民の安心・安全で魅力ある地域づくりのため各種事業を実施している。 今後、リニア時代に向けて、地区内に「つながり」や「元気」を生み出し、活力あふれる地域づくりを目指すために、「丸山地区の歌をつくり、歌い継ぐこと」に取り組んでいる。歌づくりを進めていく中で、自分達の地区に誇りを持ち、「想い」を次世代へつなげていくことで、持続可能な地域づくりを進めていく。
具体的内容	○平成28年度～平成29年度にかけて、丸山地区の歌『ふるさと丸山～愛しきわが街～』が完成した。 ○平成30年度から、地区内のいろんな行事(地区内の各種団体の総会、市政懇談会、運動会、文化祭、新年会など)で集った全員で合唱していくために、丸山公民館・各町内の集会所への歌詞パネル表示を行う。



説明 丸山公民館歌詞表示パネル



説明 文化祭にて除幕式



説明 新春祝賀会にて合唱



説明 各町内への歌詞表示パネル

取組の経過	<p>○4月 丸山地区各種団体の総会にて合唱 ○6月 丸山地区市政懇談会にて合唱 ○7～9月 丸山地区各町内の納涼祭にて合唱 ○8月 わくわくプロジェクト視察研修にて合唱 ○10月 丸山地区市民大運動会にて合唱 ○11月 公民館歌詞表示パネル完成 ○11月 丸山地区文化祭にて合唱 ○12月 各町内用の歌詞表示パネル完成・配布 ○12月 丸山まちづくり委員会・連絡協議会にて合唱 ○1月 丸山地区新春祝賀会にて合唱 ○1月 丸山地区各種団体の新年会にて合唱</p> <p>以後、地区内で人が集まった場合に合唱する予定。</p> <p>なお、通年で丸山公民館玄関にて、BGMとして歌を流している。</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までの取り組みの中で、「丸山の歌」をつくり、歌うことで、世代を越えて手を取り合い喜んでいる住民の姿が多く見られた。引き続き今年度も行ってきた中で、「一緒に1つのものをつくる」姿から、地区民相互の結束力が深まり、丸山地区全体の活力につながったと感じる。 ・丸山地区文化祭にて、「歌作成のプロセス」を公開し、合わせて開会式・閉会式で全員合唱したことで、想いがより広がった。 ・歌詞表示パネルが出来たことにより、その都度、人数分印刷していた歌詞カードが不要となり、環境にも優しくなった。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き、地区内の各種団体の総会、市政懇談会、運動会、文化祭、新春祝賀会など、地区内のいろんな行事で「参加者全員で」歌っていく。 また、より身近に感じてもらうために、各自治会や公民館で行われる会議など、より小さな単位でも歌っていきたい。 ・広報まるやま・マスコミを通じた地区内外へのPRは引き続き行っていきたい。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		194,372
うち助成金(見込み)		82,000
主な経費内訳 (上位3項目)	丸山公民館表示用 大パネル	157,680
	各町内集会所表示用 小パネル	33,436
	装飾用文具	1,392

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	森集人プロジェクトの更なる質的向上と 森林保全・利活用拡大 を目指す事業
団体名	森集人プロジェクト
代表者氏名	尾曾 幹男
地区名	下久堅地区を基盤に市内中山間地域

取組みの目的	<p>平成14年「NPO法人自然エネルギーネット山法師」を設立し、資源・エネルギーを可能な限り自然エネルギーに転換し、「地産地消」による良好な環境づくりを基本に、飯田らしい地域活性化を図る活動を展開してきた。</p> <p>その活動の中で、飯田下伊那地域において今後取り組むべき重要な課題の一つとして、「森林の保全」と「有効な利活用のシステムの確立」であることを確認し活動を開始した。平成28年4月から、「山法師」から自立し、新たに広範な市民による活動団体を立ち上げた。</p>
--------	--

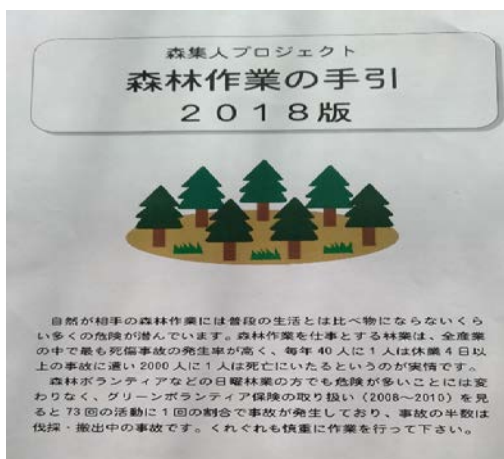
具体的内容	<p>自立して3年目、試行錯誤の中ではあるが、活動継続中であり安全な伐採・技術の向上・伐採木行こう活用の更なる推進を図ってきた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 間伐希望の林家を募集し、間伐・搬出と木材の安価な提供 2 間伐研修 後継者育成も意図としつつ、集中講義と実践活動を通じて間伐技術習得 3 広報活動 森林フェア(森の市)への参画など事業周知PR活動
-------	---



説明 間伐作業終了後の森林



説明 間伐実地研修会(講師指導中)



説明 伐採技術向上のテキスト作成



説明 安全な搬出作業確保のための架線制御器具購入

取組の経過	<p>1 間伐希望の林家を募集し、間伐と搬出 2件の予定 安全第一を旨とし、省力化に資する作業改善に努め 間伐材を有効活用してくれる団体・個人へ安値で売り渡し</p> <p>2 間伐研修会など開催し、①森林保全・利活用の重要性・緊急性を学ぶ。 ②その伐採、搬出の技術向上を図る 講師 嶋村浩 氏 (1)まず、地元マスコミを通じて関心のある人たちにも呼びかけ事業説明会を開催 9月9日 12名参加(初参加3名) (2)引き続き希望者及び現会員を対象に間伐研修会開催 10月7日 10月21日</p> <p>3 広報活動 「南信州森の市」を2月24日に開催予定、実行委員として参加</p> <p>4 特別事業 天竜川河川敷での樹木伐採事業への参加 河川浄化・良好な景観創造を目指す活動に今後3年間協力する</p>
取組の効果	<p>1 間伐・搬出 架線による伐採材の搬出時の架線の制御器具を購入し「安全第一・作業の省力化」に努め、作業効率が向上、今年度も無事故で終了しようという機運が高まっている。</p> <p>2 研修会など開催 マスコミを通じて参加を呼びかけ事業説明会・研修会を実施して、3名の新入会員を迎えることができ、又ほとんどの現会員も参加し、更なる技術向上に真剣に取り組んだ。</p> <p>3 「森の市開催」実行委員として参画 「森の市」を2月24日開催予定</p> <p>4 特別事業 河川浄化・景観保持に協力し、環境を軸とした地域づくりに資する</p>
今後の取組	<p>1 森林の保全と有効な利活用のシステム確立という目指す山は高けれど、長野県そして飯田下伊那地域の活性化に向けて欠かすことができない事業であり、私たちは、小さな取り組みではあるが、 あせらず一歩一歩進めてまいりたい。</p> <p>2 「森の市」を引き続き開催し、このフェアを通じて森林に関わる団体と交流を深め横の繋がりを創っていききたい。</p> <p>3 次の世代を担う世代への「実体験学習会」の開催</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		133,000円
うち助成金(見込み)		90,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	伐採・搬出装備購入	50,000円
	伐採技術テキスト更新	12,000円

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	羽ばたけシニア 野菜づくり を通じ 健康・交流・地域貢献GET で 生き生き生活
団体名	農愉快
代表者氏名	眞野 貴司
地区名	飯田市全域

取組みの目的	<p>超高齢化社会がやって来た……</p> <p>高齢化率30%を超える飯田市においても、「元気で楽しく過ごせるライフスタイル」を高齢者一人一人自らが作り上げなければならない</p> <p>日本の財政状況からみても、介護・医療面において「予防」というキーワードへの取り組み強化が喫緊の命題である</p> <p>そのためには、行政任せでなく、小さな取り組みでも「出来ること」を全ての地域・全ての組織でコツコツと積み上げていくことが求められている</p>
具体的内容	<p>「農作業（土づくり、種まき・苗植え・収穫）を通じ健康で、楽しいライフづくり」</p> <p>平成23年度飯田市の事業としてスタート、平成28年度からは、市民の自主的活動へと移行</p> <p>①野菜づくりを今一度学習し、野菜への付加価値を検討していく 味噌づくりなど</p> <p>②収穫野菜を介護施設などに贈呈する・文化展参加(バザー)・焼き芋会など</p> <p>地域還元活動に取り組む</p> <p>③リーダーづくり</p> <p>④・野菜づくりの技術・知識の習得向上に努める</p> <p>⑤・広報活動の強化—県タウンミーティングや市ムトス発表会への参加</p>



説明 作業前に、血圧測定とラジオ体操



説明 ネギ苗の植え付け



説明 展示会で野菜安価で販売活動



説明 秋の収穫祭

取組の経過	<p>①野菜づくりを今一度学習し、野菜への付加価値を検討していく 今年度は、味噌づくりに挑戦 3月8日予定</p> <p>②地域還元に取り組む 8月2日 収穫野菜を保育園に贈呈する 8月7日 文化展参加(バザー)野菜を安価で販売 11月29日 保育施設で焼き芋会お手伝いなど</p> <p>③12月6日研修視察 発酵について考えるなど自主的活動の活性化</p> <p>④・広報活動の強化一県シニア大学の行事に友好参加</p> <p>●定例事業 1月に2回から3回土づくり・種まき・苗植え・水やり</p>
取組の効果	<p>① 野菜づくりの素晴らしさを生かし伝統的な味噌・漬物などの作り方を習得する</p> <p>② 自らの利益だけでなく地域還元につながる活動で、より「充実感」「楽しさ」を感じることができる</p> <p>③ 野菜づくりの技術、知識を習得し会員の協働の力で長く続く会としていく</p>
今後の取組み	<p>取り組みを検証しながら、シニア世代が「元気で楽しく」生き生きと暮らせることに少しでも寄与できるよう活動していきたい。</p> <p>特に地域還元型活動を活発化させていく</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		287,913円
うち助成金(見込み)		160,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	農業指導料	130,000円
	研修視察大型車輛レンタル代金	32,400円
	肥料堆肥代	30,000円

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	地域産材によるすまいづくりの普及・啓発活動
団体名	里山発すまいづくり集団 信州森組
代表者氏名	代表幹事 木下 光
地区名	事務局 飯田市上郷

取組みの目的	輸入材と同等価値による地域産材によるすまいづくりを目指し、原木加工から木工まで連携して行う団体を立ち上げた。この供給体制がシステムとして確立できるよう取り組み、地域産材によるすまいづくりの普及・啓発活動を行う。このことが、地産地消につながり、森林づくりと林業振興に結び付き、特色ある地場産業が生まれる。
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域産材が、原木加工から竣工に至る過程を図式化、南信州らしい基本プランを掲載したパンフレット・チラシを、絵本的な形式で製作、配布する。 ■ すまいの建設現場、「森の市」等に掲示する信州森組のパネル・のぼり旗の製作を行なう。 ■ 森林の現状、地域産材を活用したすまいづくり、民家再生の紹介等、動画を交えながらホームページ、ビデオの作成。 ■ 地域に根ざしたすまいづくりを目指す、シンポジウムを開催。 ■ 地域産材住宅構造見学会、完成見学会の開催。



説明 信州森組ののぼり旗作成



説明 信州森組ののぼり旗作成



説明 シンポジウム開催



説明 構造見学会の実施

取組の経過	<p>1)平成30年7月22日、南信州・飯田産業センターにてシンポジウムを開催し、講演会及び、パネルディスカッションを開催した。講演会の講師には、長野県林業総合センターの小山泰弘氏、信大工学部建築学科教授の土本俊和氏を迎え、信州の山を知りすまいづくりを考えるをテーマに講演会を開催。パネルディスカッションでは、県産材の建主である佐々木武史氏、いいだ自然エネルギーネット山法師事務局長の平澤和人氏、小山泰弘氏をパネラーに、県産材によるすまいづくりを進めるための意見交換・提案を行った。</p> <p>2)平成30年7月29日、県産材住宅の構造見学会を行った。</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウムは、講演・パネルディスカッションを同時開催したが、実際に県産材を使用した家に住んでいる方々の話は、とても参考になり、聴講者の興味を引くものであった。 ・構造見学会は、構造に関心のある方の参加があり、県産材使用のよい啓蒙活動になった。 ・今年度の県産材のすまい実績（新築 7棟、リフォーム 6棟、木工事 4棟）
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年より建設中の県産材使用の家が完成するので、完成見学会を開催する予定である。 ・若い設計者もメンバーに加わり、定期的なメンバー同士の技術交換・学習会を実施していく。

○取組経費（単位：円）

事業費総額		285,720
うち助成金		160,000
主な経費内訳 (上位3項目)	広告代	128,000
	講師謝礼、交通費等	83,000
	パンフレットチラシ印刷	52,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	天龍峡マルシェ
団体名	天龍峡マルシェ実行委員会
代表者氏名	竹村公秀
地区名	天龍峡(川路・龍江)

取組みの目的	<p>天龍峡活性化のため、三遠南信自動車道開通(天龍峡大橋架橋)までに「天龍峡マルシェ」を定着させる。</p> <p>開通の暁には、天龍峡ICにおいて南信州地域全体のマルシェとなるように、一昨年から名称も南信州天龍峡マルシェと命名する。</p> <p>地元野菜や加工品販売、軽食の提供を行う「テント市」、内外の手作りクラフト作家による「クラフト市」の他、今回から三遠南信や遠州とのジョイントを図る。</p>
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者及び責任者会議の開催(テント市、クラフト市各部門会での内容調整) ・テント市(地元特産品、農産物加工品、遠州特産品、三河特産品、地元食など)18店舗 ・クラフト市(手作り作家による品物、ワークショップなど)65ブース ・その他(イベント)・・・200cmジャンボちくわ実演試食、ミニSL運行、バンドフェスティバル、青空ギャラリー、地元龍神の舞、りんご甘酒サービスなど ・各駐車場から会場までシャトルバスの運行を行う。 <p>交通整理等はまちづくり・地域づくり委員会に要請する。</p>



説明 クラフト市の賑わい



説明 テント市の賑わい



説明 ジャンボちくわ実演



説明 ミニSL乗車体験

取組の経過	2018年2月22日 今年度マルシェ実行委員会役員構成決定会議 2018年3月21日 事務局会議 2018年5月24日 第1回クラフト会議 2018年6月8日 マルシェ責任者会議 2018年7月24日 第2回クラフト会議 2018年8月8日 マルシェ責任者会議 2018年8月28日 第3回クラフト会議 2018年9月5日 責任者会議 2018年9月25日 第4回クラフト会議 2018年10月5日 マルシェ実行委員会全体会議 2018年10月17日 マルシェ責任者会議 2018年10月18日 第5回クラフト会議 2018年10月27日 マルシェ準備 2018年10月28日 南信州 天龍峡マルシェ開催 2018年11月8日 クラフト会反省会 2018年11月14日 全体反省会
取組の効果	昨年が台風のため中止になってしまい、出店者はじめ多くの方の残念だったの思い、天候にも恵まれ一昨年の1.5倍あまり(推計4,000人)のお客さんが来峡され最高のイベントとなった。天龍峡の秋のイベントとして定着しつつある。 出店者アンケートより、来年も是非出店したい方が多く、出店者の意識向上につながった。高校生ボランティアの参加があり、運営上とても良かったし、生徒たちにも意義を感じてもらえた。 三遠南信の交流につながった。
今後の取組	「南信州 天龍峡マルシェ」が継続開催できるよう、地域全体の理解、協力体制作りが必要。次年度からムトス助成金収入がなくなるため、運営資金の確保、より良い運営ができるよう検討し、定着したイベントにしたい。 お客様はもちろん、地域、出店者が「本当に良かった」と喜ばれるイベントにしなければならぬ。 マンネリ化したイベントにならないように、「天龍峡らしさ」「天龍峡ならではの」のイベントとなるように検討開催していく。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		686,165
うち助成金(見込み)		300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	催事費	236,830
	宣伝費	214,250
	食糧費	63,380

*活動状況がわかる写真を入れてください。

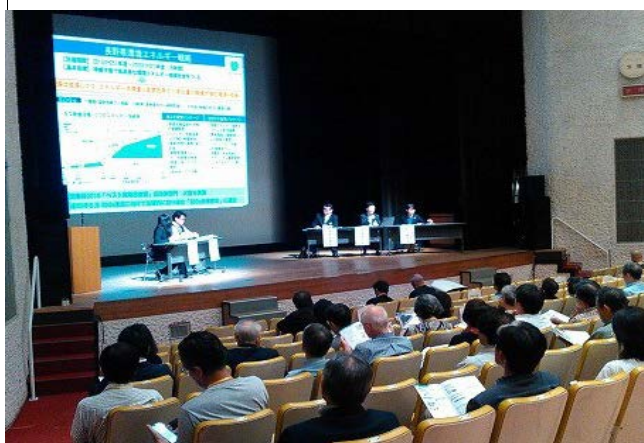
*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	第10回市民・地域共同発電所全国フォーラムin飯田
団体名	第10回市民・地域共同発電所全国フォーラムin飯田 実行委員会
代表者氏名	実行委員長 高木直樹
地区名	橋北および飯田市全域

取組みの目的	この度第10回となる、2002年より始まった同フォーラムは、全国で取り組まれている自然エネルギー100%に向けた市民・地域の取組を、全国でも先駆的に数多く取り組んできた飯田市にて確認・共有するとともに、変革をさらに加速させていくために必要な政策や方策、ノウハウについて検討を行うことを目的に開催した。
具体的内容	10月の5日、6日、7日、の3日間で飯田市公民館を中心に実施しました。延べ400名の方にご参加いただき、盛況となりました。5日は全体会として、飯田市民には参加費無料にて、信州大学の茅野先生に基調講演に登壇いただき、その後ディスカッション地域への自然エネルギーを普及させるための具体例や課題克服など、活発な議論もできました。牧野市長や長野県に登壇いただきました。また、懇親会にも100名程度の方が参加され交流の機会となりました。6日には、分科会として4つのテーマの中で、先進事例を全国から20名の方に事例発表いただきました。最終日には地域内視察を実施することで長野県の活動や南信州地域を知ってもらえる機会となりました。



説明 初日 全体会ディスカッション



説明 ポスターセッション



説明 2日目 分科会



説明 最終日 再エネ現場見学

取組の経過	<p>4/21 全国フォーラム 準備会議 5/15 全国フォーラム 準備会議 6/14 第10回市民共同発電全国フォーラム実行委員会発足会 分科会コーディネーター決定と講師選定 7/31 実行委員会第2回会議 8/24 実行委員会第3回会議、事務局会議、宿泊関係、チラシ完成 9/14 実行委員会事務局会議 9/28 フォーラム会場との最終打合せ 10/5～7 第10回市民共同発電全国フォーラム 開催 11/26 事業の精算報告、反省会開催</p>
取組の効果	<p>飯田市にとっても、地域経済自立にとってエネルギーは欠かせない需要供給要素であり、先駆的に実施した場所として全国に再認知してもらう大きな機会となりました。多くの参加者から、飯田の様々な団体や市民による底力を見たコメントいただきました。実施内容については経済月報ほか複数のメディアの取材もあり、飯田市から全国への発信ができました。また、第11回の候補地としての立候補もあり、フォーラム自体も次に繋がる一歩となりました。</p>
今後の取組	<p>本フォーラム開催後に反省会を開き、第11回以降も全国にて継続的に開催していく方向性を確認しました。本フォーラムに参加した飯田市民ほか地域内諸団体は今回をバネに、再生可能エネルギーへの取り組みを益々連携し、活発化していきます。すなわち、お互いに活動自体は認識していても当人同士の面識や活動の詳細を把握していなかったところが、本フォーラムを通して全国だけでなく地域内の意見交換につながり、連携できる部分を見出せました。また、地域内の今関わって</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	964,963
	うち助成金(見込み)	300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	登壇者旅費交通費	419,523
	登壇者謝金	260,000
	資料印刷費	170,640

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	誰もが気軽に集える場づくりに向けた「新石窯の築造」と「交流の拡大と深化」
団体名	まるやま石窯部
代表者氏名	田中 秀明
地区名	丸山地区

取組みの目的	丸山公民館敷地内にある「石窯」に関わり、活動や学習を通じて、会員相互の交流を深め、丸山地区や公民館に対する「想い」を共有・継承し、広げることの大切さを多くの住民に啓発し、丸山地区の発展に寄与することを目的とする。 具体的には、石窯を活用しながら、「誰でも気軽に集まり、一緒に楽しく活動しながら、親睦を深められる場づくり」を目指す。
--------	--

具体的内容	(1) 新石窯の築造 ・皆でアイデアを出し、意見を交わしながら、築造を行う。 (2) 「リニア時代」を見据えた学習と交流 ・メンバーの交流だけでなく、地区内外の様々な方と交流する。 (3) 石窯の活用 ・ピザ、パン、ローストチキンなどの料理等、石窯のさらなる活用を研究する。 ・丸山地区文化祭をはじめ、丸山地区の事業に協力する。
-------	--



説明 新石窯築造 作業風景



説明 できあがった新石窯(左側)



説明 在住外国人との交流事業



説明 石窯料理の研究(ローストチキン)

取組の経過	<p>○4月21日 石窯部総会 ○7月1日 在住外国人との交流事業 ○7月7日～11月4日 新石窯築造作業(全11回) ○11月10日～11日 丸山地区文化祭への協力 ○11月18日～ 石窯周りの整備作業(屋根等)</p> <p>以後、石窯周りの整備作業が終了し次第、さらなる石窯の活用方法、料理の研究等を行っていく予定。</p> <p>なお、石窯やパン・ピザに関する書籍を丸山図書分館で取り扱ってくれることとなった。</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・作業を重ね、メンバー内の親睦を深める事ができた。 ・在住外国人との交流事業を行った。今まで関わりがなかった方々との交流により、新たな発見・気づきや「人と話す・交流する」ことの楽しさを多くの方が感じる事ができた。 ・文化祭で行う「石窯ピザ焼き体験」は、地区に根付き、丸山地区の名物になりつつある。さらに研究を重ねていきたい。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・石窯部の取り組みが継続的にできるように、地区内での連携・情報交換を行っていく。 ・リニア時代に向け、さらに多くの方との交流をし、また石窯のさらなる活用について研究していきたい。 例えば、現在の取り組み以外にも範囲を広げ、地区内で大きなイベントが開催される際や、風越山の登山客向けに、「石窯ピザ焼き体験」の実施が可能か検討を進める。 ・石窯を使った料理についても、さらに研究していきたい。

」
 ○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		399,783
うち助成金(見込み)		251,000
主な経費内訳 (上位3項目)	石窯材料費(見込み)	185,915
	エプロン作成費(見込み)	57,780
	屋根等周辺整備材料費(見込み)	50,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	米川桃源郷プロジェクト
団体名	米川桃源郷プロジェクト委員会
代表者氏名	福澤 秀則
地区名	飯田市千代米川区

取組みの目的	『ここに住んで良かったと思える地域づくり』を目標として、米川地区の盆地形状と里山のある景観を活かし「春には桜・つつじ」「秋には紅葉・楓」が里山の緑の中に映え、子供たちの記憶に残る故郷を作ろうと想い活動をしています。
具体的内容	8年前より地主さんの許可を得ながら里山との境界線に、桜・つつじと紅葉・楓を将来の景観をイメージしながら三本寄せ植えと言う植え方で植樹しました。また、三年目からは廣幡八幡神社と城平公園の周辺整備も加わり、地区民の協力を頂きながら、年3回の草刈りをし管理しています。



説明 廣幡八幡神社より城平公園を望む



説明 城平公園の除草作業



説明 廣幡八幡神社の除草作業



説明 試験的花菖蒲の植栽状況

取組の経過	今までは、各方面より頂いた枝垂桜、大山桜やみつばつつじ等春の花々を中心に植栽をしてきました。今年度はムトス助成金を使い、秋の花々である紅葉・楓の植栽を強化していきます。また、県道沿いの休耕田活用策として、あやめと花菖蒲を植え、あやめ園や花菖蒲園として景観を保全し観光に繋げていければと思い平成31年2月～3月に植栽します。
取組の効果	以前より植栽してきた花木が徐々に咲き出し、地域住民にも見てもらえる機会が増え楽しんで頂いておりますが、春に咲く花木に加え秋に咲く花木が増えれば一年を通して地区民に楽しんでもらえるようになり地区の名所になってくると思います。また、休耕田をあやめ園や花菖蒲園にする事が出来れば、これも地区の名所になってくると思います。これにより休耕田対策の一つとして有効な手段として地区民にご理解頂けると思います。
今後の取組	単年で結果が出るものではないので、根気よく継続していき、管理方法なども研究していきたいと思います。八年後には三遠南信道が全面開通しリニア新幹線が開通した時、他地区からの観光客をこの地区に導くことの出来る名所に出来るように努力します。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		494,640
うち助成金(見込み)		300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	植栽代(イロハモジ・アヤメ・ハナショウブ)	468,720
	土壌改良材	25,920

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	野池親水公園活性化事業
団体名	千代地区まちづくり委員会
代表者氏名	会長 川手 重光
地区名	千代地区

取組みの目的	<p>「野池親水公園」は、千代地区のよこね田んぼ、万古溪谷と並ぶ重要な地域資源の一つであり、三遠南信道の千代インター(仮)の供用開始(H31年度)やリニア中央新幹線の開業を控え、今後も増加が見込まれる山岳観光・体験型観光の拠点として、千代地区のみならず飯田下伊那一帯に、誘客効果をもたらす観光資源であると考えている。</p> <p>今回の事業によって公園利用者を増加させ、公園が持続可能な地域づくりに資する地域資源となるような取組を行う。</p>
具体的内容	<p>○野池親水公園の特徴であり環境教育の場となっているマイクロ水力発電施設を飯田市から譲り受け地域で発電事業を継続するとともに、子どもたちの環境学習を積極的に引き受ける。</p> <p>○公園へのリピーターを増やすため、公園の環境整備活動を行う。</p> <p>○親水公園の魅力を地域外に発信するため、こども釣り大会を実施する。</p>



説明

マイクロ水力発電施設



説明

マイクロ水力発電により灯る電灯



説明

こども釣り大会



説明

環境整備活動

取組の経過	5月21日 マイクロ水力発電施設、市から移譲。発電開始 7月28日 こども釣り大会開催 8月4日 まちづくり委員会を主体とした環境整備活動
取組の効果	○野池親水公園の利用者が増加することにより、地域の魅力を多方面へ発信することに繋がり、他の観光拠点(万古溪谷やよこね田んぼ等)との誘客の相乗効果が得られる。実際に親水公園の利用者がよこね田んぼや万古溪谷へ、よこね田んぼを訪れた観光客が親水公園を訪れるという動きも見られた。 ○地域住民が一体となって環境整備等の活動に取り組むことにより、地域資源の再発見につなげることができた。また、活動に参加した住民の地域への誇りや愛着を高めることに寄与できた。 ○こども釣り大会に参加した子どもたちがマイクロ水力発電の存在を認知し環境負荷の少ない発電方法を知ること、環境に対する意識を高めることに寄与できた。
今後の取組	○公園の利用者を増加させるとともに、現在無料となっているキャンプ場の利用について、協力金を得る方向で検討を進め、地域で自立した事業が行える体制を構築する。 ○公園の環境整備活動等については、引き続き地域住民が一体となった取組みを継続する。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		465,000
うち助成金(見込み)		300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	マイクロ水力発電所発電事業委託料	300,000
	環境整備活動の際の伐木等処理費	105,000
	こども釣り大会の魚代	60,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	おいでなんしょをつくろうよ
団体名	おいでなんしょ立ち上げ準備会
代表者氏名	仲村光子
地区名	飯田市松尾

取組みの目的	お年寄り・障害のある人・子どもたちなどが参加できるイベントや農作業を行い、交流や相互理解がすすむようにする。一緒に過ごす機会が増えることで相互理解がすすむと考え、また、それぞれのニーズを把握するようにする。今年度は、昭和とともに生きてこられた大正生まれの方のお話を聞く会を企画し、その時代背景や生きてこられた様子などをお聞きする。
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度に続き、イベントを楽しく行えるようにする。 ○障害のある人や小さな子どもたちもできるよう作業方法を工夫する。 ○大正生まれの方のお話を聞く会は、事前の聞き取りを丁寧に行い、当日の内容をはっきりさせておく。 ○昨年度の障害者権利条約講演会の内容を知らせる等の目的で、松尾地区在住の障害のあるご家族の集まりを企画し情報交換の場とする。 ○もちつき集会は、年間の活動のまとめとして位置づける。 ○飯田養卒業生の定時制受験準備を進める。



説明 5月18日 大正生まれの方のお話を聞く会



説明 5月26日 田植え



説明 10月6日 さつまいも掘り



説明 11月18日 もちつき集会

取組の経過	<p>○4月15日 第1回オアシスの会 (8人)</p> <p>○5月12日 竹巻パン集会 (21人と2匹)</p> <p>○5月18日 大正生まれの方のお話を聞く会 (22名)</p> <p>○5月26・27・28日 田植え(初日に多数参加、延べ人数大人22人・子ども13人・犬1匹) 6月下旬より田の草取り50回以上</p> <p>○6月17日 第2回オアシスの会 (6人)</p> <p>○7月28日 じゃがいもの収穫 (7人)</p> <p>○9月16日 第3回オアシスの会 (9人)</p> <p>○10月6日 さつまいもの収穫 (大人9人、子ども5人)</p> <p>○10月20・21日 稲刈り (のべ人数大人11人、子ども5人)</p> <p>○11月3日 やきいも集会 (24人)</p> <p>○11月18日 もちつき集会 (大人20人、子ども21人)</p> <p>以下実施予定</p> <p>※2月2・3日 松尾地区文化祭に今年度の活動内容展示</p> <p>※2月 第4回オアシスの会</p>
取組の効果	<p>○昨年度からのイベントにはこれまでの方や新しい方も加わり、計画したことが無事できた。特にもちつき集会は、活動のまとめとして今年度の活動に参加された方々に呼びかけ、子どもの参加が多かった。</p> <p>○田植えは手植えでできたが、無農薬のため草退治が課題となった。その中、障害のある方が近くの田んぼと草や稲の成長の違いに気づいた。田の草取りに熱心に参加してくれ、それに応えるためにも、草退治が課題となった。</p> <p>○昨年度の障害者権利条約講演会の発展として、講演内容を伝えることと情報交換などを目的として、地域の障害のある子どもさんのご家族の集まりの場としてオアシスの会を開催。状況や悩みなどが語られてきている。定時制高校受験については、学習を進めてくる中、課題が残った。</p> <p>○大正生まれの方のお話を聞く会からは、昭和初期の子どもの遊び・学校や地域の様子など、詳しく興味深い話を聞くことができ、話された内容を形として残すことを検討したい。</p>
今後の取組	<p>○それぞれの活動の発展方向と連携を検討し、来年度の取り組みにつなげる。活動内容の広がり、参加と協力の広がりでもある。柱となる内容やメンバーについても検討したい。</p> <p>○ムトスからの助成が今年度で終了するため、これに替わるものを検討していく。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		110,000
うち助成金(見込み)		87,000
主な経費内訳 (上位3項目)	パンフレット・案内図作成印刷	15,000
	農作業必要経費	20,000
	講師謝礼	50,000
	その他	25,000

*活動写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	遊休農地を利用してお米作りの拡大
団体名	夢かなえ隊
代表者氏名	木下周次
地区名	飯田市鼎

取組みの目的	飯田市鼎の田園風景保存のより地域の活性化し、合わせて遊休農地解消の為に、休耕田などを借り水田事業を行う。その際、地域の子供たちと水田作りを行い、食農教育に繋げる。
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ●遊休農地を毎年チェックして、拡大してゆく(補修作業が必要となる) ●遊休農地での水田づくりを地域の子供たちと行い、食育・食農教育に繋げる。(保育園児や小学生にわかるように、教材を用意して食農教育の場とする) ●遊休農地でのお米を利用して、保育園、小学校及び地区の文化祭で餅つきを行いふるまう。(地域の皆さんへ還元を行う)また、地域の保育園、などへお米を寄贈する。



説明 鼎小学校年生と田植え



説明 鼎あかり保育園園児が田んぼを楽しむ



説明 蕎麦の花が満開



説明 1月11日にあかり保育園で餅つき大会

取組の経過	<p>4月24日 年次総会 4月24日 稲の籾蒔き 4月24日から5月29日稲の育苗苗作業 5月20～27日 田んぼ整備と代掻き 5月30日31日 県小学校5年生全員と県あかり保育園田植え 6月8日 県あかり保育園さつまいも植え 7月10日 水田作業(肥料まきなど) 7月25日 県あかり保育園、じゃがいも収穫 8月17日 県農協納涼祭参加(野菜お米販売、模擬店…焼き鳥、綿菓子、水ヨーヨーなど) 8月4日 遊休農地での蕎麦作り開始(畑を耕す) 8月10日 蕎麦の播種 10月3日 県小学校5年生全員と県あかり保育園園児と協力で稲刈り 10月5日 蕎麦の収穫 10月20日 JA収穫祭にてふるまいの餅つき(子供の餅つき体験) 蕎麦がきの無料試食会 11月3,4日 ふるさと県ふれあい広場文化祭参加…もち米、切り餅、野菜販売、無料ポン菓子、ふるまい餅つき 11月17日 県農協収穫参加(ふるまい餅つき) 11月30日 県あかり保育園地元食材の日(収穫祭)参加 12月20日 県小学校5年生全員餅つき(昔ながらの餅つき)協力とお食事会 12月25日 県小学校5年2組おやす作り教室 1月11日 県あかり保育園 餅つき協力とお食事会</p>
取組の効果	<p>今年度は、県あかり保育園とあわせて小学校(県小学校5年生)との活動が太くなり、県の多くの子供たちにお米作りや食の大切さを知ってもらえました。またリニア時代を見据えたの地域にはない、稲作に関する文化(おさなぶり、わらを使ったおしょうがつの飾り)を少し知ってもらえました。地区内での交流も進み、農協のイベントには3回参加し地区の団結、集客につながりました。</p>
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●今まで行っていた事業を未来につながるように(飯田市の文化の掘り起こし)充実させる。また、SNSなどで発信して広く認知してもらおう。 ●蕎麦事業を軌道(イベント、年越しそばなどで収益を残せるように)に乗せる ●お米の販売に付加価値をつけて事業の継続が可能な団体としていく。

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	
	うち助成金(見込み)	
主な経費内訳 (上位3項目)		

取組名称	ようこそ川路へ ～組合加入促進と担い手づくり～		
団体名	川路まちづくり委員会		
代表者氏名	会長 橋本 國雄		
地区名	川路地区		
取組みの目的	<p>先代が幾多の困難を乗り越えて守ってきたこの地域を受け継ぎ、「豊かで活力のある安全安心な川路」を未来に繋ぐためには、川路地区に住んでいる人、またこれから移住してくる人たちが、まちづくり委員会や、各区の一員となり、自分達が住む地域を自分達でつくる必要がある。</p> <p>そのため、地域活動の意義や重要性を地域全体で共有するとともに、川路で暮らす全住民が自治の担い手として組合に加入し、地域とつながりを持ち続けられる体制を検討したい。また、川路の魅力を変えて見つめ直す機会をつくり、川路で暮らす喜びや誇りを育むきっかけをつくりたい。</p> <p>更に、組合未加入の住民や、退会を希望する住民の現状を把握し、組合加入の意義を理解してもらう方法、加入しやすい組織体制や近隣住民の関わり方を検討する。</p> <p>また昨今は、川路に家を新築する方が増えているが、自ら進んで自治の担い手となろうとする方に移住してもらいたいため、川路に土地を求める前に川路地区の意向を明確に伝える場をつくる。</p> <p>以上のことを、地域を挙げて検討し、地域自治や相互扶助等についての方向性を「憲章」として位置付けたい。</p>		
具体的内容	<p>川路地区住民と、地区外から移り住む人に対して以下のことを実施する。</p> <p><川路地区住民に対して></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民全戸(未加入世帯を含む)を対象に実施したアンケートの集計と分析 ・分析に基づき、川路の魅力、守りたい地域像、地域活動の意義や必要性、組合加入の必要性などを明確にする。 ・上記を基に、それぞれの立場(高齢者、母子家庭、子育て世代、役員負担が多い区、アパート管理者、県外在住者を含む不動産所有者、未加入者)への対応策や、具体的な地域ルールをつくる。 ・地域内での合意形成の後、川路まちづくり委員会としての方針をパンフレットにまとめて全戸配布する。 <p>(パンフレット作成は、地域の経済循環を高めるために市内の業者に依頼する)</p> <p><地区外からの移住者に対して></p> <ul style="list-style-type: none"> ・川路の魅力や、川路の地域ルールを伝えるパンフレットを作成する。 ・川路で土地や住居を探す方に、地域ルールを伝えられるよう、移住前に区長等と会う流れを検討する。 ・不動産業者や飯田市役所の窓口等で、川路移住希望者にパンフレットを渡してもらうようにする。 <p><まちづくり研修会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・立川市大山自治会の自治会加入率100%の取組みを学ぶため、研修会を実施する。 ・講師:立川市大山自治会相談役 佐藤良子氏 		
			
説明	検討会議の様子		
			
説明	自治会加入率100%への取組み研修会		

取組の経過	<p>平成29年9月、まちづくり委員会の役員を中心としたメンバーで「居住条例検討会」を立ち上げる。</p> <p>※途中、「条例」を「憲章」に変更以降、10回以上にわたって検討を重ねている。</p> <p>検討会議では、「住み続けたい川路」を目指すための「川路居住憲章」について話し合っている。</p> <p>また、検討会議のほか、次のことに取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川路地区住民の意識確認のためアンケートを実施、集計とその分析 ・「自治会加入率100%」の立川市大山自治会の取組みを学ぶため、大山自治会相談役を講師に迎えて研修 ・川路の地域ルールを伝えることが出来るパンフレット作り ・川路全区での説明会の開催
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・組合加入者の増加 ・自治や相互扶助の意識の高まり ・住民の絆やまとまりの維持 ・地域への愛着や誇りの育成 ・災害時の助け合い
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・川路地区内での実践を振り返り、変更が必要な事項は再度検討する。 ・川路地区内で、この取組みについて理解を深めると共に、住民一人ひとりが取組みの重要性を他者へ伝えていかれるようにする。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		478,140
うち助成金(見込み)		300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	パンフレット作成費	429,840
	講演会開催費	48,300

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。




*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。




(ふりがな)	いなしがくかい		
団体名称	伊那史学会		
(ふりがな)	はらだ のぞむ		
代表者氏名	原田 望 (島村)		
設立年月日	1952年 8月		
E-mail	inasigakukai@mis.ianis.or.jp		
活動内容	<p>●毎月1日、月刊郷土史誌「伊那」を発行。(郷土の歴史・民俗・自然等を主体とする学術研究誌)</p> <p>●1月20日に年次大会(総会)を開催。2019年の記念講演会(聴講無料)は元県立歴史館学芸部長・青木隆幸氏(本誌編集委員)による(田中芳男「虫捕御用」の明治維新)。</p> <p>●年2回 2泊3日の研修旅行(2018年は10月に奈良・京都)と地域での郷土巡礼を行い、現在464回を算える。</p> <p>●古文書クイズは657回に及び古文書学習に役立っている。</p> <p>●現在豊丘村史学会・喬木村史学会・下條史学会・毛賀史学会等、地域に史学会があり、独自活動の他、本会にも集金等協力して支えてくれている。</p> <p>2018年の郷土巡礼は阿智村教育委員会の後援と浪合史跡保存会の協力を得て11月に阿智村浪合の旧跡、地名を探訪した。</p>		
	 		
他団体との連携	伊研協の「伊那谷地名研究会」のフィールドワークと共催し、郷土巡礼を毎年行なっている。		
困っていること	<p>会員の高齢化により毎年会員数が減少し、会の存続が危ぶまれている。</p> <p>かつては会員(発行部数)5千と地方誌としては全国一の例を見ないものであったが毎年会員が高齢で百人ほど亡くなって行き千人ほどに減少。</p>		
会員募集	○	条件等	<p>年会費 6,000円 前納(ここ10年会費値上げをせず)</p> <p>申込先)395-0081 飯田市宮ノ上4048-1</p> <p>電話:FAX 0265-22-6017</p>
ボランティア募集	×	条件等	

(ふりがな)	かなえそうねんだん		
団体名称	鼎壮年団		
(ふりがな)	ふくやま なおき		
代表者氏名	福山 尚樹		
設立年月日	年 月 日		
ホームページ	https://www.facebook.com/kanaesounendan/		
活動内容	<p>鼎に在住の20歳から40歳までの団員により構成される組織です。鼎地区は10地区あり、各地区に支部があります。支部を統括するのが本団執行部になっています。</p> <p>主な活動は「伝統文化の継承」・「地域貢献」・「子育て支援」となっています</p> <p>1.「伝統文化の継承」…鼎地区には8つの地区で獅子舞があり、その主な舞い手は壮年団員です。鼎地区特有の伝統芸能継承の為に日々練習を重ねています。</p> <p>2.「地域貢献」…公民館や地区と協力し地域の行事を盛り上げます。文化祭や納涼祭などで模擬店を出したり余興を行ったりします。また、松川入財産区の枝打ち作業や地区の清掃なども行います。</p> <p>3.「子育て支援」…地域の子供たちが喜ぶ行事を行っています。具体的には、節分会・流しそうめん大会・魚のつかみどり大会などで盛り上げます。</p>		
	  		
PRしたいこと	<p>鼎壮年団では団員を募集しています。鼎出身者も鼎に越してきた人も活動を通して仲良くなり、協力して地域を盛り上げています。私たちと一緒に鼎を盛り上げましょう！！</p>	 	
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>既に実施済みではありますが、「鼎婚活イベント」は鼎壮年団・商工会青年部・JA青年部・消防団第15分団で協力して企画・運営いたしました。</p>		
困っていること	<p>団員減少により、地区によっては運営が難しい状況になっています。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	鼎在住で20歳から40歳までの方
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	いいだしみんすいそうがくだん		
団体名称	飯田市民吹奏楽団		
(ふりがな)	こばやし けんじ		
代表者氏名	小林 憲司		
設立年月日	1982年6月15日		
ホームページ	https://ja-jp.facebook.com/iidashisui/		
活動内容	<p>毎週月・水曜日の午後7時から9時半まで野底山森林公園ふもとの専用練習場で練習しています。年1回の定期演奏会、吹奏楽コンクール・アンサンブルコンテストへの出場、市内外で開催されるイベントへの参加が主な活動です。</p> <p>団員は18歳から50歳代まで幅広い年代が所属しており、親・子・孫の3世代と一緒に演奏できるような団を目指しています。</p> <p>演奏活動とともに、団員相互の交流を深めることも目的の一つであり、阿南町での合宿やレクリエーションなどの交流事業を積極的に行っています。楽しく演奏することはもちろんのこと、演奏技術向上のため外部講師を依頼し定期的な指導を受けています。</p> <p>地域の音楽文化向上のために活動することも重視し、様々な音楽イベントへの参画と、次代を担う子供たちの指導にも力をいれています。</p>		
PRしたいこと	<p>一般の音楽団体ではあまり例のない団所有の練習場を上郷黒田に構えています。また、打楽器や楽譜も多数所有しており、練習環境に恵まれています。</p> <p>現在全パートについて団員募集を行っています。入団希望の方は練習場専用電話0265-52-3350にご連絡ください。(練習時間以外は事務局に転送されます。)</p> <p>しばらく楽器に触れていなかった人もやる気があれば大丈夫。私たちと一緒に活動しませんか？</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	演奏会や講習会の共同開催など。		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	当団の活動に対し賛同いただける方で、基本的には18歳以上の一般社会人を入団の条件としています。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	定期演奏会などのスタッフ(裏方)としてお手伝いいただける方を募集しています。音楽経験がある方は大歓迎ですが、特に条件はありません。

(ふりがな)	かざこしやまをあいするかい		
団体名称	風越山を愛する会		
(ふりがな)	やました もりひろ		
代表者氏名	山下 守弘		
設立年月日	昭和61年5月14日		
ホームページ	www.mis.janis.or.jp/~hilasawa/		
活動内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">風越山山頂でクマザサ刈り作業 子どもの森公園での「観月のタベ」</p> <p>登山道および案内板の整備を通じた環境保護。イラストマップの販売や会員通信「風のたより」発行・ホームページを通じての風越山のPR活動。地元まちづくり委員会を含めた各種団体、小学校と連携した風越山学習会、登山への参画、登山マラソン・白山社開山祭への協力、観月のタベの実施、風越山の自然・歴史、文化ガイド、学習会を通じての歴史・文化の保護。笠松山、吉田山、摺木山などへの近隣登山、加賀の白山遠征登山など、風越山の魅力や登山の楽しさを感じていただけるような活動をしています。</p>		
PRしたいこと	<p>風越山は飯田市のシンボルとして親しまれています。歴史をひもとくと、古くは霊山としての信仰の拠り所となってきた山であり、今もその凛々しさを感じることができます。また、四季折々の表情の変化によって私たちを楽しませてくれる、懐の深い山でもあります。私たちは、会員だけでなく、多くの方々にこの風越山の魅力に触れていただくために、楽しく和気あいあいとした雰囲気をもっと活動しています。みなさんとの出会いが、風越山を通して広がっていくことを楽しみにしています。</p>  <p style="text-align: right;">霊峰「白山」への遠征登山</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>私たちは、いつも飯田市の暮らしに寄り添ってきた風越山を守り、その魅力を感じていただくための活動をしています。そのためには、自然環境や歴史、文化を守り、語り伝えていく必要があります。そのため、まちづくり委員会をはじめ、幅広い団体と連携し様々な活動していくことができると考えています。風越山に少しでも興味のある方、団体は、是非お声かけください。</p>		
困っていること	<p>風越山が誇る独自の自然形態や、守り伝えられてきた歴史・文化を次世代に残していくために、是非とも幅広い年齢層の方に活動に参加していただきたいと思っています。特に若い世代のエネルギーやアイデアを「風越山を愛する会」に加えていただくことができたら幸いです。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<p>私たちは、たくさんの方々に風越山の魅力を感じていただくために活動しています。老若男女問わず、幅広い方々に参加していただきたいと思っています。少しでも興味のある方は是非ご入会ください。</p>
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<p>風越山の登山道の整備や、自然・歴史のガイドのお手伝いなどをお願いしたいと思います。是非お声かけください。</p>

(ふりがな)	かみいんぐ ゆういちぐろーぷ		
団体名称	上飯田 夕市 グループ		
(ふりがな)	まつ しほ みなこ		
代表者氏名	松下 みな子		
設立年月日	平成 2年 4月 10日		
ホームページ			
活動内容	  <ul style="list-style-type: none"> ●学校の先生方と作物の相談 ●子供達の作りたての物の相談 ●種苗の買入れ 畑耕起、マルチ敷 ●さつまいも苗、スイカ苗、カボチャ苗定植。又豆は子供達が各自ポットまきして持参 ●苗入水やり、除草(何度か) ●スイカ収穫、他は秋収穫(子供と共に) ●スイカ大会、さつまいも焼きに招待される ●畑のマルチ取り、雑草整理 		
PRしたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ●20数名の会員も減り雑草取りに苦労している ●白山町3丁目信号近隣の畑場大頼木線かいにあるので感じのある方ご一考にせう何 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	●考えおりました。		
困っていること	<ul style="list-style-type: none"> ●会員が減り児童との交流(苗植え、草取り、収穫)に人手が足りない事 ●ボランティア団体なので資金不足のこと 		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	いいだ かんこうがいの の かい		
団体名称	飯田観光ガイドの会		
(ふりがな)	にしむら しゅんすけ		
代表者氏名	西村 駿介		
設立年月日	平成 8年 10月 21日		
ホームページ			
活動内容	  <p style="text-align: center;">ガイドの様子</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 観光案内 ①丘の上ガイド ②しらびそ高原～下栗の里案内 ほか 2 月例会の座学・現地研修による観光案内スキルの向上 3 観光ガイドの会パンフレット「案内人と歩く城下町飯田」の発行および配布 4 やまびこマーチ「おもてなしコース」「案内人と歩く5Kmコース(赤石コース、風越コース)」のご案内 5 りんごん翌日の清掃活動への参加 		
PRしたいこと	<ol style="list-style-type: none"> 1 飯田、下伊那地区の観光案内は、ご依頼があればどこでもご要望にお応えできるように準備しています。是非お声をお掛け下さい。 2 生活している場所でも、案外知らないことが多くあります。一度案内人と一緒に住み慣れた地区を歩いてみませんか、思わぬ発見があるかも知れません。 3 ご案内はお一人様から団体様まで可能です。お申し込み窓口は飯田市観光課 (TEL 0265-22-4852 FAX 0265-22-4567)です。ガイドのお申し込みは希望日の1週間前までをお願いします。 		 <p style="text-align: center;">現地研修会の様子</p>
他団体との連携が可能なこと・したいこと	各団体が企画するイベントなどで観光ガイドを実施したい。		
困っていること	<ol style="list-style-type: none"> 1 飯田観光ガイドの会をもっと活用していただきたい。 2 会員数の確保・増員が難しく、案内依頼が集中した場合の対応が柔軟にできない。 		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<ol style="list-style-type: none"> 1 飯田・南信州に愛着のある方で、ご案内する事に興味があり、かつウィークデーの日中にもガイドが可能な方。 2 年会費は1,000円となります。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	ろうどくほうし の かい こえ の わ		
団体名称	朗読奉仕の会「声の輪」		
(ふりがな)	なかむら ちよこ		
代表者氏名	中村 千代子		
設立年月日	昭和56年 12月 9日 朗読奉仕の会発足 ・ 昭和57年 4月 「声の輪」結成		
ホームページ			
活動内容	 <ol style="list-style-type: none"> 1. 録音図書(声の本)を作成する。 2. 希望があれば、対面朗読を行う。 3. 「声の輪だより」を作成し、貸し出す。 4. よい録音図書作成のために、例会を開き、勉強、研修を行う。 5. 録音図書利用者と交流会を行う。 		
PRしたいこと	<p>視覚障がい者、高齢で目の不自由な方、物理的に本を利用できない方、入院患者、寝たきりの状態の方等々、是非利用してほしい。</p> <p>話題の新刊だけでなく、郷土の図書も積極的に音訳し、録音図書を製作している。利用者の方からのリクエストにもできる限り対応し録音図書の製作をしている。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること	<ul style="list-style-type: none"> ・1冊の製作に、音訳—第一校正—第二校正—編集という過程があり、完成までに時間がかかること。作業分担を如何したらよいか。 ・利用者の高齢化により、利用率が低下している。利用者を増やしたい。 		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	・中央図書館で開催する養成講座(1年間)を受講後に会員となる。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	いいだこどもげきじょう		
団体名称	飯田子ども劇場		
(ふりがな)	ふじた ゆか		
代表者氏名	藤田 由香		
設立年月日	1973 年 12月 1日		
ホームページ	http://iidakogeki.web.fc2.com/		
活動内容	<p>子ども達の感性・想像力・生きる力を育むために、以下の活動を行っています。</p> <p>○定期的な舞台鑑賞 舞台劇・人形劇・音楽・芸能など様々なジャンルの舞台を、年齢に合わせて鑑賞しています。</p> <p>鑑賞をきっかけに、視野を広げたり、子どもの自主性を育てる活動を行っています。</p> <p>・終演後のバックステージツアー・当日の会場の飾り作り・出演者とのランチ交流会 鑑賞会の挨拶や受付などの係りの仕事などを行う。</p> <p>○キャンプやお祭りなど、子どもの自主的な参加を意識した活動。</p>		
			
	<p>おまつりより 水道管で笛作り。プロのかたから吹き方を教えてもらいました。</p>	<p>鑑賞会「縄レンジャーのカッ跳びジャンプスクール」 自分たちも色んな縄跳びの遊びを体験しました。</p>	
PRしたいこと	<p>体験を積むことで経験に繋がるように、小さい子も一緒に様々な活動をしています。『やんか村』は季節に合わせた自然体験。今年度の『春のやんか村』は、野草を積んでクッキング。天ぷら、クルミ合え、トン汁を作りました。クルミ割りも体験。</p>		
			
他団体との連携が可能なこと・したいこと	◎舞台鑑賞の共同開催		
困っていること	◎子ども達と一緒に楽しむ、新規会員を広く募集しています。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	赤ちゃんから、どなたでも。年齢制限はありません。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	

団体名称(ふりがな)	黒田人形保存会 <small>くろだ にんぎょうほぞんかい (所在地 飯田市上郷下黒田)</small>	
(ふりがな) 代表者氏名	やまぎしひふみ しみずけんいち 保存会会長 山岸 一二三。座長 清水 謙二 飯田市 上郷 黒田 1462-1番地(電話0265-22-5997)。	
設立年月日	黒田人形の初まりは元禄年代(醜1600年)で以来遠々と伝承され、一度も途切れた事が無く現在も伝承しています。保存会組織にしたのは昭和28年4月です。	
黒田人形専用舞台	間口8間・奥行4間・総二階建て。「出桁造りの本格構造・古さ・大きさ」が人形専用舞台としては日本一との事で、国有形重要文化財人形専用舞台第一号に指定。所在地 飯田市上郷黒田2346番地。	
黒田人形浄瑠璃伝承館	脇舞台も備え本格舞台・観客席150人程・楽屋4室等もあり種々の芸能上演や稽古・発表会表会に最適の重厚和風建物で時間貸出しもします。所在地・飯田市上郷黒田2344番地2。電話 0265-56-6623 (非常勤) 問合せ先・上郷公民館 電話0265-24-7744	
ホームページ	http://www.city.iida.lg.jp/puppet/kuroda/	

活
動
内
容

※ 黒田人形とは、浄瑠璃の語りで演じる人形芝居で、日本独特の伝統芸能で、淡路人形や大阪の文楽と同様です。黒田人形の芸は国選択無形文化財、舞台は国重要有形文化財の人形専用舞台第一号に指定です。

※ 郷土に伝承されている伝統芸能を更に伝承していくのが保存会の事業であり、その芝居の上演実技を担当する座員は保存会会員でなくとも同好の人を募集しています。この座員は、黒田以外に住む人でも構わず非常勤で同好クラブ的なもので主には土曜日の夜に行う稽古や上演の時に出来る限り出席参加してもらえば良いのです。やって貰う事は、自分の好みに合わせて、人形を動かす「人形遣い」役か、義太夫を語る「太夫」役か、その伴奏の三味線を「弾く」役か、その他「裏方」等も必要。これらの何れかを選んで貰うのが任務です。義太夫や三味線は専門家を招き、無経験の人にも、各個人毎に無料で教えて貰えます。

※ 上演は、定期公演と、依頼があれば出張上演も行います。定期公演は毎年4月の第二日曜日午後1時からと、その前夜6時半からの2日間を黒田人形専用舞台で行います。他には、いいた人形フェスタや、伊那谷四座の発表会もあり、近年は個人の結婚披露宴等の席へも、目出度い芸の「寿式三番叟」を十分間程なので、上演依頼があれば出張上演もします。

※ 高陵中学校と飯田女子高校に黒田人形クラブ部があり上郷小学校にはチャレンジ授業で黒田人形部があり、これらへ上演指導をしています。この3校も都合のつく限り上演に出ます。飯田女子高校は今年の全国高等学校総合文化祭に出て立派に上演しました。



お
伝
え
を
し
た
い
事

◎ 団体や会社等の行事アトラクションに『寿式三番叟』など目出度い芸もある郷土伝統芸能黒田人形ですので、出張上演しますので御呼び下さい。

◎ 一緒に上演実技をやって下さる方を上記の様に募集しています。「人形遣い」、「太夫」、「三味線を弾く人」、その外に「裏方」等も必要。各個人毎に無料で教えます。

◎ 保存会で人形の実技をやるメンバーは、住む地域は黒田でなくても結構です。男女を問わず入会でき、サラリーマン・主婦・熟年の人達どなたでも結構です。

◎ 高陵中学校と飯田女子高校に黒田人形クラブ部があり上郷小学校にはチャレンジ授業で黒田人形部がありまして部員を募集しておりますので 生徒さん黒田人形部へ入部して下さい。高校生や既に就職されている方々は保存会の座員にお入り下さい。

人生にとって文化芸能に携わる事は、その人の心が広く豊かになると言われております。ぜひ各人とも御入り下さって、楽しみながら人形を動かすそれぞれの役等々を一緒にやって下さる方を募集しています。
是非どうぞ やりましょう

お問い合わせは、保存会の座長(上記)か、事務局の上郷公民館(電話0265-24-7744)へどうぞ。

(ふりがな)	かがくこうさくきょうしつすいしんきょうぎかい		
団体名称	子ども科学工作教室運営協議会		
(ふりがな)	おきた としみつ		
代表者氏名	沖田 敏光		
設立年月日	平成 5 年 4 月 1 日		
ホームページ	なし		
活動内容	 <p>年間4回の子ども科学工作教室を実施 第1回 三極モーターカーの製作 三極モーターを組み立てて電池で動く車を製作します。 第2回 スペースロボの製作 太陽光パネルを搭載したロボットを製作します。 第3回 天体望遠鏡の製作 8種類の筒を組み合わせて天体望遠鏡を製作します。 第4回 燃料電池カーの製作 塩水で発電する燃料電池で動く4WDカーを製作します。</p>		
PRしたいこと	<p>飯田下伊那の小学校4年生から6年生までの子どもを対象にして45名定員で行っています。各回のキット代金は個人負担です。10の企業・高校等から指導に来て、個人的な指導をしてくれるので、保護者は同伴しなくても一日じっくり製作し完成して持ち帰れます。製作したものを動かして遊んだり、天体を観測したりできます。この教室ではもの作りへの興味関心を高めます。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	現在、飯田下伊那の企業9社と飯田OIDE 長姫高等学校の生徒さんなどが毎回指導に参加してくれます。他にも指導を希望する企業などがありましたら受け入れます。		
困っていること	子ども科学工作教室運営協議会への参加企業は9社です。もっと参加企業を増やして指導協力をしていただきたいと思います。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	募集はしていませんが、飯田市工業課で受け入れています。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	きざわちくかつせいかすいしんきょうぎかい		
団体名称	木沢地区活性化推進協議会		
(ふりがな)	まえざわ のりみち		
代表者氏名	前澤 憲道		
設立年月日	平成3年 4月 1日		
ホームページ	なし		
活動内容	<p>○地域資源を活用した交流による主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通年 5役会議、役員会、学校周辺整備作業、来校者受け入れ、遠山藤原学校他団体との交流、遠山森林鉄道復活支援ほか ・6月～3月 市内の小学校(浜井場小学校)ふるさと体験学習受け入れ ・遠山郷マラニック大会支援 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>浜井場小学校児童のふるさと体験学習</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>遠山藤原学校 (沖縄の方々との交流)</p> </div> </div>		
PRしたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・当協議会は、木沢小学校が休校になった平成3年4月に発足し、今年で28年目を迎えます。地域の活性化を図る為、その後廃校になった木造校舎を活用した各種交流による取り組みを行っています。 ・交流人口も年々増加し、木造校舎保存に賛同される来校者のご厚意と役員のボランティア活動のお陰で、施設の維持管理が行われています。 ・昔懐かしい木造校舎で日常生活からタイムスリップし、癒しの空間で子供のころの思い出に浸ってみませんか。各教室には各種団体の活動紹介や木沢の歴史的(霜月祭り、森林鉄道など)な展示品による紹介がされています。また、校長として親しまれている猫と教頭の犬もおり、訪れる方をやさしくお出迎えしています。 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	他団体が企画・計画する各種交流事業等への木造校舎をはじめとする地域資源の提供(一部有償)		
困っていること	役員の高齢化と後継者の確保		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	会の趣旨に賛同し会則に従って活動できる方で、当会が認めた方(地域外の方でも可)
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	ボランティア活動の趣旨に賛同し参加できる方(活動ごとに募集)

(ふりがな)	あきばかいどうをあいするかい		
団体名称	秋葉街道を愛する会		
(ふりがな)	さいとう ひろむ		
代表者氏名	斉藤 寛武		
設立年月日	平成15年4月		
ホームページ			
活動内容	<p>昔からの遠山谷との連絡通路・秋葉神社参詣の街道として広く利用された秋葉道＝小川路峠を地域の宝・観光資源として活用することを目的に活動しています。年2回の街道補修整備作業のほか毎年秋に開催される上久堅観光協会・上久堅地区まちづくり委員会主催の「みんなで秋葉街道探索 小川路峠へ登ってみよう」イベントを共催しています。</p> <p>街道整備は、台風や大雨等の災害や土砂崩れにより街道が寸断されたり、倒木が街道をふさいだりした個所を会員有志で補修し、修復不可能な道は新たなバイパスを設置し通行可能にする必要があり根気のいる地道な努力を続けています。</p>		
PRしたいこと	上久堅地区の秋葉街道(小川路峠)は、峠まで片道約3時間半。街道はよく整備されており、安心安全な山登りコースです。荷物を積んだ馬や炭を担いだ人たちが行き来した歴史の道、秋葉神社参詣の道を踏みしめながら、歴史のロマンを感じてください。		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	秋葉街道は、秋葉神社を通して南信州と遠州・三河をむすぶ歴史のある街道であり、他の地域にも存在します。秋葉街道の歴史や文化を保存したい、活用したいと思う方、団体の方々と連携できたらと思っています。		
困っていること	会員の高齢化で作業できる会員が減少している。 さらに若い会員の加入が実現できていないこと		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	都合がつけば街道整備作業に参加できる、山歩きの好きな方大募集中
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	秋葉街道の歴史に詳しい方、樹木や植物に造詣の深い方、崩落地の復旧の工事に詳しい方など助言をいただければありがたいです。

(ふりがな)	きねはらがっこうおうえんだん		
団体名称	杵原学校応援団		
(ふりがな)	いのうえ まさお		
代表者氏名	井上 征雄		
設立年月日	2005年5月		
ホームページ	http://kinehara.net/		
活動内容	<p>こども教室 おやす作り</p>  <p>デイキャンプ</p>   <p>○年間を通じて活動を行っております。毎月事業を旧山本中学校、通称「杵原学校」を核にして実施しています。 ○主に、こども教室開催、農業体験、農場の運営、里山散策、大人向けの勉強会(山本学講座)、南信州観光公社の体験教育旅行受入、その他校舎や敷地内の整備作業も行っております。</p> <p><子ども教室・農業体験・食文化教室></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャガイモ、さつまいも、白菜、大根など植付、収穫体験 ・土器づくり、おやすづくり、餅つき、紙飛行機づくり ・柏餅、ジャガイモ料理、流しソーメン、おやき、さつまいも料理、五平もち、ケーキ作り、餅料理、恵方巻き <p><里山・屋外体験></p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイキャンプ <p><施設等整備> <地域おこし></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大掃除 ・杵原学校桜フォトコンテストの開催 ・杵原学校の枝垂れ桜見頃期間の桜まつり (おもてなし活動)  <p>桜フォトコンテスト 表彰式</p>		
PRLしたいこと	<p>○地域の方が講師になって、経験から生まれた知識を元に、杵原学校を中心にした屋内外活動や自然に触れることからの本物体験を行っています。 ○同様に地域の伝統、文化の継承を行っていくための活動もしています。 ○この様な活動を通じて地域の活性化や、地域おこしにつながる活動にしていきたいと考えています。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>○個々の取り組み内容では出前の講師対応も可能なものもありますのでご相談ください。 ○木造校舎の保存、利活用を行っている団体と交流を深めたいです。</p>		
困っていること	<p>○今後、応援団員の平均年齢の高さからくる事業の継続性の問題 ○若い団員の確保 ○各事業での講師人数確保</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<p>時間とやる気のある方歓迎、経験不問。 費用負担は軽微ですが、報酬はほぼ無いので、それでも構わない方、地域外の方でも入会はOKです。</p>
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<p>基本は会員と同様です。 ボランティア即、団員可ですのでお気軽にご参加下さい。 会則、会費などの複雑な縛りはありません。</p>

(ふりがな)	みなみしんしゅういーだおもしろかがくこうぼう		
団体名称	南信州飯田おもしろ科学工房		
(ふりがな)	みうら ひろこ		
代表者氏名	三浦 宏子		
設立年月日	平成13年 6月		
ホームページ	www.i-kagaku.net		
活動内容	 <ul style="list-style-type: none"> ・理科実験ミュージアム 4月～11月(48回) ・出前工房(24回) ・幼稚園、小学校等の支援活動(38回) ・科学実験教室(12回) 		
PRしたいこと	<p>飯田市出身のサイエンスプロデューサー(故)後藤道夫先生の「故郷飯田の子どもたちに科学の楽しさと不思議さを知ってもらいたい。科学を好きになってもらいたい。」という想いから始まった。かざこし子どもの森公園おいで館に拠点を置き、理科実験ミュージアムを開催している。大人でも子どもでも楽しい実験をめざし、科学をより身近に感じてもらうため、身のまわりにあるものを使った理科実験、工作の指導、実演を行っている。日常のあつと驚く不思議な体験や感動を通じて、子どもたちに考える力や科学の興味を持ってもらい、科学の楽しさを知った大人たちには、科学を通して地域活動の輪を広げ、地域を活性化する一助になりたい。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の企業や高校、公民館などと連携しながら科学の輪を広げていきたい。 		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	理科や科学が好きな方、子どもが好きな方なら特に資格は問わない。

(ふりがな)	とおやまやまのかい		
団体名称	遠山山の会		
(ふりがな)	こざわきんぞう		
代表者氏名	小澤欣三		
設立年月日	平成12年頃 (以前よりの活動を統合)		
ホームページ			
活動内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>西澤渡の渡し修繕 H28.7</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>登山道整備 当日の集合 H30.6</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>中学登山サポート 熊伏山 H26.7</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>易老渡簡易トイレ設置 H29.6</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>登山道倒木処理 池口岳 H28.9</p> </div> </div>		
PRしたいこと	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>聖岳(百名山)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>光岳(百名山)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>池口岳</p> </div> </div> <p>こんなに素晴らしい自然が身近にあることを自分の眼と体で確かめてみてください！</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	他団体と情報交換をしながら大勢の人が気楽に山を楽しめるようにしたい。		
困っていること	アクセス道路や、登山道の整備が間に合わないこと。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	入会金2000円、年会費2000円。一緒に山岳と酒を楽しめる老若男女。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	一緒に登山道整備等の環境保全に汗を流してくれる人。

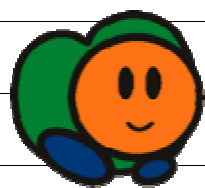
(ふりがな)	しゃかいいりょうほうじん りつざんかい いいだびょういん		
団体名称	社会医療法人 栗山会 飯田病院		
(ふりがな)	ちば きょう		
代表者氏名	理事長 千葉 恭		
設立年月日	明治36年 9月 1日(1903)		
ホームページ	http://www.iida.or.jp		
活動内容	  <p>当病院は、病院理念の具現化として「医と文化の融合」を掲げ、各種の文化事業に取り組んでいます。特に一流の演奏家を招いて病院エントランスホールで毎月1回行う「ロビーコンサート」は、非常に好評を博しており、さらにロビー空間への絵画・写真作品などの展示活動等は「公開」の精神に貫かれております。</p> <p>また、最先端精神科医療を学ぶ「精神科公開ゼミ」、院内での事例研究発表を行う「飯田病院学会」などの活動も活発に行っています。</p> <p>病院そのものを地域におけるアメニティー空間として一般に開放するなど、文化による「交流」の場を地域に創出しています。</p>		
PRしたいこと	<p>諸活動の中でも特に病院ロビーをコンサート会場として使用し、入院患者さんをはじめ来院者が、一流の演奏家による生の音楽を無料で気軽に楽しむこと出来る「ロビーコンサート」は、毎月1回原則として土曜日に開催しておりますが、平成30年12月15日で181回となり市民の皆様から極めて高い評価をいただいております。地域に定着したものとなっています。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	特になし		
困っていること	特になし		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	いいだぼらんていあきょうかい		
団体名称	特定非営利活動法人 飯田ボランティア協会		
(ふりがな)	おおくら まさあき		
代表者氏名	理事長 大蔵 正明		
設立年月日	平成16年 8月 9日		
ホームページ	なし		
活動内容	  <p>「みんなで支える 福祉のまちづくり」を合言葉に、活動しています。ボランティア活動のコーディネート・ボランティア講座各種・いきがづくり講座・ケアをする人へのフォローアップ講座・生活リハビリ講座・ふれあい広場・減災事業・災害ボランティア育成事業・笑いに関する事業など、行っています。</p>		
PRしたいこと	<p>生活サポーター講座で、手芸もやっています。右の写真は、鳥の親子を作った時の作品です。可愛いでしょ！！こんな鳥の親子が、あなたの部屋に居たら、ストレスも取れて、いつも見る度に『ハートをズキュン』とされますよー。さんとぴあで作品展も、これから、少しずつやっています。展示させて下さる場所あったら、連絡くださいねー。飾らせてねー。こころが、ほっこりします。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	連携可能です。		
困っていること	若い年齢層の会員さんが少ないです。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	一緒に活動希望の方なら、OKです
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	3月9日 県文化センターにて、映画上映とフードドライブを予定しています。スタッフ希望の方を募集します。

(ふりがな)			
団体名称	NPO法人いいだ自然エネルギーネット山法師		
認証年月日	平成16年 7月 7日		
(ふりがな)	なかじま むつお		
代表者氏名	中島武津雄		
主な事務所の所在地	飯田市下久堅下虎岩2235 電話090-8687-8517 メールinfo@yamabousi.net		
ホームページ	http://yamabousi.net/		
主な活動分野	地域活性化、環境保全		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自然エネルギーハウス「風の学舎」の貸し出し ・視察の受け入れと環境研修の提供 ・体験学習「農林業、伝統食等」の受け入れ ・都市農村交流事業 ・木の駅プロジェクト (里山の間伐とクラフト製品や薪の販売) ・大豆人プロジェクト(大豆栽培と味噌造り)  		
PRしたいこと	<p>2017年11月に木材加工販売施設「木の駅ひさかた」をオープン。 里山保全や自然エネルギーの利用推進を図るため南信州産の木材を活用し、テーブルなどのクラフト製品や薪を販売するほか、体験工房としてDIY希望者に施設の貸し出しを行っています。 プロジェクト参加者を募集しています。クラフト製品を製作し販売してみませんか。 営業時間は10時～16時。見学も自由です。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	視察や環境学習の受け入れで行政や学校などとの連携協力 体験学習の受け入れ「木工体験、豆腐づくり、ソバ打ち、薪割り、菌打ち、間伐材搬出他」		
困っていること	次の時代を担ってもらう人材の確保		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	年会費5000円。会の活動の趣旨に賛同
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	NPO活動体験。参加期間等により応談

(ふりがな)	ちいきぐるみかんきょうあいえすおーけんきゅうかい		
団体名称	地域ぐるみ環境ISO研究会		
(ふりがな)	だいはりょう せき しげお (たまがわせいきかぶしきかいしゃ)		
代表者氏名	代表 関 重夫 (多摩川精機株式会社 代表取締役社長)		
設立年月日	1997年11月 (設立時の名称は「地域ぐるみでISOへ挑戦しよう研究会」)		
ホームページ	http://www.city.iida.lg.jp/site/kankyouseisakujouhou/isokenkyuukai.htm		
活動内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>南信州いいむす21改定プロジェクト会議</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>9月 南信州いいむす21改定説明会</p> </div> </div> <p>研究会の「活動理念」は、地域の自然を残し、持続可能な地域づくりのため、新しい環境改善の地域文化を創造する。参加事業所それぞれの枠を超えた活動を展開し、「点」から「面」を合言葉に、地域全体で環境改善活動を展開することを視野に入れて活動している。</p> <p>(1)ISO 14001の認証取得の相互支援 (2)従業員・職員を通じての市民の環境意識の向上 (3)地域独自の環境マネジメントシステム 「南信州いいむす21」の構築・普及 (4)温室効果ガス削減に向けた省エネ等対策の普及 (5)講師を招聘してのISO関係の研修会の開催 (6)市の環境行政への支援</p> <div style="text-align: right;">  <p>5月 アサガオ種配布</p> </div>		
PRしたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・現在53事業所で運用されているISO 14001を基にした地域独自の環境マネジメントシステム「南信州いいむす21」は、研究会が構築・審査・支援している中小・零細事業所向けの仕組みである。 ・飯田市の環境モデル都市選定や日本の環境首都コンテストにおける「明日の環境首都」称号の獲得は、研究会の取り組みが大きく評価された結果であり、研究会活動は1事業所として研究会に参加する飯田市役所の環境政策推進に大きく貢献している。 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーマイカーや省エネなど年3回(夏・秋・冬)行っている「環境一斉行動週間」の取り組みを、研究会参加事業所や地域内の事業所(約5千人)だけでなく、地域全体の家庭や市民を巻き込んだ取り組みに広げること。 ・研究会主催や飯田市との共催による講師を当地域へ呼んで行うISOや環境法令、気候変動の研修会・勉強会・講演会に多くの市民が参加すること。 ・地域独自の環境マネジメントシステム「南信州いいむす21」が地域内の多くの事業所で取り組んでもらえること。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>6月 気候変動。飯田の役割!</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>7月 環境法令最新研修</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>10月 省エネセミナー</p> </div> </div>		
困っていること	<ul style="list-style-type: none"> ・研究会参加事業所を取り巻く経営・組織の環境が大きく変化し、これまで売りにしてきたボランティアな研究会活動に支障が出ている。 		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	研究会の活動理念や活動内容に賛同でき、ボランティアな活動に関われる事業所
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	研究会そのものがボランティアな活動を行う組織であり、「南信州いいむす21」の審査・支援など研究会会員事業所の実務者等によりボランティアな活動によって進められている。

(ふりがな) 団体名称	とくていひえいりかつどうほうじん みなみしんしゅうおひさましんぽ 特定非営利活動法人 南信州おひさま進歩		
(ふりがな) 代表者氏名	こばやし としあき 小林 敏昭		
設立年月日	2004/5/27		
ホームページ	http://www.ohisama-shinpo.or.jp		
活動内容	①地球温暖化防止を図る活動 ②まちづくりの推進を図る活動 ③社会教育の推進を図る活動 ④子どもの健全育成、環境教育の推進を図る活動 ⑤前号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言、援助の活動   <p>飯田女子短大との合同視察研修</p>  <p>One Message for One Tree 2018. 9. 14</p> <p>リコー環境事業開発センター RICOH Eco Business Development Center</p> <p>RICOH Imagine. change.</p>		
PRしたいこと	当NPOは市民等から寄付をいただいて、鼎切石の明星保育園に太陽光市民共同発電所「おひさま発電所1号」を開設しています。市民がおひさまパワーを身近に感じて自然エネルギー利活用や地球温暖化防止に意識を高めて、環境保全を推進してもらえたら嬉しいです。市内外の児童施設等へはパネルシアターや講話による幼児教育をおこない、太陽光発電の仕組み、水や森の大切さ、省エネ普及などをわかりやすく伝えています。また、阿智村主催の省エネ講座を受託するなど環境学習も担いました。 昨年度は長野県環境保全協会「信州エコ大賞」を受賞。また新たな交流や協働が始まりました♪ ①飯田女子短大との合同視察研修 短大から協働活動の相談を受け、SDGsに先駆的な取組をしている企業(リコー)を先進地視察しました。 ②信州エコ大賞交流会 第20回となる信州エコ大賞を節目に、過去の受賞団体が集結してお互いの活動を励ましあいました。 ③市民地域共同発電所全国フォーラムin飯田 飯田市公民館に全国から300名を超える方々が集まり、活動の更なる展開を確認しました。 エネルギーの地産池消と自然豊かな南信州を持続可能な地域社会としていくために活動していきます。		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	◇地球温暖化防止活動や環境教育の推進を図る事業。 ◇各地区の公民館やまちづくり委員会と連携し、環境問題を課題に地域のまちづくりに関わる事業。(住民向け省エネ講座、文化祭へのワークショップ出展、春休み・夏休みのイベント企画・出前講座)		
困っていること	一緒に活動してもらえる新規会員を求めています。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	<input type="radio"/>	条件等	地球温暖化防止、自然環境保全、当NPOの活動に取り組める方 (連絡先:事務局 池戸 090-4007-6076)
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	<input type="radio"/>	条件等	地球温暖化防止、環境教育、まちづくりなどに関心・関心がある



<さんぼちゃんの誓い>
 いらないでんきはつかいません
 あかるとんきは たいようからの おくりもの
 おひさまパワーで あかるとん まいにち
 みんなでなろう さんぼちゃん

(ふりがな)	ゆめくらぶ		
団体名称	夢くらぶ		
(ふりがな)	ひよし たかゆき		
代表者氏名	日吉 隆幸		
設立年月日	平成 18年 4月 1日		
ホームページ	shimokitadreamclub.web.fc2.com		
活動内容	 <p> 4月 7日 黒田人形奉納公演鑑賞 6月10日 春のフルーツライン清掃 7月21日 納涼大会屋台出店 7月29日 献血奉仕活動 【受付者数65名 献血者数54名】 9月 9日 秋のフルーツライン清掃 10月7日 黒田諏訪神社秋季祭典協力 </p>		
PRしたいこと	自分達の夢、やりたいことをメンバーと語り実現することが、結果的に地域への貢献や仲間づくりに繋がっています。		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	下黒田北地域に在住の方、もしくは地区内にお勤めの方。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	しもくろだひがしゆうしのかい「つなぎ」		
団体名称	下黒田東有志の会「繋」		
(ふりがな)	のまき のりお		
代表者氏名	野牧 詔男		
設立年月日	平成 27年 4月 1日		
ホームページ			
活動内容			
	○池の掃除		
PRしたいこと	○芝生広場のLED ペットポータル		○繋がるコンサート
	<p>今年期間は約3,600名の方にお越し頂きました。(前年比160%) 公園内の池を整備し、もみじが逆さに映り込む様にしたところ大好評で カメラマンの方の投稿やメディアで取り上げて頂く事が増えました。 竹宵、イルミネーション、シルエットコーナーなど、飾り付けのエリアを 決める事でそれぞれの良さを楽しんで貰える空間に仕上げました。 園児の皆さんの作品も一園から三園になり、恒例のコンサートも秋の 夜の素敵な時間を過ごして貰う事ができ、最終日まで賑わいました。 来年も多くの方に足を運んで貰えるように工夫したいと思えます。 「野底でしか出来ない！野底だから出来る！」 野底山森林公園ライトアップ画像で検索 📷</p>		
他団体との連携 が可能なこと・し たいこと	ze	○池に映ったもみじ	
困っていること	来場者数の増加による駐車場の不足、夜は公園までの経路が分かりにくい(街頭が少ない)		
会員募集(募集の 場合は○、しない場合 は×)	×	条件等	今後については検討中
ボランティア募 集(募集の場合は ○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	きっずやまもとだいさくせんすいしんいんかい		
団体名称	キッズ山本大作戦推進委員会		
(ふりがな)	やまうら たけし		
代表者氏名	山浦 武		
設立年月日	平成23年 7月		
ホームページ			
活動内容	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 2; padding-left: 10px;"> <p>○山本のすべての人が子どもたちの親(P)であり教師(T)であるという理念のもと、山本の子どもたちのために「見守り」「教え」「はぐくむ」活動を展開しています。</p> <p>○平成30年度は猛暑で中止となりましたが、杵原学校応援団、山本地域づくり委員会育成部とキッズ山本大作戦推進委員会が共催で「杵原学校デイキャンプ」を実施しています。</p> <p>○山本小学校体育館に旭ヶ丘中学校吹奏楽部、合唱部、飯田市民吹奏楽団、山本小学校などが集まり、それぞれの演奏やコラボレーションを楽しんだ「キッズ山本大作戦音楽フェスタ」。今回、山本小学校の音楽会と同日開催しました。(10/27)</p> <p>←”山本小学校音楽会&キッズ山本大作戦推音楽フェスタ”のパンフレット</p> </div> </div>		
PRしたいこと			
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)			
団体名称	おはなしのいす		
(ふりがな)			
代表者氏名	佐藤圭代		
設立年月日	2017年 4 月 1 日		
ホームページ			
活動内容	<p>私たちは、2016「昔ばなしを声で子ども達に伝えよう」実行委員会が主催した、昔ばなし研究者・小澤俊夫氏のが講演会がきっかけで発足しました。この「子どもに昔話を声で伝えよう実行委員会」は、ムトスのおかげで運営できた団体でした。2016年の講演会を機に、実際に昔話を学びたい、語りたい、という意見が40人近く集まり、新しく「おはなしのいす」という会を立ち上げました。月に一回、鼎公民館で、昔ばなしの語りを子ども達に届けたいと集まった会員たちで、昔ばなしや語りについて学んでいます。この勉強会の中から、おはなしを語れる司書さんやボランティアさんが増え、上郷図書館の「おはなしのへや」や、鼎小学校で、会員が素話(ストーリーテリング)をボランティアで子ども達に届けてられるようになりました。会員は現在25名ほどです。</p>		
PRしたいこと	<p>この会が発足して、上郷図書館の「おはなしのへや」が誕生しました。お話を語れる図書館司書さんも増えました。自分の子どもにおはなしを語ってあげたいというお母さんや、学校などで子ども達におはなしを届けられるボランティアさんも生まれています。これからも、自分たちもおはなしやむかしばなしを楽しみながら、子ども達がおはなしの語りに触れる機会が増えるように励んでいきます。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	昔ばなしの語り(ストーリーテリング)を学んでみたい方
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	

(ふりがな)	わけありいちば		
団体名称	わけあり市場		
(ふりがな)	ちば ひろやす		
代表者氏名	千葉 裕康		
設立年月日	H27年 12月 日		
ホームページ			
活動内容	 <p>※ムトス助成事業で購入した、「防災イベントストーブ」、「折り畳みイス」、</p>		
PRしたいこと	<p>※「橋北文化祭」に出店 多くの方がご来店くださいました。</p> 		
他団体との連携 が可能なこと・ したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の 場合は○、しない場合 は×)	×	条件等	
ボランティア募 集(募集の場合は ○、しない場合は×)	×	条件等	

取組名称	しなの大和2018～パーティータイム～
団体名	しなの大和
代表者氏名	寺澤 亜由美
地区名	飯田市

取組みの目的	よさこいを通じて南信州の伝統芸能である屋台獅子を県内外に発信していく。様々な世代の人が集うコミュニティを形成し地域の祭りを通じ地域住民や様々な世代の人との新たなつながりを作り一体となって地域を盛り上げていきたい
具体的内容	信州の酒をテーマとした南信州の特色を生かした作品作りをする。(信州は水、米、空気が美味しく、酒の生産量は日本一) 地域の祭りに積極的に参加しチーム活動をPRし様々な人とのつながりを作り活動の場を広げると同時にメンバー募集をしてコミュニティを強化し様々な人が集える場所作りを行う。 福祉施設のイベントに参加し高齢者や障害者に笑顔と元気を届ける。 県内外の祭りに参加して南信州の良さをよさこいをツールとして伝え、他チームやその地域住民と交流する。 地域の祭りであるりんごんを中央中央通り1丁目商店街の人と共同してよさこいの祭りを開催する。



説明

日本ど真ん中祭りの写真



説明

諏訪湖よさこいの写真

写真

写真

説明

説明


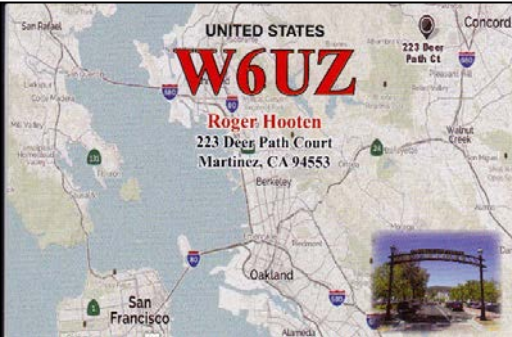

(ふりがな)	ふれあいぼらんていあ もみじのかい		
団体名称	ふれあいボランティア もみじの会		
(ふりがな)	なかじま しげる		
代表者氏名	中島 茂		
設立年月日	平成26年 11月 1日		
ホームページ	なし		
活動内容			
	<p>○現場で利用者さんと楽しく歌っているところ</p>		<p>○最後の種目の「きよしのズンドコ節」を踊っているところ</p>
PRしたいこと	<p>○介護施設の利用者さんと歌ったり踊ったりしていると、お互い元気になれるパワーが発揮できて暮らしを楽しくさせることになると思います。</p> <p>○施設利用者ばかりでなく、独り暮らしの高齢者の方をひきこもりにさせないためにも、いろいろのボランティア活動で地域の活性化をすすめることに繋がれば良いかなと思います。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>○出演時間の中で他の団体の種目(マジック・フラダンス等)を取り入れたいので、協力してほしい。</p>		
困っていること	<p>○訪問活動で会員の移動および機材の搬送をする車両の確保と維持費(車両の燃料代等)が今後の課題になっています。</p> <p>○会員の高齢化も進んでいます。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	○年齢は60～70歳の女性で歌の好きな方、できれば介護サービスを理解できる方を希望します。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	

(ふりがな)	たつえ よんく ちいきづくりいいんかい		
団体名称	龍江四区地域づくり委員会		
(ふりがな)	くまがい ひでお		
代表者氏名	熊谷 秀男		
設立年月日	平成7年 7月 日		
ホームページ	無し		
活動内容			
	<p>龍江4区の自慢マップ</p>		<p>地域の小・中学校に贈呈</p>
			
	<p>設置したピザ焼き</p>		<p>きのこ祭りで試作しました</p>
PRしたいこと			
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること	特になし		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	とおやまごうかんこうきょうかい		
団体名称	遠山郷観光協会		
(ふりがな)	こんどうちかお		
代表者氏名	近藤力夫		
設立年月日	平成17年10月1日		
ホームページ	tohyamago.com		
活動内容			
	しらびそチャレンジ(サイクリングイベント) 下栗の里にて H30.10		チャレンジマラニックin遠山郷 H30.9
PRしたいこと	伊那山脈と南アルプスに挟まれた遠山郷。 遠山へ来たら、かぐらの湯のとなりにある「アンバマイ館」にぜひお寄り下さい。遠山郷観光協会はこのアンバマイ館の中にあります。「アンバマイ館」の名前の由来は、「あんばまいか」。「アンバマイか」とはこの地方の方言で「遊びましょう」という意味。 観光案内所やホームページを通して、遠山郷の魅力を知ってもらったり、住民との交流を持っていただけたらと、全国の皆さんへ情報発信しています。どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	遠山郷は長野県の最南端、南信濃・上村地方の山深い谷これぞ日本の秘境です。 国の重要無形民俗文化財に指定されている遠山霜月祭、神様の湯治場の伝説がある秘境の谷に湧いた天然温泉「かぐらの湯」、日本の原風景が残る場所下栗の里、南アルプスの雄大なパノラマを望むしらびそ高原、南アルプスの恵みをたっぷり含んだ名水・観音霊水、山と溪谷に囲まれた里山がここに 있습니다。 心安らぎ、人情味溢れる遠山郷へのお越しをお待ちしています。		
困っていること	地域として、過疎化・高齢化が深刻になってきていること。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	遠山郷では、遠山郷の外に住んでいて、遠山郷を応援して下さる「第二のふるさと村民」を募集しています。入会金も会費も無料ですが、特にお得な特典もありません！何も特典はありませんが、あなたの心のふるさとにして、応援してくれると嬉しいです。

(ふりがな)	ちよかじかがえるまつりじっこういいんかい		
団体名称	千代河鹿がえる祭り実行委員会		
(ふりがな)	かわてかくお		
代表者氏名	川手 角夫		
設立年月日	平成 7年 4月 1日		
ホームページ			
活動内容	<p>本年は7月7日(土)に第23回千代河鹿がえる祭りを開催するよう予定させて頂くため、6月17日(日)に米川の河川清掃と事前準備を行いました。5日・6日と豪雨に見舞われ、避難勧告が発令されました。しかし、なかなか解除されず、今まで雨天決行を信条として予備日を設定していなかったため中止を余儀なくされました。</p> 		
PRしたいこと	<p>来年は必ず開催します。 次回は予備日も検討します。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>米川桃源郷プロジェクトと環境整備の面で連携したい。</p>		
困っていること	<p>スタッフを増やしたい。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	祭りの企画・運営から参加出来る方
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	米川河川清掃と事前準備と当日の準備と夜店への参加と翌日の片付けに参加出来る方



(ふりがな)	いいだしもいなあまちゅあむせんくらぶ		
団体名称	飯田下伊那アマチュア無線クラブ JA0ZGP		
(ふりがな)	たなか よしり		
代表者氏名	田中 義訓	飯田市上郷飯沼2429 090-8305-8950	
設立年月日	昭和 52 年 5 月 21 日		
ホームページ	無し。 8N0IIDA 飯田市制施行80周年記念局 ホームページ参照してください。		
活動内容	 		
	オーストリアからの交信証	カリフォルニア州からの交信証	
	<p>平成29年度は、飯田市制施行80周年記念局を、伊賀良アマチュア無線クラブ、遠山郷アマチュア無線クラブ、鼎アマチュア無線クラブと共に運用し4,813局に交信証を送付した。</p> <p>平成30年度は8月25日(土)第11回 武田信玄狼煙リレーの通信支援として参加し、蛇峠山から神の峰、上伊那郡までの状況、情報を交換した。</p> <p>その他 情報交換、アンテナ、設備の整備支援、PC設定支援など</p>		
PRしたいこと	<p>無線通信の性格上、地域を超えて多くの人達と知り合う事が出来、職業も多岐にわたるので、自分の知らない事、体験出来なかった事を教えてもらえる。</p> <p>近年はデジタル通信モードが飛躍的に向上して、海外交信のハードルも下がって来ました。 地球規模で物事を考えることも楽しいものです。↑</p> <p>飯田市制施行80周年記念局8N0IIDAを伊賀良地区文化祭会場にて公開運用 平成29年11月11、12日 →</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>フィールドで広範囲に展開する時、無線通信は非常に有用です。飯田下伊那では携帯電話の不感地帯があるので、事故の際も迅速に対応出来るでしょう。活用方法などはご相談ください。</p>		
困っていること	無し。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	無線通信、電気、機械に興味のある方、年齢、性別不問 上記 田中あて
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	きょうほくまちづくりいいんかい		
名 称	橋北まちづくり委員会		
(ふりがな)	ふじもと まさる		
代表者氏名	会長 藤本 勝		
ホームページ			
メールアドレス	kyouhoku@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「豊かな歴史・文化がいきづき、活力にあふれ、誰もが健康で安心して暮らせる明るいまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康で生きがいをもって暮らせるまちづくり ○安心、安全で快適なまちづくり ○人材育成と、各世代が交流しあい、顔の見えるまちづくり ○まるごと博物館事業・個性のあるまちづくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○橋北地区基本構想・基本計画の策定 基本構想策定委員85名が7つの分科会に分かれ、2019年度～2028年度までの10年間の橋北地区のあり方について検討を重ね、基本構想・基本計画を策定しました。</p> <p>○橋北記憶遺産の継承事業(まるごと博物館研究会) 橋北地区の三大災害(飯田大火・内山煙火工場爆発事故・三六災害)の体験者の声を後世に残し、災害の体験から学ぶ事業を行いました。(体験談・記録集の作成、三六災害から学ぶ防災学習会およびフィールドワークを実施)</p> <p>○さくら・橋北まつり、橋北夏まつり、イルミネーションフェスタでの賑わいと交流 さくら・橋北まつりは、正永寺のライトアップや橋北屋台囃子保存会の演奏に多くの人で賑わいました。 夏祭りは、猛暑のため開始時間を2時間遅らせての開催となりましたが、趣向を凝らしたステージと出店ブースに、子どもからお年寄りまで多くの人で賑わいました。飯田長姫OIDE高校の生徒や消防団第2分団の出店もあり、交流を深めました。 10回目を数えるイルミネーションフェスタは、例年よりも飾りつけ規模を拡大し、東栄公園斜面の水族館を模した飾りつけや、天使の羽根や四阿など写真スポットを配するなど工夫を凝らしました。12月16日から1月4日までの開催期間に、延5,000人以上の来場者が光と音の織りなす世界を楽しみました。</p>		
			
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ○旧飯田測候所の利活用 ○菱田春草生誕地公園の維持管理・活用 ○歴史的建造物の保存活用 ○空き家の利活用 		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	<ul style="list-style-type: none"> ○菱田春草生誕地公園の維持管理・活用 ○空き家の利活用 ○イルミネーションフェスタ飾りつけ

(ふりがな)	きょうなんまちづくりいいんかい		
名 称	橋南まちづくり委員会		
(ふりがな)	はら つとむ		
代表者氏名	会長 原 勉		
ホームページ			
メールアドレス	kyounan.machi@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>① 歩いて暮らせる街 ～市街地の魅力でチャレンジできる街をめざして～</p> <p>② 人と人のつながりが強い街 ～自治の力で誰もが暮らしやすい街をめざして～</p> <p>③ 伝統と文化の中心地 ～彩り豊かな城下町とりんご並木の街をめざして～</p> <p>④ まちづくり委員会の活性化と総合力の発揮</p> <p>⑤ 環境にやさしいまちづくりの形成</p> <p>⑥ 地育力の醸成</p> <p>⑦ 道路・河川等の環境整備</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○ 地域一体となった諸行事への協力体制 橋南夏まつり、文化祭、橋南地区大運動会、ほか</p> <p>○ 防災組織体制の強化と計画的な防災用具の整備</p> <p>○ 街頭防犯カメラ設置の推進と防火・防犯巡回</p> <p>○ ラベンダーの維持管理</p> <p>○ りんご並木の維持管理と周辺の活性化 りんご並木後援会、収穫祭、周辺清掃など</p> <p>○ 地育力の醸成と伝統芸能文化の継承活動 夏休み子ども教室や放課後子ども教室、児童クラブ等を活用し、地域の伝統芸能の継承と、地域への愛着を育む (松一獅子舞子ども教室、天龍太鼓子ども教室、おひまち)</p> <p style="text-align: center;">赤十字奉仕団と合同救急講座 松一獅子舞子ども教室</p>		
	 		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	内容・条件		

(ふりがな)	はばまちづくりいいんかい		
名 称	羽場まちづくり委員会		
(ふりがな)	はら しゅうじ		
代表者氏名	会長 原 修司		
ホームページ			
メールアドレス	habamachi@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>安全安心で住みよい羽場地区</p> <p>羽場地区まちづくり基本構想・基本計画「羽場の未来構想」を平成27年3月に策定し、2015年度から2027年度までの重点施策を具現化する各種事業を進めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然と伝統文化を守り育てる羽場 2. あいさつと交流で笑顔あふれる羽場 3. 命を大切にする住みよいまち羽場 4. 女性が輝くまち羽場 5. ワクワク体験いっぱいの羽場公民館 6. 清潔で花あふれる羽場 7. 羽場地区土地利用計画の充実 <p>「羽場の未来構想」を柱に据え、より良い地域づくりを進めます。</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>羽場地区クリーンアップアクション</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>サル去れ警備隊(有害鳥獣対策)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>地震防災訓練(避難所開)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>羽場セントラルパーク愛護会</p> </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	地元企業、市民団体、小中学校と協働して、主要幹線のポイ捨て防止啓発活動やゴミ拾いに取り組む。		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	「環境美化重点区域」の指定を目指し、公園はじめ飯田南木曾線、羽場大瀬木線など、ポイ捨て等防止にご協力ください。

(ふりがな)	まるやま まちづくりいいんかい		
名 称	丸山まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう おざわ のぶよし		
代表者氏名	会長 小澤 伸好		
ホームページ			
メールアドレス	machi-maruyama@aq.wakwak.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「風越山とともに 住み続けたい自然豊かなまち 丸山」(2015～2024年度)</p> <p>自主・自立の精神の下、丸山地域自治区住民の参加により、住民一人ひとりが豊かさを実感できる、安心・安全で潤いのある地域づくりを進める。</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>◎リニア時代を見据えた丸山地区の10年後を想定した計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域振興【インフラ整備の促進と地域資源を活用した安心安全な地域づくり】 2 健康づくり・地域福祉【子どもの声が響き合う、長寿社会の構築】 3 生活安全【交通安全、防火、防犯対策による安心して暮らせる丸山】 4 環境保全【みんなで守り育てる自然豊かな美しいまち丸山】 5 公民館【より多くの人が集う「公民館」づくりに向けて】 6 自主防災【自分の命は自分で守る・自分たちの地域は自分たちで守る】 <p>◎計画に基づき各種事業を実施(H30年度の主な取り組み)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 未来へつなぐ 風越山麓わくわくプロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・ヤマザクラ育苗 ・植栽(風越山夕源平) ・森林体験等のイベント・企画実施(ツリークライミング) ・交流人口増に向けた学習会、研究会の開催 ・主に登山客を対象としたブルーベリー狩りに向けた環境整備 2 防災訓練の実施(避難所開設訓練の実施) 		
			
	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">風越山麓公園 ツリークライミン</p>		<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">ブルーベリー植栽風景</p>
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	ブルーベリー圃場草刈 風越山夕源平山林整備

(ふりがな)	ひがしのまちづくりかいぎ		
名 称	東野まちづくり会議		
(ふりがな)	おおば たかし		
代表者氏名	大場 孝		
ホームページ	http://www.minapo.jp		
メールアドレス	higashinokaigi@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	「桜並木を大切に、歴史と伝統を守る、人にやさしいまち」をめざします。		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○東野地区基本構想・基本計画の推進 東野地区では、2017年度に「東野地区基本構想・基本計画」を策定しました。本計画を着実に推進するため、7つの部会が中心となり取り組む事業について、「基本構想推進委員会」や「推進リーダー会議」において進捗状況を確認し、各部会で計画したテーマ(めざすべき姿・目標)の達成状況を毎年2回(中間と年度末)検証し、次年度への取り組みに繋げていきます。</p> <p>○大宮通り桜まつり・桜並木イルミネーション 桜並木の賑わいを創出するために大宮通り桜保存会を中心に「桜まつり」及び「桜並木イルミネーション」を実施しています。今年は4月8日(日)に「桜まつり」を開催し高校生ボランティアのご協力の下ご当地ぐるめ「こんにやく田楽」の販売も行われました。また、「桜並木のイルミネーション」は、今年で4回目を迎え、今年も市長のカウントダウンを皮切りに12月15日(土)から1月26日(土)まで点灯されました。</p> <p>○東野大獅子保存会、明日の東野をつくる集いの活動 東野地区特有の伝統芸能「東野大獅子」を継承する保存会の活動や女性が多数を占め、東野地区の将来を考える「明日の東野をつくる集い」の活動も活発に行われています。</p> <p>○東野地区婚活イベント「東野恋活焼肉パーティー」 基本構想に基づき、初めて「婚活イベント」を5月26日(土)に開催しました。今後も年に1回は内容を変えつつ実施していく予定です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>大宮通り桜まつり</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>イルミネーション</p> </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	4月初旬に開催する「大宮通り桜まつり」のスタッフ

(ふりがな)	ごこうじちいきじちかい		
名 称	座光寺地域自治会		
(ふりがな)	ふくた とみひろ		
代表者氏名	福田 富廣		
ホームページ	http://zakoji.jp		
メールアドレス	ominosato@zakoji.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>あなたも私も暮らしやすい 自然・歴史・文化・ものづくりが煌く新舞台「麻績の里 座光寺」 [自ら考え自ら行動するまちづくり]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心通い合うコミュニティーを創造するまちづくり ・一人ひとりが地域に学び、生涯成長できるまちづくり ・自然と歴史・文化を活かし育むまちづくり ・健やかに安心して暮らせる住みよいまちづくり ・地域特性を活かした元気な産業のまちづくり ・人と自然に優しいインフラ整備 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○地域住民参画のもと策定した、第2次基本構想・基本計画がスタート (H29.4～H40.3)</p> <p>○長期的な視野に立った取組を行うために、有志で結成する特別委員会を設置 ・麻績の里振興委員会 ・水辺の広場委員会 ・麻績の里ふるさと応援倶楽部 ・歴史に学び地域をたずねる会 ・パノラマファーム大門</p> <p>○リニア中央新幹線に備えるために策定した「リニアを見据えた地域づくりの基本方針」を踏まえて、整備に係る具体的対策組織として「リニア地域づくり推進会議」を設置し、リニア・SIC・アクセス道路等の課題に対応</p> <p>○国史跡「恒川官衙遺跡」をはじめ、数ある歴史文化を活かして、市民の憩いの場や都市との交流と学習の拠点としてまちづくりを推進するために協議・活動する組織として、「2000年浪漫の郷委員会」を設置</p> <p>○都市と農村交流による新たな価値観の創造を目的とした、渋谷区との交流事業の推進 渋谷区へのリンゴの植樹、渋谷区からの体験旅行の受け入れ 渋谷くみん祭への参加、渋谷・座光寺～絆～シードルプロジェクト 『渋谷と座光寺のりんごでシードルをつくろう!!』</p> <div data-bbox="1197 1187 1452 1433" style="text-align: right;">  <p>Cidre Project 渋谷区 原宿 表参道 と 長野県 飯田市 座光寺 の りんごで シードルをつくろう!! りんご収穫 シードル完成 2017.9・2018.6</p> </div> <p>○地域への愛着心を育むため、自然や地域の資源に活用した体験学習への取組強化 また、地域の情報発信を効果的に行う住民主体のホームページの運営</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="446 1523 925 1859">  <p>大賑わいの夏祭り</p> </div> <div data-bbox="941 1523 1436 1859">  <p>～絆～シードルプロジェクト</p> </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	無	内容 ・ 条件	

(ふりがな)	まつおちくまちづくりいいんかい		
名 称	松尾地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	みやざわ なおと		
代表者氏名	会長 宮澤 直人		
ホームページ			
メールアドレス	matuo@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>○松尾地区基本構想 自分たちのまちは自分たちの手で、やらまいか松尾「共生、共働、サステイナブルコミュニティ」</p> <p>○松尾地区のまちづくり 重点目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが心と力を合わせる元気なまちづくり ・安心して暮らせる安全なまちづくり ・子どもから高齢者まで健やかに暮らせるまちづくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○鳩ヶ嶺八幡宮紅葉ライトアップ 平成23年度から継続して開催。八幡宮を中心とした地域の活性化、住民の郷土意識や地区の一体感の醸成、人づくりを目的として11月初旬から中旬に実施。期間の最終日には、笛コンサートなどの催事を行った。</p> <p>○地域安全大会 平成21年度から継続して実施。今年度は防犯に関する内容で開催。地域住民やPTAなど約190名が参加して地域の安全を考えた。</p> <p>○学校支援ボランティア(松尾小学校への支援) 松尾を良く知り、専門的な技術等をお持ちの方が、年5回、クラブ活動を指導。</p> <p>○グリーンベルトの保全 松尾西部の段丘にあるグリーンベルト(緑地帯)の保全活動。26年度から飯田市の里山保全事業を導入し、間伐等を実施。</p>		
			
	紅葉ライトアップ・笛コンサート		地域安全大会
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	有り	内容・条件	グリーンベルト(段丘崖の緑地帯)保全活動の実施(竹林伐採、間伐等)

(ふりがな)	しもひさかたちくまちづくりいいんかい		
名 称	下久堅地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう ひらさわ きよし		
代表者氏名	会 長 平 沢 清		
ホームページ	http://www.shimohisakata.com(下久堅地区まちづくり委員会)		
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>第9次下久堅地区基本構想(H30.3月 策定) 「自然も人も輝ける里 ひさかた」 2018年度～2022年度</p> <p>①みんなでにぎわい、心豊かな里づくり ②地域の絆を深め、安全・安心に暮らせる里づくり ③誰もが心豊かに暮らせる健康・福祉の里づくり ④いきいきとした人と自然の調和する里づくり ⑤地域に愛着と誇りがもてる、心豊かな教育・文化の香る里づくり</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>(1)桜色に染まる里づくり・伝統継承 地域の団体や下久堅小児童等の協力で「梶曲輪の桜保全」「桜の苗づくり」「紙すき」などの活動を継続している。</p> <p>(2)地域ぐるみで子育て支援 児童クラブ・放課後子ども教室などによる子育て支援にあたり、保護者・住民ボランティアが参加・協力している。また、「地域は大きな教室」をモットーに平成26年度から下久堅子ども応援隊が活動中。</p> <p>(3)道路整備 リニア・三遠南信自動車道の高速交通網に対応すべく、国道256号下久堅バイパス、(主)飯田富山佐久間線などの地区内幹線道路網整備に向けて取り組んでいる。</p> <p>(4)ツアー・オブ・ジャパン(TOJ) 南信州ステージへの支援と協力を行っている。</p>		
			
	トロアオイの収穫(ひさかた和紙)		放課後子ども教室
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>(1)新たに建設された下久堅ふれあい交流館に整備された紙すき工房を活用し、「ひさかた和紙の里づくり」を進めていく。 (2) UIターン者の定住を支援するための住宅や農業技術支援者等の確保</p>		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容 ・ 条件	<p>・ひさかた和紙保存会活動への協力と会員増強 ・放課後子ども教室のボランティアスタッフ (平日の午後3時～6時の活動に参加可能な方) 地元高校生・飯田女子短期大学生の協力も歓迎します。</p>

(ふりがな)	かみひさかたちくまちづくりいいんかい		
名 称	上久堅地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	きたざわ やすみ		
代表者氏名	会長 北沢 保美		
ホームページ	http://kamihisakata.sakura.ne.jp		
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	「住んでみたい 住み続けたい元気な郷‘‘上久堅’’」		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>1 平成30年度重点事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①次期基本構想・基本計画の策定 策定委員会を立上げ、来年度からスタートする基本構想策定を行いました。 ②組織体制の改編検討 基本構想策定と共に、まちづくり委員会組織体制の改編検討を行いました。臨時総会議決後、来年度より新体制で執行予定です。 ③北田遺跡公園の今後について検討 今年度の結論をもって、来年度から新たに検討を始めます。 ④JA上久堅給油所補助継続 給油に対し補助を実施し、利用促進に努めています。 ⑤三遠南信自動車道(飯喬道路)上久堅地区用地関係者組合解散 三遠南信自動車道が平成30年3月10日に供用開始されました。それに伴い、供用開始された工区内の用地関係者組合の解散を行いました。 <p>2 特徴的な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ①上久堅児童クラブ事業:園児預かり事業を併設した児童クラブ事業の実施 ②高齢者健康対策事業:「食工房 十三の里」による高齢者向け配食サービス支援 		
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>基本構想会議</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>北田遺跡</p>  </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	地区の活性化、振興に関すること		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	園児預かり事業のボランティアスタッフ (平日の午後4時～6時の活動に参加可能な方)

(ふりがな)	ちよちくまちづくりいいんかい		
名 称	千代地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	かわて しげみつ		
代表者氏名	会長 川手 重光		
ホームページ	http://chiyo-x.jp		
メールアドレス	chiyomachidukuri@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p><めざす地域の姿・将来像></p> <ol style="list-style-type: none"> そこに住む人々が、心豊かに生き生きと暮らせる地域 特有の魅力が醸し出され、地区内外の多くの人々による交流が活発な地域 地域の力を結集して支え合い、前へ向かって歩もうとする活力に満ちた社会 <p><地域づくり 5つの重点目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 安全、快適、便利そしてエコな地域づくり(生活基盤・環境) 交流による活力で地域をつくる(産業振興) ふれあい、思いやり、支え合う地域づくり(福祉・健康) 歴史と伝統のもと、風土に調和した文化を発展させよう(地域文化) 地区のあり方、進め方を地域で考え実践する「地域力」を高めよう 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<ol style="list-style-type: none"> 平成30年度重点事業 <ol style="list-style-type: none"> ①持続可能な地域づくりのため「健康で生涯現役」をめざし、地区の皆さんの健康づくりを支援する取組 ②定住促進に関する取組 ③グリーンツーリズムと農家民泊を中心に地域内観光の振興を図る。 ランナーズ・ビレッジ構想の取組に協力し、地区内への誘客に繋げる ④三遠南信自動車道、リニア新幹線開通後を見据えた地域計画の策定 ⑤減災・防災の取組 特徴的な活動 <ol style="list-style-type: none"> ①日本の棚田百選「よこね田んぼ」の保全活動、ブランド化の推進 ②地域で設立した社会福祉法人と連携した子育て支援、高齢者福祉の取組 ③グリーンツーリズムの推進 <p style="text-align: center;">よこね田んぼの保全活動 万古溪谷栃の木ツアー</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	「よこね田んぼ」保全活動の協働や助言		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容 ・ 条件	「よこね田んぼ」保全作業(草刈り・田植え・稲刈り等)

(ふりがな)	たつえちいきづくりいいんかい		
名 称	龍江地域づくり委員会		
(ふりがな)	いちのせ こうし		
代表者氏名	会長 一ノ瀬 孝司		
ホームページ	http://www.tatue.jp		
メールアドレス	tatue@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>誰もが住みたい地域 “みんなで創る 豊かで元気な 住みよい龍江”</p> <p>①人が行き交う和の地域づくり「憩」 ②便利で豊で住みよい地域づくり「豊」 ③健康で生き活きと暮らせる地域づくり「活」 ④安全で安心して快適に暮らせる地域づくり「安」 ⑤思いやりを持って支えあう地域づくり「絆」</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>(1) 三遠南信自動車道、龍江・天龍峡・千代ICを生かし地区内アクセス道路の整備促進。土地利用計画方針に沿った事業の取り組み。 (2) 天龍峡を核とした観光資源の開発。花の里構想の実施。地域の魅力の発掘。地域の良いものを龍江のブランドとして育てる取り組みをして交流人口・観光人口の増加につなげる。 (3) 「第三次龍江21構想」に基づき、龍江IC周辺の産業団地整備に取り組み働く場所を確保し定住人口増加につなげていく。 (4) 子育てのしやすい地域として環境整備を図る。 (5) 支え合いマップの活用。日常的に助け合いが出来る土壌の醸成。 (6) 社会教育活動を通じて、住民相互の信頼関係の構築、結びつきを高める。 (7) 出会いのプロデュース・結び隊の活動を通じ結婚を支援する。 (8) 地域振興住宅の受け入れ。 (9) 高齢者が健康で明るく生活できるよう支援する。 (10) 龍江ホームページの有効活用を図る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">農村起業家育成スクール</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">小学校入学祝い</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	地域づくりに関することであれば連携可		
ボランティア募集希望の有無・内容	無	内容 ・ 条件	

(ふりがな)	たつおかちいきじちかい		
名 称	竜丘地域自治会		
(ふりがな)	しもだいら かつひろ		
代表者氏名	下平 勝熙		
ホームページ	http://tatuoka.nagano.jp		
メールアドレス	tatuoka@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>・竜丘地区基本構想(2014年度～2030年度)の将来像「ロマン溢れる学びの丘 共生のまちづくり」を実現するための7つの「丘づくり」</p> <p>①住民の支え合いによる丘づくり ②地域資源の保全・活用、景観形成による丘づくり ③災害予防活動と豊かな人間関係による丘づくり ④歴史文化の活用で人材育成を進める丘づくり ⑤地域産業の振興と地域ぐるみ支援による丘づくり ⑥秩序ある適正な土地利用による丘づくり ⑦地域力の強化による丘づくり</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>・基本構想を実現するための戦略として、「景観・環境」及び「教育文化」分野に重点的に取り組み、短期的、中・長期的な重点事業を実施することで「環境・文化地区」を目指している。</p> <p>【天竜川鷺流峡復活プロジェクト事業】 「地域ぐるみによる不法投棄対策と景観美化活動の促進」を施策として位置づけ、名勝鷺流峡周辺の不法投棄をなくすため、自治会と事業者である信南交通(株)天竜舟下り事業部と連携しプロジェクトを立ち上げ、竹林伐採・維持管理作業等による景観保全に努めながら、環境・教育・産業という視点で、天竜いなちく(国産メンマ)の製造・販売、竹灯籠の製作と各種イベントへの出展、しあわせ桜・紅葉のライトアップ等にチャレンジし、地域資源の発掘と活用に取り組んだ。</p> 		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	地域内外を問わず、事業者、NPO等との連携を進め、地域の課題解決に取り組んでいきたい。		
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	

(ふりがな)	かわじまちづくりいいんかい		
名 称	川路まちづくり委員会		
(ふりがな)	ハシモト クニオ		
代表者氏名	会長 橋本 国雄		
ホームページ	https://furusato-iida20.jp/chiku/?dist_id=13		
メールアドレス	kawaji@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>地区目標 「豊かで活力ある安全安心な川路」 地区キャッチコピー「不老長寿の郷 ～心も体も生き活きと～」</p> <p>基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 住民協働による支え合い 2 産業振興と若者定住 3 安全安心・快適生活環境づくり 4 歴史文化と川路を思う心豊かな人づくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>「地区目標・地区計画・土地利用計画」を踏まえ、4つの方針を重点に取り組んでいます。</p> <p>○活動指針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自立 自分達のことは、出来る限り自分達の力で。 2 共助 共に助け合う気持ちを大切に。 3 絆 近隣・地域の人々との融和を深め合う。 4 環境 安心して住み続けられる環境整備を。 <p>○重点取組</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 各区からまちづくりへと、常に情報伝達を密にする。 2 委員会は、事業と予算の見直しを行い、健全運営を進める。 3 子育て支援は、幅広く進め、地域の宝の子ども達の環境を整える。 4 川路居住憲章で新しい居住者の参加を促し、地域の連帯を図る。 5 伝統芸能の伝承と担い手づくりに向けた保存会と連携を図る。 		
	 <p>平成30年7月14日(土)開催 川路祇園まつり (各区の祇園の披露)</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	・地域が行う経済活動、子育て活動、環境活動		
ボランティア募集希望の有無・内容	今のところなし	内容・条件	

(ふりがな)	みほまちづくりいいんかい		
名 称	三穂まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう いまむらよしたか		
代表者氏名	会 長 今村嘉孝		
ホームページ	http://iidamiho.wpblog.jp/		
メールアドレス	miho@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	自然とロマンの里 三穂 「子どもから高齢者まで 元気な声が響き渡り 活力あり 支え合い 心豊かな 人も自然も輝ける里」		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○小笠原書院「神無月の宴、書道パフォーマンス、プロジェクションマッピング」(10/21) 地域の文化財「旧小笠原家書院」を活用対策として今年で4回目。これまでの落語会に加え、多彩なイベントで三穂の秋を彩った。一つは、地元出身の書道家和全氏の書道パフォーマンスを屋外で実施。伊豆木在住のアマチュア演奏者による二胡の楽曲に合わせ、「郷愁」という文字を豪快なタッチで描いた。そして日が沈むとともに、小笠原資料館の巨大なガラス窓にプロジェクションマッピングが投影された。書院を囲む竹藪をヒントに、「かぐや姫」のドラマを映像化。ガラス窓からはみ出さんばかりのさらに巨大な満月が観衆を感動に引き込んだ。</p>  <p style="text-align: right;">和全書道パフォーマンス</p>  <p style="text-align: center;">プロジェクションマッピング</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	

(ふりがな)	いがらまちづくりきょうぎかい		
名 称	伊賀良まちづくり協議会		
(ふりがな)	いままき ひであき		
代表者氏名	今牧 英明		
ホームページ			
メールアドレス	igara@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>伊賀良地区基本構想(2011～2020)「緑輝き、人と文化が行き交うまち 伊賀良」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人に自然に優しい土地利用 2 誰もが安心して暮らせる地域づくり 3 自然を大切に「地の利」を生かした産業づくり 4 香り高い文化の創造 5 心が通い合う地域づくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>【人に自然に優しい土地利用】 ～アップルロードりんご並木愛護の取組～ 中央道飯田ICのアクセス道路である国道153号バイパス、通称「アップルロード」の建設計画時に、当地区の農家の青年層からの発案で、街路樹としてりんごが植えられました。以来、30年にわたって、まちづくり協議会、伊賀良小学校、果樹農家など地区が一体となって管理、秋には小学生が地区民とともにりんごを収穫し、収穫祭を実施しています。</p> <p>【誰もが安心して暮らせる地域づくり】 ～自然エネルギーの有効利用～ 隣接する山本地区との統合中学校である旭ヶ丘中学校の生徒が自ら、校舎への太陽光発電施設の設置を発案し、両地区へ提案、3者で協議会を立ち上げ、市から認定を受け、平成27年度に工事が行われ、運用が開始されました。</p> <p>【自然を大切に「地の利」を活かした産業づくり】 ～豊かな森林資源の活用～ 当地区は西側の山地に広大な森林を有しており、「西部山麓」と呼ばれています。飯田ICに近いという「地の利」を活かし、森林資源の活用を図っています。</p> <p>【香り高い文化の創造】 ～公民館活動～ 全世代がふるさとに誇りと愛着を持って暮らせるよう、特に小学校との連携を強化しながら、小学校校歌など地域に着目した学習と交流を推進しています。</p> <p>【心が通い合う地域づくり】 ～あいさつ運動の推進～ 地区住民の安心安全のためのコミュニケーションの第1歩として、地区を上げてあいさつ運動に取り組んでいます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>アップルロードりんごの収穫作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>地区マスコットキャラクター「いがりん」も参加したあいさつ運動</p> </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	内容	条件	

(ふりがな)	やまもとちいきづくりいいんかい		
名 称	山本地域づくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう もとむら りょうじ		
代表者氏名	会長 元村 両 治		
ホームページ			
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「美しく、心豊かに、集うさと 山本」 この言葉を旗印に、地区内外を問わず、全ての人々が楽しめる地域、住んでよかった、来てみてよかったと言われる地域を皆で創出する。 <10の地域づくり目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ○土地を活用した住みよい地域づくり ○自然が豊かで潤いのある地域づくり ○思いやり支え合う地域づくり ○安全に暮らせる地域づくり ○文化や歴史・スポーツに親しむ地域づくり ○地域自治の推進と交流の地域づくり ○拠点が整備された地域づくり ○産業の発展する地域づくり ○健康で快適な地域づくり ○ひとが育つ地域づくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>【山本地区組織等見直し】 地域自治組織発足して10年余となり、現在と当時の人口等が大きく変化し、組織体制・業務内容・負担量等の見直しが必要な時期となりました。 新体制を目指し、山本地域組織等見直し検討委員会にて協議をしています。</p> <p>【二ツ山市営住宅跡地分譲の募集】 二ツ山の市営住宅跡地を利用し、市と山本地域づくり委員会と協働で分譲も募集を平成30年度から開始となりました。(平成30年度は3回募集) ○区 画 数： 12区画(1区画決定) ○区画面積： 300㎡～312㎡ ○区画価格： 約307万円～318万円 ○第3回目：平成31年2月1日(金)～2月28日(木)</p>    <p>【杵原広場】 4月には、杵原学校桜フォトコンテスト、桜まつりおもてなし活動を開催します。</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	無	内容 条件	



(ふりがな)	かなえちくまちづくりいいんかい		
名 称	鼎地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう やすだ かんじ		
代表者氏名	会長 安田 完爾		
ホームページ			
メールアドレス	kanae@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>『豊かで 潤いある 元気な 鼎』 ～かなえよう 住みよいまち かなえたい 心安らぐまち～</p> <p>【行動理念】 私たちは、飯田市の一員として、飯田市のまちづくりの基本にある『自然と文化の調和と地球環境保全』『自主自立の精神と多様性』を念頭に、自分たちの地域を自分たちの力や考えで、『住み続けたいまちづくり』のためにまちづくり委員会が中心になって行動していきます。</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>【鼎地区パワーアップ事業】 鼎地区では、特色ある地域づくりや人づくりを推進するため、地区独自の『パワーアップ事業』を実施し、自主グループの活動や事業、まちづくり委員会で実施しがたい事業などに毎年助成しています。また、各区で所蔵する美術工芸品の修復や祭り関連事業の備品の整備等についても助成を行っています。平成30年度は10団体に約150万円を助成する予定です。</p> <p>【鼎地区基本構想・基本計画】 第3次基本構想・基本計画が平成30年度までとなり、新たな役員による策定委員会を設置し、平成29年度に実施した第3次の評価と検証を踏まえて、第4次基本構想・基本計画の策定に向けた検討を進めています。新たな基本構想・基本計画は平成31年9月策定、期間は2019年度から2030年度の12年間までとし、4年毎検証・見直しを実施していく予定です。</p> <p>【公民館事業】 鼎公民館では「乳幼児学級」や「すくすくの樹」、「かなえっこどっきどきスクール」等、子育て世代や子どもを対象とした事業に重点的に取り組むと共に、「華甲大学」に代表される生涯学習事業や、鼎地区全体で取り組む「ふるさと鼎コマーシャル」の制作等、多彩な活動を行っています。また、体育や文化事業を通じて地域の活性化に努めています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>基本構想・基本計画策定委員会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>かなえっこどっきどきスクールで 高学年企画を楽しむ低学年の子たち</p> </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容・条件	

(ふりがな)	かみさとちいきまちづくりいいんかい		
名 称	上郷地域まちづくり委員会		
(ふりがな)	いわさき もりつね		
代表者氏名	岩崎 守倫		
ホームページ			
メールアドレス	kamisato@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	「地域で育み支え合う 個性と魅力を生かした 活力ある未来を切り開く 新たな上郷地域の創造と挑戦」		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 リニア及び関連する基盤整備については、複数の事業主体が当地域において基盤整備を実施することから住民に寄り添い対応できるよう関係機関に働きかけるとともに、地域全体の将来のまちづくりを展望し取り組みます。 2 今年度中の竣工を目指す上郷地域まちづくり拠点施設の建設について、円滑に工事が進められるよう市に協力するとともに、当地域が策定した基本計画に基づく機能が十分発揮されるよう準備を進めます。 3 リニア駅周辺整備及びリニア関連道路整備の進展に伴う土地利用や景観について、適宜必要な検討を継続するとともに、現在運用している上郷地域の独自ルールの定着を図ります。 4 野底山森林公園の管理運営にあたって、関係者が役割を分担し、連携して管理運営を行います。 5 組合加入に向けて、積極的な取組と加入しやすい環境の整備を検討するとともに、全員参加で生まれる理想の地域づくりを推進します。 6 上郷地域基本構想・基本計画に掲げる将来像の実現のため、5年間の振り返り、後期計画を策定します。 		
	 <p>野底山森林公園まつり 防災研修視察 庁舎完成イメージ</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	内容・条件		

(ふりがな)	かみむらまちづくりいいんかい		
名 称	上村まちづくり委員会		
(ふりがな)	きたざわりようたろう		
代表者氏名	北澤良太郎		
ホームページ			
メールアドレス	kamimura.machidukuri@i.softbank.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	「環境・伝統文化・人々がかがやく上村」		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>公認レポーター“まいか娘”を委嘱</p> <p>20代の女性が“女子の力で上村を元気にしまいか”を略して『まいか娘』を結成。地域活動に積極的に参加し、SNSを活用して地域の魅力を伝え、同世代の若者に対して参加を呼びかけながら女性が活躍して元気になる地域づくりを目指す。</p> <p>市政懇談会では、進行役を務めてくれました。</p>  <p>土砂災害から命を守る避難マップづくり</p> <p>近年の想定外の大雨による土砂災害から、命を守る避難マップづくりを、1年1地区で取組み3年目になる今年は「中郷」地区で実施。過去の土砂災害、避難をする時に注意する箇所、危険な場所などを、集落ごとに話し合いました。</p> <p>消防団も一緒に、地区の長老から話を聞く良い機会になりました。</p>  <p>放課後見守り事業</p> <p>子ども達の安全・安心な居場所を設け、子育て世代の家族が安心して地域で暮らせる環境づくりのため、保育園の園舎を借りて、延長保育に併せて放課後見守り事業をスタートした。</p> <p>保護者からは「安心して働ける」と喜ばれている。</p> 		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	

(ふりがな)	みなみしなのまちづくりいいんかい		
名 称	南信濃まちづくり委員会		
(ふりがな)	まきしま さだよし		
代表者氏名	牧島 定好		
ホームページ			
メールアドレス	minamisoumu@city.iida.lg.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>○住み続けたい、住んで楽しい郷づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住む人が輝き、にぎやかな遠山郷 ・安心安全に暮らせるまち 地域内の助け合い ・交流人口、関係人口の拡大を移住定住へつなげる ・三遠南信自動車道の開通を見据え、人を呼び込む取り組みを実施 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<ul style="list-style-type: none"> ・移送サービスの開始に向けた準備(地域福祉プロジェクト) ・若者等が住み続けられる支援(地域格差、負担の軽減) ・地域の課題や将来をみんなで考える(遠山未来フォーラム) ・学校と地域が連携した地域人教育の推進 遠山ICTクラブ発足(プログラミング教室、コンテスト参加) 「和田宿にぎやかし隊」との連携 和田の寺子屋ほか ・南信州の新たな玄関口の整備 「遠山郷花街道事業」への取り組み(関係団体との横連携) ・ゲストハウス、シェアハウスの活動支援、協力 地域おこし協力隊・山暮らしカンパニー 		
	 		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等を支援対象とした移送サービス、助け合い ・生活支援サービス 		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストハウス リノベーションに関するお手伝い ・遠山川沿いの桜の手入れ作業

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじんふくしねっとわーくはなのき		
団体名称	特定非営利活動法人 福祉ネットワーク 花の木		
(ふりがな)	しのだちえこ		
代表者氏名	篠田 千恵子		
設立年月日	2002年3月25日		
ホームページ	なし		
活動内容	  <p>月曜日から金曜日の午前中体操教室を開催しています。ちょっと痛い所があったり、ちょっと足の上がが悪くなったり、と年齢と共に衰えてゆく身体を少しでも元気に保てるよう、運動機能を高めています。体操の後は昼食会や、季節の場所に出掛けて同じ日の方々と交流をされて、新しい友人作りをしています。</p>		
PRしたいこと	<p>体操教室にお見えの方々と五平餅作りをしました。昔取った杵柄で美味しいクルマ味噌だれから、ご飯をつぶして串に刺し、炭火で上手に焼いてくれました。運動だけではなくこんな体の動かし方もありますよね。楽しくて室内を杖も使わずに歩かれていました。持てる能力を自信に変えています。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>皆さん自立した生活を送っていますが、欲しい物があっても買い物に行くことはなかなか大変です。野菜や加工品、便利な小物など作っている方が売りに来て下さると有難いです。その他美味しい食事や、おしゃれなカフェ、お勧めの道の駅、景色の良い場所などご紹介下さればありがたいです。</p>		
困っていること	<p>上記のように皆さん季節ごとに出掛けて、景色や美味しい食事を楽しみにされています。何年も続けていると行く場所が決まって来ます。新しい場所を開拓したいのですが、情報を寄せて下さる方を募集します。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	70歳以上でお元気な方
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	運転免許をお持ちの方

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん くらりねっと		
団体名称	特定非営利活動法人 くらりnet		
認証年月日	2003 年 7月 24 日		
(ふりがな)	ますだ あやこ		
代表者氏名	増田 綾子		
主な事務所の所在地	飯田市松尾町4丁目8番地2		
ホームページ	http://www.clari-net.org/ 最新情報はFacebook ⇒		
主な活動分野	NPO・市民活動団体支援、まちづくり		
活動内容	<p>『NPOと創る 新しい社会。』</p> <p>NPO活動や市民活動で、地域や社会の課題を解決しようとする人たちを支援し、住み続けたいまちづくりをすすめます。</p> <p>【主な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非営利組織運営のご相談、コンサルティング ・研修・講習会の開催 ・特定非営利活動法人設立・運営支援 ・ネットワーク形成・コーディネート ・行政・企業とのパートナーシップ促進事業、企画・運営 ・市民活動を起爆剤とする、地域社会の活性化促進 他 		 <p>無料で配布中！</p>
PRLしたいこと	<p>こんなとき、お役に立ちます！</p> <p>NPO法人や市民活動団体のこんなお悩み「活動資金をどう集めたらいい？」 「後継者を育てるにはどうしたら…」 「こんなことを一緒にできる団体は？」 「実際のところ、NPO法人ってどんな組織？」 「活動を継続していくには、何が必要？」といったご相談をお受けしています。 第三者に自分の活動を話すことで、自団体を見つめ直すことができます。 ぜひ一度、ご体験ください。 市民活動・NPOの事業を、もう一歩前へ進めましょう。</p> <p>『市民活動・NPO無料相談会』 ムトス飯田推進委員会内コーディネート専門委員会主催の相談会を担当しています。 毎月第3火曜日、飯田市役所市民協働会議室</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	何か協働できそうなことがあれば、ご相談ください。		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<p>一般会員 年会費5,000円 (個人・団体どちらも可)</p> <p>会員のメリット 組織運営のコツや助成金情報などのメルマガ配信 各種セミナーに会員価格で参加できます。 年1回、無料でコンサルティングを受けることができます。</p>
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	当法人の活動趣旨に興味のある方、ぜひ、一度お話ししましょう。

(ふりがな)	ちゅうごくきこくしゃとうのためのかいご・ふくしのかい にいはお		
団体名称	NPO法人 中国帰国者等のための介護・福祉の会 ニイハオ		
認証年月日	平成16年 12月 27日		
(ふりがな)	くまがい かふね		
代表者氏名	熊谷 加船		
主な事務所の所在地	長野県飯田市鼎切石4080-1		
ホームページ			
主な活動分野	保健医療又は福祉の推進に図る活動		
活動内容	○中国帰国者等に対して、介護や福祉に関する事業を行い、誰もが安心して生活できる地域づくりに寄与することを目的とする。		
PRしたいこと	○主体事業であるディサービス「ふれあい街道ニイハオ」は10月末をもって廃止しました。 ○「NPO法人 中国帰国者等のための介護・福祉の会 ニイハオ」も平成31年春には解散予定です。 長い間、大変お世話になりました。		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん はんいがくせいぼうはんたいさくしえんきょうかい		
団体名称	特定非営利活動法人 飯伊学生防犯対策支援協会		
認証年月日	2006年12月21日		
(ふりがな)	いわさき まさる		
代表者氏名	岩崎 愈		
主な事務所の所在地	〒395-0041 飯田市中心通り4丁目43番地 新星ビル4階		
ホームページ			
主な活動分野	○地域安全(子どもの安全・高齢者の特殊詐欺被害防止)		
活動内容	<p>○子どもの防犯意識高揚のためオリジナル防犯テキストの(小中学生用)作成配布 ○学校の安全対策として、防犯機器の寄贈、防犯器具の考案及び寄贈 ○防犯意識高揚のための防犯ポスター・防犯カレンダーの作成支援 ○防犯教室、防犯訓練の共同開催、通学路防犯パトロール ○防犯意識高揚のためのDVDの作成並びに配布</p>  		
PRIしたいこと	<p>○子ども達を犯罪から守るためには、子ども達に対する防犯教育を徹底するとともに、子ども達が自ら「自分の身体は、自分で守る」ことが最も大切であると考え、「イカのおすし」の普及に努めている。</p> <p>○高齢者が自分の財産は自分で守り、特殊詐欺被害にあわないための「イカのおすしと5つの約束」の普及に努めている。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>○子ども達を守る各種地域ボランティア団体等の連携・協力</p> <p>○高齢者が特殊詐欺被害に遭わないための各種ボランティア団体等との連携・協力</p>		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	

NPO法人様式

(ふりがな)	ななわのかい		
団体名称	特定非営利活動法人 七和の会		
認証年月日	平成20年 1月 22 日		
(ふりがな)	かわて	としあき	
代表者氏名	川手 利明		
主な事務所の所在地	飯田市龍江8810番地4		
ホームページ			
主な活動分野	・地域住民の福祉増進・不動産の有効利用による地域活性化・地域資源の掘り起こしによる、地域振興・会員相互の連携		
活動内容	○よりあい処「ほたる」の運営(地域住民交流の場) 毎週土曜日飲食店を営業 ○第12回ほたる祭りの開催 平成30年6月23日(土) ○第11回きのご祭りの開催 平成30年10月14日(日) ○農産物直売所の運営 毎週日曜日営業 ○桜街道桜祭りに野菜・よもぎおやきの出張販売 ○天龍峡カボチャマルシェにきのご・野菜の販売 ◎ほたる祭りでのいか焼き・フランク・焼鳥提供⇒		
PRしたいこと	○27年オープンしたよりあい処『ほたる』の運営・毎週土曜日に飲食店を営業しております・言い切住民の憩いの場として人気です。毎月第3週には落語の会「ほたる寄席」を開催しております。ぜひいちどいかが。 ○31年度もほたる祭り・きのご祭りを開催いたします。多くの皆様のご参加を期待しております。 ○産直事業は「産直の店ふれあい七和館」と称して毎週日曜日に開店しております。地域の主婦を主体に新鮮な野菜類の販売を続けております。本年度は開店10周年を迎えました。是非一度ご利用を！ ◎さくら祭り夜桜ツアーにおでん・焼鳥提供⇒		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	ほたる祭りは平成24年度から龍江4区地域づくり委員会と共催しています。		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	みなみしんしゅう バイコロジー きょうかい		
団体名称	NPO法人 南信州バイコロジー協会		
認証年月日	平成22年 1月 5日		
(ふりがな)	くまがい ひでお		
代表者氏名	熊谷 秀男		
主な事務所の所在地	飯田市龍江8558-1		
ホームページ	南信州バイコロジー協会検索可能		
主な活動分野	「サイクルイベントの実施」		
活動内容	<p>毎年開催されている「南信州・天龍峡エンデューロ大会」</p> 		
PRIしたいこと	自転車を活用したスポーツ振興や地域振興策を模索しています		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	いいだぶるーべりーしんこうかい		
団体名称	NPO法人飯田ブルーベリー振興会		
認証年月日	H27年10月27日		
(ふりがな)	しみずみのる		
代表者氏名	清水 實		
主な事務所の所在地	飯田市川路1843-1		
ホームページ	「飯田ブルーベリー振興会」で検索		
主な活動分野	社会教育、科学技術		
活動内容	<p>ブルーベリー栽培体験教室を毎月1回行っています。</p> <p>H30.1.21 第1回剪定講習 H30.2.18 第2回剪定講習 H30.3.18 挿し木、挿し木講習、ピザ昼食会 H30.4.15 栽培方法、品種選択講習 H30.5.20 植え付け講習、実習 H30.6.17 売木村の観光農園視察 H30.7.15 緑枝挿し木講習、第1回収穫 H30.8.19 第2回収穫 H30.9.16 臨時総会、植付講習、取り尽くし会 H30.10.21 植え替え、植付講習 H30.11.18 栽培等の情報交換会、 H30.12.16 反省会、忘年会</p>		
PRしたいこと	<p>現在会員28名、栽培農園での講習と体験実習 また、室内での教室等を楽しんでいます。 今年、ピザ昼食会を行い、豊富なブルーベリー を使用したピザを堪能しました。また、売木村の観 光農園に視察に行き、自然と調和したブルーベ リー観光農園を学習してきました。</p> <p>栽培で困っている方、どんな土壌でも栽培できま すので、会員に応募して学習して下さい。</p> <p>会員はいつでも募集しています。希望者はホー ムページから申込み、又は下記の携帯電話までご 連絡下さい。清水實 080-5109-3652</p>		
他団体との連携 が可能なこと・し たいこと	緑化祭、農業祭、収穫祭、料理教室等でブルーベリーを使用する場合、地域づくり等の団体と連携できます。		
困っていること	特にありません。		
会員募集(募集の 場合は○、しない場合 は×)	○	条件等	条件はありません。会員特典として苗木の配布、ブルーベリー収穫等があります。
ボランティア募 集(募集の場合は ○、しない場合は×)	○	条件等	料理教室、加工教室を指導して頂ける方をお願いします。



(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん おしゃべりさらだ		
団体名称	特定非営利活動法人 おしゃべりサラダ		
認証年月日	2016年 3月 1日		
(ふりがな)	まつむら ゆみこ		
代表者氏名	松村 由美子		
主な事務所の所在地	飯田市追手町2丁目630-8		
ホームページ	nposalad.com		
主な活動分野	1.2.3.8.10.11		
活動内容	<p>1. 地域子育て支援拠点事業 (厚生労働省が勧める子育て支援の活動「つどいの広場」事業の運営)</p> <p>◆「子育てサロンおしゃべりサラダ」、出張ひろば「おしゃべりポトフ」、そして指定管理者として「座光寺つどいの広場」を運営しています。妊婦さんから未就園児を持つご家庭に親子の居場所として利用していただけます。遊んだり、おしゃべりしたり…子育て講習会やお楽しみ会、子育て情報もあり、子育てアドバイザーに相談ができます。妊婦さんとその家族のための開館日には助産師が常駐しています。</p> <p>◆訪問活動「てとて」 妊娠期の不安、授乳や赤ちゃんがいる生活での不安等、家庭で孤独になりがちなママの不安を和らげるお手伝いとして、子育てアドバイザーや助産師がご自宅にお伺いします。お気軽にご連絡ください。</p> <p>2. 集団託児事業 イベントや行事時に集団託児をお引き受けします。ご家族が安心して行事に参加でき、お子さんも安心して楽しい時間が過ごせるよう、託児サポーターがお預かりします。</p>		
PRLしたいこと	<p>ママ仲間で「いつでも行ける親子の居場所があったらいいね」とH14年に始めた「子育てサロンおしゃべりサラダ」の活動は、長年任意の民間団体として活動を続けましたが、2016年3月「NPO法人おしゃべりサラダ」として再スタートしました。親子を迎えるスタッフは子育て中のママでもあり当事者目線を持ちながら、みんなの子育てを応援し活動しています。子育てが、ひとりだけで頑張る「孤育て」にならないよう、みんなで手と眼と心をかけあって、親子ともに育ちあえることを願っています。困った時に手を伸ばせば、手を添えてくれる人がいる安心、そして今度はあなたがその手を握ってあげる人に！そんな子育てを飯田で一緒にしたいですね。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	小学生・中学生・高齢者、地域の方々との交流		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	子育てを応援し、活動を応援して下さる賛助会員を募集しています。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	子育て家庭を温かく見守り、親子に楽しく関わってみたいという方 庭の整備(草取り、剪定、雪かき等)のお手伝いをして下さる方



(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん みなみしんしゅうさんときょうどうしゃちゅう		
団体名称	特定非営利活動法人 南信州山都共同社中		
認証年月日	平成30年 4月 25日		
(ふりがな)	わたなべよしぞう		
代表者氏名	渡邊嘉蔵		
主な事務所の所在地	飯田市今宮町4丁目5606番地2		
ホームページ	http://www.npo-mccpt.or.jp		
主な活動分野	1, 11, 14, 15などの事業を通じて3を進める。		
活動内容	<p>◎飯田下伊那地域の多様性と持続可能性を保持・高めるために担い手の確保を図るための事業。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自信と誇りが持てる農業の再構築 <p>地域の様々な特性を活かして高付加価値な産物を生産し、地方と都市とを直接的に結ぶことなどによって中山間地農業を再構築し、担い手の確保を図るための活動で、現在は、イタリア野菜を事例に様々な実証実験を進めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1村1企業ダーチャ活動 <p>遊休農地などを活用した都市企業による「ダーチャ」運営を母体として、地域や企業の課題解決や新たな活動の発掘を行おうとする活動で、現在は、企業や地域に参画してもらうための資料づくりを進めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの生きる力を育む地域づくり <p>都会の子供と南信州の子供が相互に『生きる力』を育むことのできる地域づくりを目指した事業で、現在は、地域内で連携したプログラムを構築するために「生きる力」の定量化など、基礎的な調査を進めています。</p>		
PRしたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・元々、南信州広域連合において構成市町村職員が研修・検討した成果を具体的に事業として実践することを発端として設立された特定非営利活動法人です。 ・地方(飯田下伊那地域)が有する課題には、都市(東京など)が現在或いは将来的に有する課題と深い相関があるとの前提(認識)に立ち、当地域が有する様々な資源を活かしながら、地方と都市の互惠関係を構築する中で相互の課題解決に寄与することを意図して事業を推進しようとしています。 ・これに際し、相手の立場に立って内容を組立て、実践することを旨とし、これを「マーケティング手法による地域づくり」と称している。 ・一連の事業は、飯田下伊那全体の持続可能性の向上、一体的な地域づくりの一助となることを目指して展開しています。 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	元々、当地域内外の多様な主体と連携し、役割分担しながら進めることを意図した事業であり、今後、進捗に合わせて随時ネットワークを広げて行きたいと考えています。		
困っていること	設立初年度でもあり、活動する中で検討していきます。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	趣旨に賛同していただける方。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	※現状はそこまで至っていないが、順次、多くの人々へ連携の輪を広げていきたい。



(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじんもりのがっこう		
団体名称	特定非営利活動法人もりの学校		
認証年月日	平成30(2018)年 8月 14日		
(ふりがな)	こばやし しゅんじ		
代表者氏名	小林 俊二		
主な事務所の所在地	飯田市山本6717-81		
ホームページ	http://www.morinogakko.com		
主な活動分野	こども		
活動内容	<p>田舎だとか、お金が無いとか、そんなこと関係なしに、いつでも・だれでも・どこでも楽しく学習できる学習サイトをネット上で全国に公開しています。利用者は多い日には1日一満員を越え、月あたり延べ約27万人の人たちに、利用していただいています。ページの利用は日本が中心ですが世界中70カ国に及んでいます。また、タブレットで学習ページを持ち運び子ども達に直接利用していただいてもいます。さらに多くの人に利用していただけるよう楽しくわかりやすいサイトを目指して毎月約300ページを作成・更新しています。</p>		
PRLしたいこと	<p>googleで「算数」と検索すれば、約 29,000,000 件の関連サイトの中から、トップページに表示される「算数・もりの学校」は、もりの学校の中の一つのサイトです。「いつも分かりやすく大好きなサイトです!! これからも頑張ってくださいね。はるか」「分かりやすかったです。」などの感想を全国からいただいています。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>地域へパソコンやタブレットをもちこんで、直接学習ボランティアを行えるようになりたいと思っています。(算数数学・理科中心です。)子ども達が集まり、学習できる環境のある団体を探しています。</p>		
困っていること	<p>始めたばかりのNPOで、ページで募金していますが、全く集まりません。募金を集め、タブレットなどを増やして、地域の子ども達にもっと直接利用していただける活動を増やしていきたいと考えています。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	



人と人が手をつないで活動の輪を広げていきます。そしてリンゴの形の輪に「多様な主体の協働によるまちづくり」の精神を込め、ムトス飯田のロゴマークをデザインしていきます。



ムトス飯田
ロゴマーク





～「ムトス」は 地域づくりの合言葉～

ムトス飯田



多様な主体の協働によるまちづくり ムトス飯田

飯田の語源とも言われる「結い」は、「多くの人の協力と役割分担により一つの事を成し遂げる仕組み」であり「協働」です。その前提には一人ひとりの「自立」が欠かせません。飯田のまちづくりの底流には、この長い歴史が息づいています。

●ムトスとは

「ムトス」とは、広辞苑の最末尾の言葉「んとす」を引用したもので、「…しようとする」という意味であり、行動への意志や意欲を表す言葉です。

飯田市は昭和57年「10万都市構想」において理想とする都市像の実現に向けての行動理念として「ムトス」を使用しました。平成19年4月1日施行の飯田市自治基本条例にもムトスの精神について謳われています。「ムトス」を地域づくりの合言葉に、私たち一人ひとりが持つ「愛する地域を想い、自分ができることからやってみよう」という自発的な意志や意欲により、具体的な行動で地域づくりをしていくことをめざします。

<p>■ムトス飯田表彰事業</p> <p>「ムトス飯田の精神を広めるために」という寄付を契機に、昭和60年度に創設されました。毎年、飯田の将来に向けて示唆的で主張ある活動をしている団体・個人を表彰しています。</p>	<p>■ムトス飯田助成事業</p> <p>ムトス飯田推進委員会は、飯田市の交付金を財源に、団体や個人による独創的で波及効果のあるまちづくり活動に対して、助成をしています。</p>
<p>■ムトス飯田交流会・学習会</p> <p>市民協働や相互連携を築くことを目的に、毎年、多くの市民や団体等に呼びかけて、実践事例や課題などを語り合う交流会（または学習会）を開催しています。</p>	<p>■一般社団法人 ムトス飯田市民ファンド</p> <p>市内の特定非営利活動法人を対象に300万円まで「無利子の融資」（貸金業）をしています。</p>

ムトス飯田推進委員会

〒395-8501 飯田市大久保町 2534 飯田市役所内 電話 0265-22-4511

ムトス飯田30周年記念 2015.2作成

ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう！市民協働を推進します